学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学
通信教育部

募集要項2027

■ 2027年度 4月入学（全学科）

学科・コース		出　願　期　間
芸術教養学科	・芸術教養コース ・博物館学実践コース	［第1期～第14期］2026年9月1日（火）～2027年3月31日（水） （最終日は受付時間17：00まで） （各期ごとに出願締切日及び書類提出締切日が設定されています） ⬇ ［最終書類提出期限］ 2027年4月2日（金）必着 ▶詳細はp.5へ
文化コンテンツ創造学科	・音楽コース ・イラストレーションコース ・映像コース ・グラフィックデザインコース ・書画コース ・食文化デザインコース ・文芸コース	
芸術学科	・芸術学コース ・歴史遺産コース ・和の伝統文化コース	
美術科	・日本画コース ・洋画コース ・陶芸コース ・染織コース ・写真コース	
環境デザイン学科	・建築デザインコース ・ランドスケープデザインコース ・空間演出デザインコース	

【お問い合わせ先】 **通信教育課程 アドミッション・オフィス**

全学科2027年度4月入学に関するお問い合わせ
受付時間　月～土／10：00～16：00〈日祝休〉（土曜対応は2026年9月5日より）

E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

※休止期間：2026年8月9日（日）～8月16日（日）／2026年12月26日（土）～2027年1月6日（水）
※メールの場合、件名に「お問い合わせ内容」、本文に「出願番号」「氏名」「出願コース」「生年月日」「住所」を明記してください。

出願前　0120-20-9141

出願後　Tel.075-791-9988（2026年9月1日～2027年4月25日）

入学後　**通信教育課程**　E-mail：question@air-u.kyoto-art.ac.jp
※入学後のお問い合わせは、学習用Webサイト「airUマイページ」内の「コンシェルジュ」または上記へご連絡ください。

入学者受け入れ方針

アドミッション・ポリシー

（求める学生像）

通信教育部芸術学部では、芸術やデザインに関心を持ち、
それぞれの生きる場にありながら、柔軟な思考をもって
他者と協力して社会に貢献しようとする志と意欲を持つ人を受け入れています。
入学志望者には特に以下の点を期待しています。

- **現代の人間・自然・社会の諸現象について問題意識を持つこと**
- **他者の理解を得ながら学ぼうとする真摯な姿勢を持つこと**
- **必要な知識や技術をみずから学び身につけること**

通信教育はここからスタート！

〈 入学形態 〉

出願情報を確認する

1年次入学

はじめて大学に入学する方
最終学歴が高校卒業の方

▶ p.6「出願資格」をチェック

3年次編入学

大学・短大・専門学校などを
卒業されている方

▶ p.7「出願資格」をチェック

海外在住の方

▶ p.8　1年次及び3年次編入学ページの「海外在住者の入学条件」をチェック

疾患や障がいがある方

▶ p.10「障がいや疾患等があり修学上の配慮を希望される方へ」をチェック

特修生制度

▶ p.9「特修生制度」をチェック

資格課程

▶ p.77～「博物館学芸員課程」をチェック

くあぺん
キャラクター制作：ア・メリカ
（イラストレーションコース客員教授）

学費について調べる

▶ p.19「学費」をチェック

奨学金・ローンについて調べる

▶ p.35「奨学金・助成金制度」 p.38「学費ローン」をチェック

学習方法を調べる

▶ p.43～「学び方・履修形態」をチェック

出願方法について調べる

▶ p.55「出願手続」をチェック

ギモンを解決する

▶ p.83～「Q&A」をチェック

入学して学びをスタート！

目 次

3 募集概要

4 **学科・コース構成と募集定員**
5 **2027年度 4月入学募集**
授与される学位／入学選考／出願資格
海外学校出身者／海外在住者
特修生制度
修学上の配慮
取得できる資格
入学後のコース変更、休学、転籍

13 卒業要件

14 **1年次入学** （最終学歴が高校卒業の方）
16 **3年次編入学**（大学・短大・専門学校などを卒業された方）

19 学費

20 **学費早見表**
22 **学費／出願時に必要な費用**
24 **学費／入学後に必要な費用**

35 奨学金・助成金等制度・学費ローン

36 **奨学金・助成金等制度**
38 **学費ローン**
ローン契約から出願手続まで
ローン利用届
ローン申込に関する注意点

43 学び方・履修形態

44 **学習方法**
46 **パソコンスキル・インターネット環境**
47 **履修形態**
課題提出期間および単位修得試験期間
学習支援体制

55 出願手続

56 **出願にあたっての確認事項**
58 **出願手続きの流れ**
59 **1. 提出書類の準備**
62 **2. Web出願手続き**
63 **3. 口座振替登録・入学手続金の支払い**
入学選考料／入学手続金免除について
合否通知・学生証等の送付時期
その他諸注意
69 **書式**

77 博物館学芸員課程

78 **博物館学芸員課程**
79 **資格課程**
関連科目（選択必修）／受講登録にあたって／履修モデル
博物館実習／既修得単位の認定／注意事項

83 Q&A

96 アクセス

募集概要

- 学科・コース構成と募集定員
- 2027年度 4月入学募集
- 授与される学位、入学選考、出願資格
  海外学校出身者、海外在住者
- 特修生制度
- 修学上の配慮
- 取得できる資格
- 入学後のコース変更、休学、転籍

通信教育の大切な
ことをまとめています！

通信教育部芸術学部 学科・コース構成と募集定員

学科	コース	定員
芸術教養学科	芸術教養コース 博物館学実践コース	1,150名 1年次入学 500名 3年次編入学 650名
文化コンテンツ創造学科	音楽コース イラストレーションコース 映像コース グラフィックデザインコース 書画コース 食文化デザインコース 文芸コース	2,500名 1年次入学 1,350名 3年次編入学 1,150名
芸術学科	芸術学コース 歴史遺産コース 和の伝統文化コース	560名 1年次入学 200名 3年次編入学 350名
美術科	日本画コース 洋画コース 陶芸コース 染織コース 写真コース	710名 1年次入学 300名 3年次編入学 400名
環境デザイン学科	建築デザインコース ランドスケープデザインコース 空間演出デザインコース	710名 1年次入学 200名 3年次編入学 500名

※別途本学が指定した場合に限り、2年次編入学を行っています。（芸術学科、美術科、環境デザイン学科 各10名）
※各学科定員になり次第、締め切ります。

募集概要

2027年度 4月入学募集

	出願受付期間	合否通知日
第 1 期	2026年 9月 1 日(火)～ 9月11日(金) 書類提出締切日：9月11日(必着)	2026年 9月25日(金)
第 2 期	2026年 9月12日(土)～ 9月25日(金) 書類提出締切日：9月25日(必着)	2026年10月 8 日(木)
第 3 期	2026年 9月26日(土)～10月 9 日(金) 書類提出締切日：10月9日(必着)	2026年10月22日(木)
第 4 期	2026年10月10日(土)～10月23日(金) 書類提出締切日：10月23日(必着)	2026年11月 6 日(金)
第 5 期	2026年10月24日(土)～ 11月 6日(金) 書類提出締切日：11月6日(必着)	2026年11月19日(木)
第 6 期	2026年11月 7 日(土)～ 11月20日(金) 書類提出締切日：11月20日(必着)	2026年12月 3 日(木)
第 7 期	2026年11月21日(土)～ 12月 4日(金) 書類提出締切日：12月4日(必着)	2026年12月17日(木)
第 8 期	2026年12月 5 日(土)～ 12月18日(金) 書類提出締切日：12月18日(必着)	2027年 1 月 8 日(金)
第 9 期	2026年12月19日(土)～ 2027年 1 月15日(金) 書類提出締切日：1月15日(必着)	2027年 1 月28日(木)
第10期	2027年 1 月16日(土)～ 1 月29日(金) 書類提出締切日：1月29日(必着)	2027年 2 月10日(水)
第11期	2027年 1 月30日(土)～ 2 月12日(金) 書類提出締切日：2月12日(必着)	2027年 2 月25日(木)
第12期 入学式出席は第12期までの出願を推奨	2027年 2 月13日(土)～ 2 月26日(金) 書類提出締切日：2月26日(必着)	2027年 3 月11日(木)
第13期	2027年 2 月27日(土)～ 3 月12日(金) 書類提出締切日：3月12日(必着)	2027年 3 月25日(木)
第14期	2027年 3 月13日(土)～ 3 月31日(水) 17：00 入学手続金のお支払を含め、最終日の出願受付時間は 17:00までとなります。ご注意ください！	2027年 4 月13日(火)

[最終書類提出期限] 2027年4月2日(金)(必着)

※第1期から第14期までのそれぞれの出願期間内にWeb登録および書類提出を不備なく完了された方が、その期の審査対象となります(p.58 ～「出願手続きの流れ」参照)

※2026年12月26日(土)～ 2027年1月6日(水)は年末年始のため、お問い合わせ窓口は休止となります。(Web出願の手続きは可能です)

授与される学位

卒業すると学士（芸術）の学位が授与されます。

入学選考

本学通信教育部では入試において学力試験は行いません。アドミッション・ポリシーに基づき、入学希望者の熱意や意欲などを踏まえ、広く入学希望者を受け入れています。
※Web出願手続き時に「志望動機」欄に志望理由を300字以上600字未満で入力していただきます。

出願資格

入学形態は、1年次入学と3年次編入学があります。大学入学資格をお持ちでない方（ただし、2027年3月31日までに満30歳に達する方）は、p.9「特修生制度」をご覧ください。
入学にあたってはインターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力が必要です。
以下よりそれぞれの出願資格をご確認ください。

▶ p.46「パソコンスキル・インターネット環境」参照
▶ 出願に必要な提出書類等 p.59 ～「1.提出書類の準備」参照

1年次入学

2027年3月31日までに満18歳に達する方、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する方で、次のいずれかに該当する方

1	高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、および2027年3月卒業見込の方
2	通常の課程による12年の学校教育を修了した方、および2027年3月修了見込の方
3	高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）の合格者、 および2027年3月31日までに合格見込の方
4	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして 認定した在外教育施設の当該課程を修了した方、および2027年3月修了見込の方
5	文部科学大臣の指定した方

3年次編入学

大学卒業、専門学校卒業などで編入学資格をお持ちの方は3年次編入学で出願してください。3年次編入学の場合も、1年次入学と同様にコースの専門科目はすべて必修で、1年次配当科目から学習を進めていきます。専門科目以外の卒業に必要な総単位数は軽減されるので、編入学のほうが専門分野の学習にじっくり取り組めます。もちろん、芸術関連の基礎教養科目の履修も可能です。最短2年での卒業を目指す方は、4月1日から学習を開始できるよう、第13期までの出願をおすすめします。

次のいずれかに該当する方

1	大学、短期大学、高等専門学校(5年制)を卒業した方、および2027年3月卒業見込の方
2	専修学校専門課程(専門学校)、高等学校の専攻科を修了した方、 および2027年3月修了見込の方で、大学編入学資格のある方 専修学校専門課程(専門学校)、高等学校の専攻科からの編入学には条件があります。 下記の「(1)編入学の対象となる専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科」を 参照してください。
3	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方、 および2027年3月までに授与見込の方
4	大学2年次修了者(ひとつの大学に休学期間を含めずに2年以上在籍し、 62単位以上〈建築デザインコースは52単位以上〉修得した方)、および2027年3月修了見込の方 ● 通信制大学退学の場合は、62単位(建築デザインコースは52単位)のうち、6単位以上をスクーリングで修得していること。ただし、芸術教養学科についてはスクーリングの単位数の条件はありません。 ● 複数の大学の在籍期間を合算して2年以上とすることや、修得単位を合算して62単位以上とすることはできません。 ● 本学通信教育部芸術教養学科に1年次入学後、自主退学を出願資格として同コースに入学する場合、学習期間が2年以上、62単位以上を修得した方でも、3年次編入学ができない場合があります。該当する方は、通信教育課程 アドミッション・オフィス(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)へご連絡ください。なお、同コースに1年次入学として入学する場合はこの限りではありません。 ● 在学中の大学を退学見込の方は、p.75「在籍期間(見込)証明書」を提出していただきます。

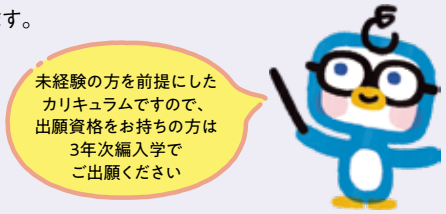
(1) 編入学の対象となる専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科

大学入学資格を有する方で、次のいずれかに該当する方

▶ p.59「1.提出書類の準備」参照

1	修業年限が2年以上の課程で修了に必要な総授業時数が1,700時間以上または62単位以上取得の基準を満たす専修学校専門課程(専門学校)を修了した方 ● 専門学校の場合、修了時に「専門士」の称号を付与された方は、この基準を満たしています。ご自身がこの基準を満たしているかどうかは、ご出身の専門学校で確認してください。
2	修業年限が2年以上で、その他文部科学大臣の定める基準を満たす高等学校の専攻科を修了した方 ● ご自身がこの基準を満たしているかどうかは、ご出身の高等学校で確認してください。

- 出願手続の際、本学所定の「編入学基礎資格証明書」を修了した学校にてすべて記入・捺印いただく必要があります。
- 大学入学資格を確認する書類の提出を別途求める場合があります。▶ p.59「B.編入学基礎資格証明書」参照
- 専修学校専門課程(専門学校)の場合、入学した年が「専修学校設置基準施行」の1976年(昭和51年)1月以降の方が対象です。また、修了した課程が専修学校専門課程として設置認可を受ける前に入学した方は対象外です。
- 在学中の大学を退学見込の方は、p.75「在籍期間(見込)証明書」を提出していただきます。



⑵ 編入学出願資格に該当しないもの

以下は出願資格に該当しません。

- 大学院
- 高等学校の別科
- 高等専門学校　退学
- 高等学校の専攻科　退学
- 大学校※
- 大学・短期大学の専攻科、別科
- 短期大学　退学
- 専修学校専門課程（専門学校）　退学
- 海外の大学・短期大学　退学
- 各種学校

※各省庁設置の大学校卒業で、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方は編入学出願資格に該当します。

海外の学校教育の課程修了を出願資格とされる方

1年次入学

2027年3月31日までに満18歳に達する方、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する方で、次のいずれかに該当する方

（１）初等中等教育が12年以上の国の場合
- ・外国において、学校教育における12年の課程を修了した者
- ・高校の課程と同等の課程を有するものとして認定された在外教育施設の当該課程を修了した者
- ・国際的な認証団体（WASC・ACSI・CIS・NEASC・Cognia・COBIS）から認定を受けたインターナショナルスクールにおける12年の課程を修了した者

（２）初等中等教育が12年未満の国の場合
- ・高校に対応する学校の課程（12年未満）を修了＋指定された準備教育課程を修了した者
- ・高校に対応する課程として指定された学校の課程を修了した者

上記いずれにも当てはまらない場合
- ・国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEA資格、国際Aレベル資格、欧州 バカロレア資格を取得した者
- ・日本において、指定されたインターナショナルスクールの課程を修了した者
  （※当該課程が12年未満の課程の場合、さらに指定された準備教育課程の修了が必要）
- ・外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、18歳以上の者
  （※当該課程が12年未満の課程の場合、さらに指定された準備教育課程の修了が必要）

※「12年の課程を修了した」とは、「正規の学校教育における12年目の課程を修了した」という意味です。

3年次編入学

次のいずれかに該当する方

海外において、学校教育における14年以上の課程を修了した方、および2027年3月までに修了見込の方
ただし、学士または準学士、短期大学士を取得した方、および2027年3月までに取得見込の方に限る。

海外居住者の入学条件

海外居住の方も入学いただけます。ただし出願にあたっては、海外の住所を本人住所として登録することはできません。日本国内の確実な連絡先を本人住所として入力または記載してください。本学からのすべての送付物（郵便・宅配便等、airUマイページより購入する教材・テキスト、作品課題の返却等）の宛先は、日本国内の連絡先（中継先）です。海外の居住地に本学からの送付物を直接送ることはできません。なお、スクーリング（Web受講を除く）は日本国内で受けなければなりません。また、科目の課題提出時間や各種申請手続等の締切日時は、日本時間が基準となりますのでご注意ください。

※海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみ利用できます。また、ブラウザの設定も日本語に設定する必要があります。タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定する必要があります。

出願資格と入学に関する諸注意

二重学籍

正科生として学校教育法に定められた大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科に在籍している方は、二重学籍となるため入学できません。

※専修学校専門課程（専門学校）、大学校、各種学校に在籍中の方や、他大学等の科目等履修生の方は入学できます。 なお、本学通信教育部科目等履修との重複出願はできません。

退学見込者は退学日付に注意してください

学校教育法に定められた大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科に在籍中で退学を予定している場合、退学の日付が2027年4月1日以降になると二重学籍となり、入学できません。 海外の大学、短期大学、大学院に在籍中の方も同様の扱いです。

日本語以外を母語とする方

本学の講義は基本的に日本語で行われ、本学教職員との連絡も日本語で行います。

特修生制度

大学入学資格をお持ちでない方（ただし、2027年3月31日までに満30歳に達する方）が「特修生」として1年間学習（科目等履修）し、16単位以上修得できれば、翌年度の4月に本学通信教育部芸術学部に1年次入学する資格を得ることができます。「特修生制度」での出願を希望する方は2026年11月下旬以降に本学通信教育部Webサイト（https://www.kyoto-art.ac.jp/t/）をご確認ください。なお、旧制学校卒業の方は別途下記までお申し出ください。

- 出願期間：2027年1月15日（金）～ 2月15日（月）[必着]

京都芸術大学　通信教育課程 アドミッション・オフィス
0120-20-9141　E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

障がいや疾患等があり、修学上の配慮（合理的配慮）を希望される方へ

本学通信教育課程では、障がいや疾患のある学生が他の学生と等しく学ぶことができるよう、合理的配慮の提供をはじめとする必要な修学支援を行っています。 入学後に修学支援を希望される方や、障がい等の状況により配慮が必要となる可能性がある方は、以下の手順をご確認のうえ、お早めにご相談ください。

1. 事前相談の方法

出願登録前かつ2027年2月末までに、通信教育課程アドミッション・オフィス宛にメールでご連絡ください。
※個別の状況に応じた確認が必要となるため、お電話の問い合わせでは、原則その場での回答はいたしかねます。

●宛先（メールアドレス）：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp
●件名：【事前相談】修学上の配慮について（氏名）
●本文記載事項：
1.出願者氏名（フリガナ）
2.入学希望のコース
3.障がいや疾患等の状況
4.希望される支援・配慮の内容

2. 大学からの回答・面談の実施

ご相談内容について、当該コースおよび関係部署で共有・協議のうえ、遅くとも2週間以内に折り返しご連絡いたします。 なお、状況やご要望の内容に応じて、オンライン等による面談を設定させていただく場合があります。

3. 合意と申請手続き

支援・配慮を希望される場合は、所定の申請手続きを行っていただきます。大学から提示する具体的な合理的配慮（支援内容）について、ご本人（ご家族等）と大学との間で確認・合意のうえ、具体的な学習方法や支援体制を確定します。

【注意事項】

●期限内のご相談：上記の事前相談を行わずに入学された場合、ご要望に沿った配慮や支援が困難な場合や、支援の開始までに大幅に時間を要する可能性があります。

●配慮の範囲：支援の内容は、合格基準・単位認定・成績評価基準・卒業要件など、教育の本質的な目的・内容・評価基準を変更しない範囲で決定します。「教育の目的・本質を損なう場合」や「大学側に過度な負担（体制上の制約等）がある場合」は、ご希望に添えないこともありますのであらかじめご了承ください。

●支援環境について：本学は高等教育機関であり、高等学校までの支援体制とは環境や基準が異なります。また自学自習を基本とする通信教育の特性上、過去の支援内容やご希望すべてを実施できるとは限りません。

●実技科目について：コースによっては、技術習得を伴う実技科目が卒業必修科目となっています。履修にあたって不安な点がある場合は、出願前に必ずお問い合わせください。

●キャンパスのバリアフリー状況：京都瓜生山キャンパスは傾斜地や階段が多い地形となっております。一部の校舎や施設ではバリアフリー対応が十分でない場所もあるため、入学式・新入生ガイダンスへの出席や、対面スクーリングの受講を予定されている方は、事前にご相談のうえ、必要に応じてキャンパスの見学をお勧めいたします。

取得できる資格

芸術教養学科、芸術学科、美術科、環境デザイン学科

※文化コンテンツ創造学科は受講登録できません。

資格	取得の条件
学芸員	博物館学芸員課程の履修 （受講登録料要、受講登録は2年次以上が対象）※

※博物館学実践コースは登録不要で資格取得を目指せます。

▶ 学芸員課程の履修についてはp.77へ

博物館学芸員課程の履修を検討されている方

- 3年次編入学で博物館学芸員資格の取得も同時に目指される場合、履修科目数が多いためとてもハードスケジュールとなります。 3年間で卒業を目指すことも想定した履修計画を立てるなど、ご自身の状況に応じてご検討ください。
- 所属学科・コースの卒業要件を満たすと、博物館学芸員課程の履修が完了していなくても卒業となります。卒業までに資格課程の履修が完了するように、学習計画を立てる必要があります。

建築デザインコース

資格	取得の条件
建築士試験（2級／木造）受験資格および免許登録資格	卒業
建築士試験（1級）受験資格	卒業 ※建築士法の改正により、卒業後すぐの受験が可能。ただし、免許登録要件としては、試験合格と2年以上の実務経験が必要。

ランドスケープデザインコース

資格	取得の条件
登録ランドスケープアーキテクト補（RLA補）	卒業 ※卒業証明資料の提出により資格認定試験免除（2021年度以降の卒業生対象）
登録ランドスケープアーキテクト（RLA）受験資格	卒業後業務経験3年以上 ※ただし「RLA補」有資格者は資格登録後業務経験2年以上

空間演出デザインコース

資格	取得の条件
建築士試験（2級／木造）受験資格および免許登録資格	所定の科目を履修し卒業すること
商業施設士受験資格	卒業後実務経験1年以上 ※商業施設士補（卒業制作着手年度に講習会を受講）を在学中に得た場合、卒業後実務経験不要かつ学科試験免除
インテリアプランナー登録資格	卒業

入学後のコース変更、休学、転籍

コース変更

学習の目的や志向が変わった場合は、2年目以降にコース変更を認めています。在籍年限内に1回のみ、年度途中の異動はできません。変更料は20,000円（2026年度実績）です。変更後は新しく在籍するコースの卒業要件（必修科目）を改めて修得する必要があります。また、コース変更者については、新年度に大学から教材・テキストの送付はありませんのであらかじめご了承ください。必要となる教材やテキストは各自で購入し、ご準備ください。

休学

休学は、入学2年目以降で在籍年限内に通算4年間まで認められます。休学期間は修業年限には含みませんが、在籍年限には含みます。休学期間中は授業料は不要です。休学料は1年間20,000円（2026年度実績）です。また、休学は年度単位（4月1日～翌年3月31日）で、年度途中で休学や復学（休学後の学習再開）はできません。

本学通学課程への転籍

転籍の出願資格を満たしたうえで試験に合格すれば、本学通学課程へ異動できます。通学課程への3年次転籍試験は例年11月に実施されます。
詳細は、**通学課程　アドミッション・オフィス**　E-mail：nyugaku@office.kyoto-art.ac.jp　へお問い合わせください。

入学前の藝術学舎に対する単位認定

大学入学資格を持つ方が、本学入学前に藝術学舎の講座を受講し合格した単位は、入学後に単位認定の申請ができます（一部の講座を除く）。単位認定を希望する方は、入学後に所定の手続きをしてください。

※藝術学舎で修得した単位の単位認定申請の有効期限は受講年度を含む6年度以内です。

卒業要件

1年次入学 p.14 ～
（最終学歴が高校卒業の方）

3年次編入学 p.16 ～
（大学・短大・専門学校などを卒業された方）

入学形態は
p.6 ～7「出願資格」を
チェックしてください

卒業要件 ／ 1年次入学 《最終学歴が高校卒業の方》

※各学科の履修形態はp.47以降を参照

学科	コース	学部共通専門教育科目	コース・学科専門教育科目	自由選択※1	卒業要件
芸術教養学科	芸術教養	60単位以上 WS科目30単位以上		64単位以上	124単位以上 スクーリング科目（WS科目含む）30単位以上
	博物館学実践	60単位以上 スクーリング科目（WS科目含む）30単位以上			
文化コンテンツ創造学科	音楽	12単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目（WS科目含む）24単位	64単位以上	124単位以上 スクーリング科目（WS科目含む）30単位以上
	イラストレーション				
	映像				
	グラフィックデザイン				
	書画	20単位以上	40単位 テキスト科目16単位 スクーリング科目24単位		
	食文化デザイン	12単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目（WS科目含む）24単位		
	文芸	60単位以上 スクーリング科目30単位以上			
芸術学科	芸術学	12単位以上	48単位以上※2 テキスト科目24単位以上 スクーリング科目12単位以上	64単位以上	124単位以上 スクーリング科目 30単位以上
	歴史遺産				
	和の伝統文化				
美術科	日本画	20単位以上	40単位 テキスト科目16単位 スクーリング科目24単位	64単位以上	124単位以上 スクーリング科目 30単位以上
	洋画				
	陶芸				
	染織				
	写真				

学科	コース	学科専門教育科目	コース専門教育科目	自由選択※1	卒業要件
環境デザイン学科	建築デザイン	22単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目（WS科目含む）24単位	54単位以上※3	124単位 スクーリング科目（WS科目含む） 30単位以上
	ランドスケープデザイン	12単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目24単位	64単位以上	124単位以上 スクーリング科目 30単位以上
	空間演出デザイン				

※2027年度開講予定の授業一覧は2026年12月下旬に本学Webサイト内で公開予定です。
※1：博物館学実践コースのS科目は選択科目です。詳細はp.47を参照。
※2：芸術学科は「芸術学科専門教育科目」から修得した単位も含まれます。
※3：建築デザインコースは総合教育科目の「情報」が必修です。

修業年限（卒業までに必要とする最短年数）…4年　在籍年限（在籍できる最長年数）…9年 ▶ p.12「休学」参照
卒業要件…124単位以上（スクーリング科目30単位以上）

既修得単位の認定（1年次入学の方のみ対象）

本学通信教育部入学前に大学（本学含む）、短期大学、高等専門学校（専攻科）で修得した単位は、本学通信教育部の単位として認定できます。認定された単位は、卒業に必要な単位数に含めることができます。

①認定対象となる単位

・文部科学省認可の大学・短期大学で修得した単位、および高等専門学校（専攻科）で修得した単位
・文部科学省認可の大学・短期大学の科目等履修生として修得した単位
※1つの大学等での修得単位が30単位に満たない場合、30単位を上限として複数の大学等で修得した単位を合算して認定できます。
※本学通信教育部科目等履修（臨床美術士課程）で修得した単位も対象です。該当する方は、入学後、Web上の「airU学習ガイド」をご確認ください。

②認定方法

「総合教育科目」として一括認定。認定上限は30単位、うちスクーリング上限は6単位。
芸術教養学科の方は、すべてテキスト科目として認定します。
※認定単位については、申請後に学習用Webサイト「airUマイページ」にてご確認ください。「既修得単位認定通知」を出力することも可能です。
※授業内容に関わらず「総合教育科目」として一括認定します。

③申請方法

希望者は、入学後に申請してください。**出願時には申請できません。**
詳しくは入学後、Web上の「airU学習ガイド」をご確認ください。
※3年次編入学生は対象外です。

認定外となる単位

● 高等学校の単位　● 高等学校の専攻科の単位※　● 大学・短期大学の専攻科、および大学院の単位
● 高等専門学校の本科の単位　● 専修学校専門課程（専門学校）の単位※　● 海外の大学や短期大学の単位※
● 大学校や各種学校の単位

※専修学校専門課程、高等学校の専攻科、海外の大学や短期大学を卒業・修了した方は編入学が可能な場合があります。▶p.7 ～ 8「3年次編入学」参照

1年次入学1年目の履修単位数（目安）

4年間での卒業を想定し、1年目に修得を目指したい単位数の目安となる履修モデルです。このペースで3年間同様に履修していくことを想定しています。同一学科内でも各コースで科目設計が異なりますので、詳細は入学後に「コースガイド」で確認してください。

学科・コース		学部共通専門教育科目	コース・学科専門教育科目	自由選択※1	合計
芸術教養学科	芸術教養コース	16単位以上（うちWS科目※2 16単位）	1単位以上	21単位以上	38単位以上
	博物館学実践コース	14単位以上	6単位以上（WS科目）	14単位以上	34単位以上
文化コンテンツ創造学科		6単位以上	テキスト科目8単位以上 スクーリング科目7単位（2日間）以上 （うちWS科目6単位を含む）	12単位以上	33単位以上
芸術学科		8単位以上	テキスト科目8単位以上 スクーリング科目7単位（14日間）以上	10単位以上	33単位以上
美術科		12単位以上	テキスト科目4単位以上 スクーリング科目6単位（12日間）以上	11単位以上	33単位以上

学科・コース	学科専門教育科目	コース専門教育科目	自由選択※1	合計
環境デザイン学科	6単位以上	コース専門教育科目 テキスト科目8単位以上 スクーリング科目7単位※3 （14日間）以上	14単位以上	35単位以上

※1：自由選択は、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門教育科目、学科専門教育科目、資格関連科目（要別途申込）のいずれでも選択できます。
※2：WS科目（Webスクーリング科目）
※3：建築デザインコースはWS科目（Webスクーリング科目）を含む。

卒業要件 ／ 3年次編入学 《大学（退学を含む）・短大・専門学校などを卒業された方》

※各学科の履修形態はP.47以降を参照

<table>
<tr><th>学科</th><th>コース</th><th>学部共通
専門教育科目</th><th>コース・学科専門教育科目</th><th>自由選択※1</th><th>卒業要件</th></tr>
<tr><td rowspan="2">芸術教養学科</td><td>芸術教養</td><td colspan="2">60単位以上
WS科目30単位以上</td><td rowspan="2">2単位以上</td><td>62単位以上
WS科目30単位以上
（124単位から62単位免除）</td></tr>
<tr><td>博物館学実践</td><td colspan="2">60単位以上
スクーリング科目（WS科目含む）24単位以上※1</td><td>62単位以上
スクーリング科目（WS科目含む）
24単位以上（124単位から62単位免除）</td></tr>
<tr><td rowspan="7">文化コンテンツ創造学科</td><td>音楽</td><td rowspan="6">12単位以上</td><td rowspan="4">48単位
テキスト科目24単位
スクーリング科目（WS科目含む）24単位</td><td rowspan="4">2単位以上</td><td rowspan="7">62単位以上
スクーリング科目（WS科目含む）
24単位以上（124単位から62単位免除）</td></tr>
<tr><td>イラストレーション</td></tr>
<tr><td>映像</td></tr>
<tr><td>グラフィックデザイン</td></tr>
<tr><td>書画</td><td>40単位
テキスト科目16単位
スクーリング科目24単位</td><td>10単位以上</td></tr>
<tr><td>食文化デザイン</td><td>48単位
テキスト科目24単位
スクーリング科目（WS科目含む）24単位</td><td>2単位以上</td></tr>
<tr><td>文芸</td><td colspan="2">60単位以上
スクーリング科目24単位以上</td><td>2単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="3">芸術学科</td><td>芸術学</td><td rowspan="3">12単位以上</td><td rowspan="3">48単位以上※2
テキスト科目24単位以上
スクーリング科目12単位以上</td><td rowspan="3">2単位以上</td><td rowspan="3">62単位以上
スクーリング科目24単位以上
（124単位から62単位免除）</td></tr>
<tr><td>歴史遺産</td></tr>
<tr><td>和の伝統文化</td></tr>
<tr><td rowspan="5">美術科</td><td>日本画</td><td rowspan="5">12単位以上</td><td rowspan="5">40単位
テキスト科目16単位
スクーリング科目24単位</td><td rowspan="5">10単位以上</td><td rowspan="5">62単位以上
スクーリング科目24単位以上
（124単位から62単位免除）</td></tr>
<tr><td>洋画</td></tr>
<tr><td>陶芸</td></tr>
<tr><td>染織</td></tr>
<tr><td>写真</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>学科</th><th>コース</th><th>学科専門教育科目</th><th>コース専門教育科目</th><th>自由選択※1</th><th>卒業要件</th></tr>
<tr><td rowspan="3">環境デザイン学科</td><td>建築デザイン</td><td>22単位以上</td><td>48単位
テキスト科目24単位
スクーリング科目（WS科目含む）24単位</td><td>2単位以上※3</td><td>72単位以上
スクーリング科目（WS科目含む）
24単位以上（124単位から52単位免除）</td></tr>
<tr><td>ランドスケープデザイン</td><td rowspan="2">12単位以上</td><td rowspan="2">48単位
テキスト科目24単位
スクーリング科目24単位</td><td rowspan="2">2単位以上</td><td rowspan="2">62単位以上
スクーリング科目24単位以上
（124単位から62単位免除）</td></tr>
<tr><td>空間演出デザイン</td></tr>
</table>

※1：博物館学実践コースのS科目は選択科目です。詳細はP.47を参照。
※2：芸術学科は「芸術学科専門教育科目」から修得した単位も含まれます。
※3：建築デザインコースは総合教育科目の「情報」が必修です。

修業年限（卒業までに必要とする最短年数）…2年　在籍年限（在籍できる最長年数）…7年
▶ p.12「休学」参照
卒業要件…62単位以上（スクーリング科目24単位以上※）
※建築デザインコースは72単位（スクーリング科目24単位）以上
※芸術教養学科は、62単位（WS科目30単位）以上

既修得単位の認定（1年次入学の方のみ対象）

3年次編入学の場合は既修得単位の認定はできません。

3年次編入学1年目の履修単位数（目安）

2年間での卒業を想定し1年目に修得を目指したい単位数の目安となる履修モデルです。ご自身の学習環境・ライフスタイルや、資格課程の履修も検討されている場合、3年次編入学でも3年間で卒業できるスケジュールを想定するなど、無理のない履修計画を立ててください。同一学科内でも各コースで科目設計が異なりますので、詳細は入学後に「コースガイド」で確認してください。

1年目に修得すべき単位数で、2年目上半期で卒業研究・卒業制作着手要件を満たせるペースです

学科・コース		学部共通専門教育科目	コース・学科 専門教育科目	自由選択※1	合計
芸術教養学科	芸術教養コース	18単位以上 （うちWS科目※2 16単位）	27単位以上 （うちWS科目20単位を含む）	3単位以上	48単位程度
	博物館学実践コース	5単位以上	30単位以上 テキスト科目16単位 スクーリング（WS・OS）14単位	指定なし	35単位以上
文化コンテンツ創造学科		2単位以上	テキスト科目 16単位以上 スクーリング科目 13単位（2日間）以上 （うちWS科目12単位を含む）	2単位以上	33単位以上
芸術学科		8単位以上	テキスト科目 18単位以上 スクーリング科目 14単位（28日間）以上	指定なし	40単位以上
美術科		10単位以上	テキスト科目 8単位以上 スクーリング科目 12単位（24日間）以上	7単位以上	37単位以上

学科・コース	学科専門教育科目	コース 専門教育科目	自由選択※1	合計
環境デザイン学科	10単位以上	コース専門教育科目 テキスト科目16単位以上 スクーリング科目13単位※3 （26日間）以上	2単位以上	41単位以上

※1：自由選択は、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門教育科目、学科専門教育科目、資格関連科目（要別途申込）のいずれでも選択できます。
※2：WS科目（Webスクーリング科目）
※3：建築デザインコースはWS科目（Webスクーリング科目）を含む。

学費

- 学費早見表
- 学費

出願時に必要な費用

入学後に必要な費用
（教材・機材・アプリケーション等）

学費の内容を
チェック
してください！

学費早見表

出願時には1年目の授業料と入学金等が必要です。※卒業までの合計金額には教材・機材費、テキスト代などは含んでいません。

初年度のみ必要な費用

入学選考料
20,000円

入学金
30,000円

学生教育研究災害傷害保険料
140円
（芸術教養学科は授業料に含む）

＋

1年間の費用

授業料
1年分の授業料
コースにより金額設定あり

＋

スクーリング受講料
8,000円～15,000円×1単位
（講義系・演習系、開講形態、受講科目数によって異なる）
▶ p.26参照

＋

テキスト・教材・機材費※
コースにより教材・機材を購入する必要あり
▶ p.26～33参照

× 在籍年数 ＝ **卒業までの費用**

《 芸術教養学科 》

出願時

	入学選考料	入学金	授業料（1年目）	保険料	合計
芸術教養コース	20,000円	30,000円	170,000円	授業料に含む	**220,000円**
博物館学実践コース			243,000円		**293,000円**

▶ p.22参照

卒業までの合計金額（目安）		
芸術教養コース	1年次入学（4年間） 3年次編入学（2年間）	**730,000円** **390,000円**
博物館学実践コース	1年次入学（4年間） 3年次編入学（2年間）	**1,022,000円** **536,000円**

スクーリング費用を含む

《 文化コンテンツ創造学科 》

出願時

	入学選考料	入学金	授業料（1年目）	保険料	合計
音楽コース イラストレーションコース 映像コース グラフィックデザインコース 書画コース 食文化デザインコース	20,000円	30,000円	355,000円	140円	**405,140円**
文芸コース			348,000円		**398,140円**

▶ p.22参照

卒業までの合計金額（目安）		
音楽コース・イラストレーションコース・映像コース・グラフィックデザインコース・書画コース・食文化デザインコース	1年次入学（4年間） 3年次編入学（2年間）	**1,470,140円** **760,140円**
文芸コース	1年次入学（4年間） 3年次編入学（2年間）	**1,442,140円～** **746,140円～**

スクーリング費用を含む

《 芸術学科 》

出願時

	入学選考料	入学金	授業料(1年目)	保険料	合計
芸術学コース 歴史遺産コース 和の伝統文化コース	20,000円	30,000円	231,000円	140円	**281,140円**

▶ p.22参照

卒業までの合計金額(目安)	
1年次入学(4年間)	**1,070,140円~ 1,274,140円**
3年次編入学(2年間)	**608,140円~ 752,140円**

スクーリング費用を含む

《 美術科 》

出願時

	入学選考料	入学金	授業料(1年目)	保険料	合計
日本画コース 洋画コース 陶芸コース 染織コース 写真コース	20,000円	30,000円	327,000円	140円	**377,140円**

▶ p.22参照

卒業までの合計金額(目安)	
1年次入学(4年間)	**1,646,140円~ 1,808,140円**
3年次編入学(2年間)	**992,140円~ 1,064,140円**

スクーリング費用を含む

《 環境デザイン学科 》

出願時

	入学選考料	入学金	授業料(1年目)	保険料	合計
建築デザインコース ランドスケープデザインコース 空間演出デザインコース	20,000円	30,000円	327,000円	140円	**377,140円**

▶ p.22参照

卒業までの合計金額(目安)	
1年次入学(4年間)	**1,646,140円~ 1,808,140円**
3年次編入学(2年間)	**992,140円~ 1,064,140円**

スクーリング費用を含む

学費

出願時に必要な費用

入学手続金は出願時に全額一括で納入いただきます。分納はできません。なお、入学選考料以外は、オリエントコーポレーションの学費ローンを利用できます。▶ p.38「学費ローン」参照

①入学手続金

学科	コース	内訳				入学手続金（合計）
		入学選考料	入学金	授業料（1年目分）	学生教育研究災害傷害保険料	
芸術教養学科	芸術教養	20,000円	30,000円	170,000円	授業料に含む	**220,000円**
	博物館学実践			243,000円		**293,000円**
文化コンテンツ創造学科	音楽	20,000円	30,000円	355,000円	140円	**405,140円**
	イラストレーション					
	映像					
	グラフィックデザイン					
	書画					
	食文化デザイン					
	文芸			348,000円		**398,140円**
芸術学科	芸術学	20,000円	30,000円	231,000円	140円	**281,140円**
	歴史遺産					
	和の伝統文化					
美術科	日本画	20,000円	30,000円	327,000円	140円	**377,140円**
	洋画					
	陶芸					
	染織					
	写真					
環境デザイン学科	建築デザイン	20,000円	30,000円	327,000円	140円	**377,140円**
	ランドスケープデザイン					
	空間演出デザイン					

- 入学選考料、入学金は、出願時のみ必要な費用です。2年目以降は必要ありません。
- 出願後の辞退、入学不許可となった場合は、入学選考料を除く入学手続金を返還します。
- 入学後、年度途中で退学しても入学手続金は返還いたしません。
- 学生教育研究災害傷害保険は、入学年度から6年間有効です。7年目以降は対象者に対し大学にて再加入手続きを行います（再加入時の保険料は不要）。

● 以下に該当する方は、入学手続金の一部が免除されます。▶ 提出書類・手続きはp.66参照

免除対象		免除金額
京都芸術大学通信教育課程（学部・大学院） 京都芸術大学通学課程（学部・大学院） 京都芸術短期大学 京都芸術デザイン専門学校（旧校名：京都国際文化専門学校） 京都芸術大学附属高等学校 藤川学園	卒業・修了生 （卒業・修了見込含む）	入学選考料　20,000円 入　学　金　30,000円 合　　計：　50,000円免除 【芸術教養学科のみ】 入学選考料　20,000円 入　学　金　30,000円 授業料の内　50,000円減免※1※2 合　　計：　100,000円免除
京都芸術大学通信教育課程（学部･大学院） 京都芸術大学通学課程（学部･大学院） 京都芸術短期大学 京都芸術デザイン専門学校（旧校名：京都国際文化専門学校） 京都芸術大学附属高等学校 藤川学園	卒業・修了生 （卒業・修了見込含む） の子女	入　学　金　30,000円免除
京都芸術大学通学課程（学部・大学院） 京都芸術デザイン専門学校 京都芸術大学附属高等学校 認可保育園こども芸術大学	在学生の保護者 または学費支弁者	入　学　金　30,000円免除 【芸術教養学科のみ】 入　学　金　30,000円 授業料の内　50,000円減免※2 合　　計：　80,000円免除
京都造形芸術大学通学課程 芸術学部デザイン科環境デザインコース	1991年4月～1999年4月 入学生	建築デザインコースに入学の場合授業料327,000円から2割減免。 減免後授業料：261,600円

※1：京都芸術大学附属高等学校の卒業生はこの免除の対象外です（免除金額50,000円）。
※2：2年目以降の授業料についても同額が減免されます。
※退学は免除対象外です。

②資格課程受講登録料 ▶ 資格課程についてはp.77 ～82「博物館学芸員課程」参照

編入学生・希望者のみ

資格課程の受講登録は2年次以上が対象となるため、**出願と同時に受講登録ができるのは、3年次入学の方です。ただし、文化コンテンツ創造学科は登録できません。** 博物館学実践コースは登録不要です。

芸術教養コース	+250,000円（在籍期間中有効）※

● 受講登録料とは別にテキスト代、博物館実習に伴う交通費・宿泊費が必要です。
● 受講登録料には、スクーリング受講料、学外館見学時の入館料（「博物館実習1（事前指導）」、「博物館実習3（事後指導）」）、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、学研災付帯賠償責任保険は「博物館実習2（館園実習）」を受講する年度に加入します。

芸術学科、美術科、環境デザイン学科	+250,000円（在籍期間中有効）※

● 受講登録料とは別にテキスト代、博物館実習に伴う交通費・宿泊費が必要です。
● 受講登録料には、スクーリング受講料、学外館見学時の入館料（「博物館実習1（事前指導）」、「博物館実習3（事後指導）」）、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、学研災付帯賠償責任保険は「博物館実習2（館園実習）」を受講する年度に加入します。
● 学外館での「博物館実習2（館園実習）」の受講を希望する方は、学外館によっては実習費等が必要となる場合があります。

※受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。
※途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。

入学後（2年目以降）に必要な費用

①資格課程受講登録料（希望者のみ）

芸術教養 コース	+250,000円（在籍期間中有効）※

- 学籍更新手続期間（1月）に登録手続きをし、2月下旬までにお支払いいただきます。ローンの利用も可能です。
- 受講登録料とは別にテキスト代、博物館実習に伴う交通費・宿泊費が必要です。
- 受講登録料には、スクーリング受講料、学外館見学時の入館料（「博物館実習1（事前指導）」、「博物館実習3（事後指導）」）、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、学研災付帯賠償責任保険は「博物館実習2（館園実習）」を受講する年度に加入します。

芸術学科、美術科、環境デザイン学科	+250,000円（在籍期間中有効）※

- 学籍更新手続期間（1月）に登録手続きをし、2月下旬までにお支払いいただきます。ローンの利用も可能です。
- 受講登録料とは別にテキスト代、博物館実習に伴う交通費・宿泊費が必要です。
- 受講登録料には、スクーリング受講料、学外館見学時の入館料（「博物館実習1（事前指導）」、「博物館実習3（事後指導）」）、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、学研災付帯賠償責任保険は「博物館実習2（館園実習）」を受講する年度に加入します。
- 学外館での「博物館実習2（館園実習）」の受講を希望する方は、学外館によっては実習費等が必要となる場合があります。

※途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。
※受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。
※文化コンテンツ創造学科は登録できません。

②授業料（2年目以降、年度毎に支払）

本学では、学生が金融機関に開設している預金口座から、学費等の諸費用を引き落す「預金口座振替制度」を採用しています。 入学2年目以降の授業料、在籍中に発生するスクーリング受講料、教材費等の費用は、すべて登録口座から引き落します。 ただし、授業料については下記の支払い方法が選択可能です。

※口座振替の業務は三井住友カード（株）に委託しています。通帳には「SMBC（キヨウトゲイジユツ）」等と表示されます。引き落しの際は、本学より事前に引落明細をお知らせします。
※卒業、退学等により本学の学籍から離れると、口座振替は解除されます。
※以下は2026年度適用金額です。授業料等の諸費用は改定することがあります。

学科	コース	授業料（年間）	支払い方法
芸術教養学科	芸術教養	170,000円／年間	支払時期：毎年1～2月 ※学籍更新手続き時に支払い方法を選択 支払方法：登録口座から引き落し クレジットカード決済 ネットバンキング決済 ペイジー決済 コンビニ決済 ローン利用 ※登録口座からの引き落し、ローン以外の支払い方法は授業料（年間）に加えて事務手数料が別途必要です。
	博物館学実践	243,000円／年間	
文化コンテンツ創造学科	音楽	355,000円／年間	
	イラストレーション		
	映像		
	グラフィックデザイン		
	書画		
	食文化デザイン		
	文芸	348,000円／年間	
芸術学科	芸術学	231,000円／年間	
	歴史遺産		
	和の伝統文化		
美術科	日本画	327,000円／年間	
	洋画		
	陶芸		
	染織		
	写真		
環境デザイン学科	建築デザイン	327,000円／年間	
	ランドスケープデザイン		
	空間演出デザイン		

授業料に含まれるもの

対象科目	コース専門教育科目・学科専門教育科目・学科共通専門教育科目 総合教育科目・学部共通専門教育科目			コース専門 教育科目	総合教育科目・ 学部共通専門教育科目
	テキスト科目の レポート添削 指導料	テキスト科目の 作品添削 指導料	Webスクーリング科目の受講料 レポート・作品添削指導料	スクーリング科目の 受講料	スクーリング科目の 受講料
芸術教養学科	○	ー （対象科目なし）	○	ー※1 （対象科目なし）	別途必要※
文化コンテンツ 創造学科	○	○	○	○ （オンデマンド型）	
芸術学科・ 美術科・ 環境デザイン学科	○	○	○	別途必要※2	

※1 博物館学実践コースで資格取得を目指す場合は「博物館実習1 ～ 3」の受講料が含まれます
※2 一部のオンデマンド型開講の科目は受講料不要

別途必要となるもの

テキスト（教科書） ※料金は「③教材・機材費」参照	芸術教養学科	・コース・学科専門教育科目の指定テキストは、各自購入です（一部選択科目の電子書籍は無償提供）。 ・一部選択科目にて指定されている大学オリジナルテキスト（無償提供分）については、電子テキスト（PDF）を使用します。 ・印刷製本版を入手されたい場合、AmazonでPOD版を購入いただく形となります。 ※在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは新たにご購入いただく必要があります。
	芸術教養学科以外	必修科目（コース専門教育科目、学科専門教育科目）の指定テキストは、各自購入です。 ・一部科目では大学へ請求（有料）するものがありますが、基本的に電子版の場合はAmazonが運営している電子書籍ストア「Kindleストア」等で、印刷製本版の場合はオンデマンドブック（POD）をWebで各自購入します。 ・イラストレーションコースのコース専門教育科目は、購入が必要なテキストはありませんが、総合教育科目、学部共通専門教育科目のテキストは大学へ請求（有料）、または各自購入となります。 ※在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは新たにご購入いただく必要があります。
	総合教育科目・ 学部共通専門教育科目	大学へ請求（有料）、または各自購入となります。 ※総合教育科目のテキストは電子テキストもありますが、書籍として市販されているものがほとんどです。書店で購入したり、図書館等で借りて学習することも可能です。 ※一部無料閲覧できる電子テキスト（PDF）があります。
教材（テキスト以外）・機材費 ▶ p.26「③テキスト・教材・機材費」参照	各コースの学習に必要となる教材・機材については、p.26「③テキスト・教材・機材費」をご参照ください。 ※教材費とは別途、授業での制作材料費や実習に伴う交通費・見学料等が必要となる科目があります。	
郵便・宅配便代	課題提出・返却時に郵便・宅配便代がかかります（郵送提出が必要な該当科のみ）。 レポート（100g以内）の場合、第四種郵便の適用で、1通15円です。 ※文化コンテンツ創造学科のコース専門教育科目は郵送提出対象外です。 ※日本画コース・洋画コース・陶芸コースの作品の宅配便代は、作品サイズによって大型商品扱いとなる場合があります。	
交通費・宿泊費	居住地やコース、受講科目によっては、スクーリング会場までの交通費や宿泊費がかかります。	

②スクーリング受講料

	金額	備考
講義系（遠隔）	8,000円／1単位	● 芸術学科のスクーリングは主に講義系、美術科・環境デザイン学科 のスクーリングは主に演習系です（必ずしもすべてがこの限りではありません）。 ● スクーリング受講後、登録口座から引き落します。 ● 総合教育科目（演習系）のスクーリング受講料は、左記金額に一律1科目につき8,000円加算します。
講義系（京都・東京キャンパス共通）	10,000円／1単位	
演習系（遠隔）	12,000円／1単位	
演習系（京都・東京キャンパス共通）	15,000円／1単位	

※芸術教養学科は博物館学実践コースの「博物館実習1 ～ 3」を除き、スクーリング科目を受講できません。（総合教育科目のオンデマンド型科目に一部受講可能な科目があります。）
※別途1科目につき1,000円～ 15,000円程度のスクーリング教材費（テキスト代、入館料、材料費、モデル料等）や20,000円～ 100,000円程度の研修費（交通費・宿泊費）が必要な科目があります。

1年間にかかるスクーリング受講料の概算（最短で卒業する場合）

入学形態	スクーリング受講料	備考
1年次入学	64,000円 ~ 120,000円	最短4年で卒業する場合：年間8単位取得を目安
3年次編入学	96,000円 ~ 180,000円	最短2年で卒業する場合：年間12単位取得を目安

※「2027年度スクーリング日程」は2026年12月下旬に本学Webサイト内で公開予定です。

③テキスト・教材・機材費

入学するコースによって、パソコンや用意していただくアプリケーションソフトの指定があります（以下参照）。入学後のガイダンスや学習ガイドにて、パソコンやアプリケーションソフトに関する説明や学内販売サイトの紹介を行いますので、購入に不安のある方は、ガイダンスにご参加ください。ただし、入学時より学習用Webサイト「airUマイページ」を通して上記を始め様々な情報を提供しますので、Web閲覧ができる環境はできるだけ早めにご準備ください。 ▶「airUマイページ」のシステム要件等はp.46参照

※機材・アプリケーションソフトはご自身で量販店・公式サイトで購入されても構いません。
※学生割引による購入を希望される場合は、学生証発送後にご購入ください。▶ 時期についてはp.67参照
※表示価格は授業で必要なものを新規購入した場合の参考価格です。学習の進行にともなって追加で必要となるものや、絵具や参考文献等、学習方法により個人差が生じる教材は含んでおりません。

※テキストの参考価格に総合教育科目、学部共通専門教育科目等、選択科目のテキスト代は含みません。

コース	教材・機材・テキスト	参考価格
全コース	パソコン p.46記載のシステム要件を満たし、インターネットへの接続環境が整ったものを準備してください（カメラ、マイク付きのノート型パソコン推奨）。 ※以下コースはノート型パソコンの準備が必須です（デスクトップ型パソコン不可）。 写真コース／ランドスケープデザインコース／空間演出デザインコース	約100,000円～
	セキュリティ対策ソフト（有償版）	
	テキスト 総合教育科目、学部共通専門教育科目（必修科目除く）、 資格関連科目（博物館学芸員課程／受講登録者のみ）	1冊数百円～ 5,800円程度 ※記載の価格は目安です。年度や教材内容により変更となる場合があります。
芸術教養コース	テキスト PDFの作成・閲覧ができる環境 ※PDFで課題を提出する場合があるため、文書作成ソフト（Microsoft OfficeやGoogleドキュメント、Mac標準のPagesやKeynote等）からPDF作成ができれば問題ありません。	電子書籍およびairUマイページ利用の場合：約13,200円 印刷製本の場合：約62,000円程度 ※いずれも標準的な履修（学部共通専門教育科目11科目、学科専門教育科目12科目）
博物館学実践コース	テキスト PDFの作成・閲覧ができる環境 ※PDFで課題を提出する場合があるため、文書作成ソフト（Microsoft OfficeやGoogleドキュメント、Mac標準のPagesやKeynote等）からPDF作成ができれば問題ありません。	参考価格 約21,000円～ 33,000円 ※履修する科目、電子版または印刷製本版いずれを選択するかにより価格が異なります。 なお、一部の科目のテキストは印刷製本版のみの提供です。

コース	教材・機材・テキスト	参考価格
音楽	DTM機材（オーディオインターフェイス、USB鍵盤、コンデンサーマイク及びマイクスタンド、ヘッドフォン等）	約45,000円～
	DTM機材の価格は機材のスペックや市場の状況等により変動します。 詳細な価格や仕様については、各メーカーの製品情報サイトをご参照ください。	
	DAWソフトウェア（ Fender Studio Pro 推奨 ※旧名称 PreSonus Studio One）	約22,350円
	PDFの作成・閲覧ができる環境 ※PDFで作品提出をするため、文書作成ソフト等（Microsoft OfficeやMac標準のPagesやKeynote等）からPDF作成ができれば問題ありません。	-
イラストレーション	ソフトウェア（Adobe Creative Cloud）	20,000円～（年間）（2026年度実績）
	イラスト制作ソフト（CLIP STUDIO PAINT PRO または EX）	480円～（月額） 3,000円～（年額） 6,900円～（一括払い） ※2026年度実績 ※アップデートのサポートがあるため月額または年額払い推奨
	ペンタブレット（スペックは問いません）	約6,000円～
映像	動画撮影機材 （スマートフォン、タブレット／デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ等） 動画撮影用機材の価格は機材のスペックや市場の状況等により変動します。 詳細な価格や仕様については、各メーカーの製品情報サイトをご参照ください。 ▶ p.31参照	約30,000円～
	パソコン（ノート型、デスクトップ型いずれも可） ▶ p.31参照	約140,000円～
	ソフトウェア（Adobe Creative Cloud） ▶ p.31参照	20,000円～（年間）（2026年度実績）
	3DCG制作ソフト（Blender） ※3年次科目で使用します。 ▶ p.31参照	無償
グラフィックデザイン	パソコン（ノート型、デスクトップ型いずれも可） ▶ p.31参照	約170,000円～
	ソフトウェア（Adobe Creative Cloud） ▶ p.31参照	20,000円～（年間）（2026年度実績）
	パソコン用フォント（Morisawa Fontsスタンダードプラン（学生向け）） ▶ p.31参照	990円（年間）（2026年度実績）
	A3プリンター （A4サイズでも可） ※コンビニプリントなどでも可だが購入推奨	-
	カメラ（提出作品を撮影するために必要。 スマートフォンのカメラでも可）	-
	テキスト	約25,000円
書画	基本画材（筆、紙、墨、硯、下敷き、筆巻、絵具皿、筆洗、文鎮等）	約15,000円
	プリンター （A4サイズであれば基本的に可能） ・プリンターがない方や、A4サイズのプリンターしかお持ちでない方は、A3サイズの出力可能な公共のコンビニエンスストアなどを利用することでも問題ございません（インターネット・USB使用）。 ・A4サイズだと作品の詳細部分まで確認できず、課題資料を深く理解できない可能性があります。 ・補助的にタブレット、パソコンで拡大しながら詳細を確認するのも良い方法だと思います。	約30,000円～
	カメラ（提出作品を撮影するために必要。 スマートフォンのカメラでも可）	-
	テキスト	約25,000円

コース	教材・機材・テキスト	参考価格
食文化デザイン	調理道具一式 ※鍋・包丁・コンロなど基本的なキッチンの環境があれば問題ありません。	-
	カメラ（提出作品を撮影するために必要。 スマートフォンのカメラでも可）	-
	PDFの作成・閲覧ができる環境 ※PDFで作品提出をするため、文書作成ソフト等（Microsoft OfficeやMac標準のPagesやKeynote等）からPDF作成ができれば問題ありません。	-
	テキスト	約10,000円～
文芸	テキスト PDFの作成・閲覧ができる環境 ※PDFで課題を提出する場合があるため、文書作成ソフト（Microsoft OfficeやGoogleドキュメント、Mac標準のPagesやKeynote等）からPDF作成ができれば問題ありません。	電子書籍およびairUマイページ利用の場合：約22,000円 印刷製本の場合：約44,000円
芸術学	テキスト	約5,000円～
	ジャパンナレッジ利用料	500円
	ソフトウェア（word）推奨 ※入学を機にパソコンを購入する場合はWindows推奨	
歴史遺産	テキスト	約30,000円～
	ジャパンナレッジ利用料	500円
	ソフトウェア（word）推奨 ※入学を機にパソコンを購入する場合はWindows推奨	
和の伝統文化	テキスト	約31,000円～
	ジャパンナレッジ利用料	500円
	ソフトウェア（word）推奨 ※入学を機にパソコンを購入する場合はWindows推奨	
日本画	基本画材（鉛筆、色鉛筆、麻紙、岩絵具、水干絵具、絵具皿、筆、墨等）	約80,000円～
	テキスト	約12,000円
洋画	油彩道具（油絵具、筆、パレット、ペインティングナイフ等） デッサン用具（鉛筆、木炭等）	約30,000円～
	テキスト	約16,000円
陶芸	制作に必要な道具（手ろくろ、ヘラ、乳鉢、乳棒等）	約19,000円～
	陶土（白土、赤土、赤荒土等）	各課題につき約500円～ 1,500円程度
	陶芸作品送付用段ボール ※作品を送付する為の段ボールを購入する必要があります（段ボールは繰り返し使用できます）。 作品送付には送料が発生します（陶芸作品は第四種郵便は適用されません）。 ※社会情勢による資材価格の変更に伴い、価格が変更となる可能性があります。	梱包材入り約1,800円
	焼成費 ※電動ろくろや窯を自宅に用意する必要はありませんが、テキスト科目の課題作品を本学で焼成する際に学内焼成費がかかります。 素焼き状態で提出する課題作品にも焼成は必要です。 スクーリング科目で作成した作品も希望があれば焼成することが可能です。 その場合も別途焼成費が必要です。	各課題につき 1,000円～ 2,000円（2025年度実績）
	テキスト	約16,000円
染織	染色用具（浸染用具セット、摺込刷毛セット、媒染剤等）	約50,000円
	織物用具セット他	約20,000円
	織機 ※卒業制作で織作品を制作する場合、3年次から自宅制作用の織機が必要です。	（新品 約300,000円 中古 約80,000円）
	テキスト	約16,000円

コース	教材・機材・テキスト	参考価格
写真	デジタル一眼カメラ、レンズ、レンズフード、レリーズ、三脚等 ▶ p.32参照	約150,000円~
	ノート型パソコン、ソフトウェア ▶ p.32参照	約150,000円~
	プリンター ▶ p.32参照 ※一部の遠隔授業を受講する際に必須	約40,000円~
	その他の遠隔授業用教材・機材 (電球、ライトスタンド三脚、ペーパー類など) ※手持ちのものがあれば新たに購入の必要なし	~約26,000円
	テキスト	約15,000円
建築デザイン	製図用具(定規、トレーシングペーパー等)	約20,000円
	模型制作用具(カッターナイフ、ステンレス定規等)	約20,000円
	スケッチ用具(スケッチブック、鉛筆等)	約3,000円
	パソコン(ノート型を推奨) ▶ p.33参照	約170,000円~
	複合機(A3サイズ推奨、カラー印刷推奨) ▶ p.33参照	約30,000円~
	テキスト	約64,000円
ランドスケープデザイン	製図用具(製図用シャープペンシル、三角スケール、トレーシングペーパー等)	約15,000円~
	スケッチ用具(スケッチブック、鉛筆、色鉛筆等)	約7,500円~
	模型制作用具(カッターナイフ、スチのり等)	約1,500円~
	庭園実習用具(実習服、剪定はさみ、剪定のこぎり等)	約14,000円~
	ノート型パソコン ▶ p.33参照	約150,000円~
	ソフトウェア(Adobe Creative Cloud) ▶ p.33参照	20,000円(年間)(2026年度実績)
	プリンター (A3サイズ推奨) ※必須ではない ▶ p.33参照	約30,000円~
	スキャナー (A3サイズ推奨) ※必須ではない ▶ p.33参照	約50,000円~
	テキスト	9,680円(電子書籍の場合) ~ 13,200円(POD・製本版の場合)
空間演出デザイン	製図用具(シャープペン、三角定規、円定規、三角スケール、A2製図板+T定規セットorA2平行定規等)	約30,000円~
	模型制作用具(カッターナイフ、ステンレス定規等)	約10,000円~
	スケッチ用具 その他(スケッチブック、鉛筆、コンベックス等)	約5,000円~
	ノート型パソコン ▶ p.33参照 ※入学を機にパソコンを購入する場合はMac推奨。	約170,000円~
	プリンター (A3サイズ推奨、A4サイズでも可) ▶ p.33参照	約30,000円~
	ソフトウェア(Adobe Creative Cloud) ▶ p.33参照	20,000円(年間)(2026年度実績)
	3Dモデル作成ソフト(SketchUp)※ ▶ p.33参照 ※2年次スクーリングで使用します。	15,785円(年間)(2026年度実績)
	テキスト	約35,000円

※使用するソフトウェアは変更される可能性があります。

【指定機材・アプリケーションソフト等(該当コースのみ記載)】

下記のコースでは、コース指定の機材・アプリケーションソフトの準備が必要です。指定の各アプリケーションソフトに必要なシステム構成は、提供元の公式サイトをご確認ください。 ▶ p.34「各アプリケーションソフトのシステム構成参照先」参照

※パソコンのスペックの詳細は、メーカーや販売店等へお問合せください。
※各種アプリケーションソフトのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。
※科目により使用するソフトウェアが一部変更となる可能性があります。

音楽コース

パソコン

Mac/Win	WindowsまたはMac
形状	ノート型、デスクトップ型いずれも可。
メモリ	推奨：16GB以上
システム構成	CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。

アプリケーションソフト	● Fender Studio Pro の最新バージョン （2026年1月にPreSonus Studio Oneが「Fender Studio Pro 8」にメジャーアップデートし、名称が変更されていますのでご注意ください。 すでにお持ちの方は、旧バージョンの「PreSonus Studio One Pro 7」でも問題なく学習できます。） ソフトの仕様、システム環境については、以下のサイトをご確認ください。 ・Fender Studio Proサポート（https://www.mi7.co.jp/products/fender/fenderstudiopro/support/） ※各種アプリケーションソフトのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。 ※パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問い合わせください。
オーディオ インターフェイス	お手持ちのPCと、USBまたはThunderboltで接続可能なもので、以下の基準以上のものを推奨します。 ● 最大ビットレート: 24 bit ● 最大サンプルレート: 192kHz ● 入出力合計: 2 イン / 2 アウト ● マイク/ライン/ギター入力あり ● XLR端子でマイクに48Vファンタム電源供給可能なもの 参考例：PRESONUS　AudioBox GO / FOCUSRITE　Scarlett 2i2（gen. 4）/ STEINBERG　IXO22 B
USB（MIDI）鍵盤	お手持ちのPCとUSBで接続可能なもので、以下の点に留意してご自身の希望に応じて選択してください。 ● ミニ鍵盤もしくはフル鍵盤いずれでも可 ● 鍵盤数 32鍵以上推奨 ● ペダル入力（フットスイッチ端子）の有無（サスティーンペダルを使いたい場合必須） 参考例：M-AUDIO　Keystation Mini 32 III / Native Instruments　KOMPLETE KONTROL M32 / IK MULTIMEDIA
コンデンサーマイク＆ マイクスタンド	ダイナミックマイクではなく、感度が高く、繊細な音も拾えるコンデンサーマイク推奨。 以下の点に留意してください。 マイクスタンドは、それぞれの環境に合わせて選んでください。 ● XLR端子 ● 単一指向性可能 参考例（マイク）：audio-technica AT2020 / Lewitt LCT240pro / MXL V67G
モニターヘッドフォン	音の判断をする為リスニング用ではなく、高解像度、フラットな周波数特性、原音に忠実な音質のモニター用のヘッドフォンを推奨。 録音に使用する為、密閉型を選択してください。 参考例：audio-technica ATH-M20x / SONY MDR-CD900ST / YAMAHA HPH-MT8

イラストレーションコース

コース専門教育科目の動画教材や資料等はすべてパソコン環境を想定しています。パソコンの利用を推奨しますが、代替可能なデバイス（タブレット等）がある場合にはそちらでの学習も可能です。 ただし、パソコン以外の環境についての指導、サポートはしておりません。

パソコン

Mac/Win	WindowsまたはMac
形状	ノート型、デスクトップ型いずれも可。
メモリ	最小：8GB　推奨：16GB以上
システム構成	CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの必要システム構成に準拠してください。

アプリケーションソフト	● Adobe Creative Cloud Pro Plus（Pro Plusについては大学の特別価格プランあり） またはAdobe Creative Cloud Pro（旧コンプリートプラン） ● CLIP STUDIO PAINT PROまたはEX

映像コース

撮影や編集を伴う科目では、各自カメラ機材（スマートフォン、タブレット、デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ等）と動画編集ソフトをパソコンやスマートフォンにインストールしてください。

パソコン

Mac/Win	WindowsまたはMac
形状	ノート型、デスクトップ型いずれも可。
メモリ	推奨：16GB以上
システム構成	CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください

アプリケーションソフト	以下①~③の最新バージョンを準備してください。 ① Adobe Creative Cloud Pro Plus（Pro Plusについては大学の特別価格プランあり）またはAdobe Creative Cloud Pro（旧コンプリートプラン） ② Blender（無償） ③ セキュリティ対策ソフト（有償版）
スマートフォン タブレット デジタル一眼カメラ ビデオカメラ等	● 動画撮影用機材とデータの取り扱い 動画編集に用いる素材を撮影する［1］もしくは［2］の機材が必要となります。 いずれの場合も、動画のサイズがフルHD（1920×1080）以上、フレームレートが60fpsまで撮影可能でMP4もしくはMOV形式でデータを書き出し可能な機材を準備してください。 ［1］スマートフォン、タブレット スマートフォンやタブレットで撮影する場合は、そのままそのデバイスで編集する、もしくは撮影データをパソコンに取り込んで編集することになります。 前者の場合は完成したデータを、後者の場合は撮影したデータをパソコンに取り込めるようにしておいてください。 ※機材によってパソコンとの接続ケーブルが必要となることがあります。 ［2］デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ カメラ機材で撮影する場合は、撮影したデータをパソコンもしくはスマートフォンへ取り込み編集することになります。 記録メディアの使用やケーブルを用いた機材との接続が必要となることがありますので、自身でデータを取り込む方法を調べておいてください。 ※機材によってパソコンとの接続ケーブルが必要となることがあります。

グラフィックデザインコース

コース専門科目の動画教材や資料等「すべてMac環境」です。 初心者はMac環境を強くお勧めします。（Windowsの操作について指導、サポートはしておりません）

パソコン

Mac/Win	Mac推奨
形状	MacBook Air、MacBook Pro、デスクトップ型、ノート型いずれでも可。
システム構成	CPU 、OS 、メモリはインストールするアプリケーションソフトの必要システム構成に準拠してください。

アプリケーションソフト	● Adobe Creative Cloud Pro Plus（Pro Plusについては大学の特別価格プランあり）またはAdobe Creative Cloud Pro（旧コンプリートプラン） ● Morisawa Fonts スタンダードプラン（学生向け）
プリンター	A3プリンター（A4サイズでも可）の購入を推奨します。 ※コンビニプリントなどでも可能。

写真コース

パソコンを利用する対面スクーリング（1年次科目～）では、各自使用するカメラのメーカーが指定する動作環境以上の機能を備えたノート型パソコン（Mac推奨）の持参が必要となり、科目によって事前にRAW現像ソフトや画像編集ソフトのインストールが必要です。

パソコン

Mac/Win	Mac推奨（RAW現像などメモリを多く使用するアプリケーションの動作時に問題なく処理が進行すればWindowsでも可）
形状	ノート型パソコン推奨　※対面スクーリングを受講する場合は持参が必要
OS	Mac OS（インストールするアプリケーションソフトの最新バージョンに対応したもの）
機種	MacBook Pro（5年以内に発売されたシリーズを推奨） MacBook Air（M1チップ搭載以降を推奨）
メモリ	最小：8GB（16GB以上推奨）
内蔵ストレージ	256GB以上推奨

※遠隔授業の受講時には、大容量のデータを送受信することのできる通信環境が必要です（光回線推奨）。
ダウンロード：250Mbps以上
アップロード：100Mbps以上

アプリケーションソフト	● Adobe Creative Cloud フォトプラン推奨 （Photoshop、Bridge、Lightroom Classic）の最新バージョン（学生・教職員向けソフトあり）
デジタル一眼カメラ（ミラーレスを含む）	レンズを外した状態でシャッターが切れる（撮影ができる）もの／マニュアル機能がついているもの（絞りとシャッタースピードが個別に設定できること）／マニュアルフォーカスがついているもの（オートフォーカスだけでなく、自分でピントを設定できる機能がついているもの）／撮像素子（CMOSやCCD）のサイズがマイクロフォーサーズ以上のもの／レンズ交換ができるもの／画素数が1,000万画素程度以上のもの／RAWデータの撮影ができるもの／シンクロ接点もしくはホットシューがついているもの（ストロボの接点がついていること）／三脚をとりつけるねじ穴のついているもの ※主なメーカー：キヤノン、ニコン、ソニー、オリンパス、ペンタックス、パナソニック、ライカ、富士フイルム等 ※スクーリング（3年次科目～）では、テザー撮影が可能な一眼カメラが必要です。
レンズ	標準ズームレンズ（広角、標準、望遠域をカバーしていれば、ズームレンズでなく複数のレンズの組み合わせでも可）
レンズフード	各自のレンズの付属品または専用のもの
レリーズ	各自のカメラ対応のもの（リモコン／アプリでも可）
三脚	–
プリンター	一部の遠隔授業では、インクジェットプリンターを各自でご準備いただきます。 高画質写真印刷に対応する機種（A4サイズ以上プリント可能な機種） ● インク色数が6色以上 ● エプソンもしくはキャノンのインクジェットプリンター ※キヤノンのプリンターの場合、A3ノビサイズ対応以外の機種について、Mac OSで印刷設定に問題が起きる場合があります。 ※上記の条件のインクジェットプリンターのご準備が難しい場合は、該当科目のみ対面授業での受講をご検討ください。

建築デザインコース

対面スクーリングではノート型パソコンの持参を推奨します。

パソコン

Mac/Win	WindowsまたはMac
形状	パソコン（ノート型推奨）
機種	Macの場合：MacBook ProまたはMacBook Air
システム構成	CPU、OS、メモリ、表示解像度、ディスプレイカード、ディスク空き容量等ともにインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。

※遠隔スクーリングを受講する場合はデュアルディスプレイ環境を推奨します。

アプリケーションソフト	● AutoCAD（CADソフト）の最新バージョンを推奨（教育機関限定ライセンスにより無償利用可） ● Adobe Acrobatの最新バージョンを推奨
プリンター	A3サイズ推奨、カラー印刷推奨　※Web教材や事前課題の出力、課題提出等のために必要
スキャナー	A3サイズ推奨

ランドスケープデザインコース

パソコンを利用する対面スクーリング（1年次科目～）ではノート型パソコンの持参が必要です。

パソコン

Mac/Win	WindowsまたはMac
機種	Macの場合：MacBook ProまたはMacBook Air
システム構成	CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。

アプリケーションソフト	● AutoCAD（CADソフト）の最新バージョン（教育機関限定ライセンスにより無償利用可） ● Adobe Creative Cloud Pro Plus（Pro Plusについては大学の特別価格プランあり） またはAdobe Creative Cloud Pro（旧コンプリートプラン） ● QGIS（地理情報システム）の最新バージョン（無償利用可）
プリンター	A3サイズ推奨　※Web教材や事前課題出力のためにあるとよい
スキャナー	A3サイズ推奨　※遠隔授業受講の際にあるとよい

空間演出デザインコース

パソコンを利用するスクーリング（1年次科目～）ではノート型パソコンが必要です※。なお、まだパソコンをお持ちでない方には、Macの購入を推奨しています。以下は必要となるパソコンのスペックです。

パソコン

Mac/Win	WindowsまたはMac
機種	Macの場合：MacBook ProまたはMacBook Air
システム構成	CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。

※遠隔スクーリングのみで卒業される方はその限りではありません。

アプリケーションソフト	● AutoCAD（CADソフト）の最新バージョン（教育機関限定ライセンスにより無償利用可） ● Adobe Creative Cloud Pro Plus（Pro Plusについては大学の特別価格プランあり） またはAdobe Creative Cloud Pro（旧コンプリートプラン） ● SketchUp（3Dモデル作成ソフト）の最新バージョン（教育用ライセンスあり） ※使用するソフトウェアは変更される可能性があります。
プリンター	A3サイズ推奨、A4サイズでも可　※Web教材や事前課題出力のために必要

本学ではAdobe社と包括協定を締結し、
本学学生は最上位プランである
「Adobe Creative Cloud Pro Plus」を
年間20,000円（税込）でご利用いただけます。
（本学在籍中のみ利用可）

各アプリケーションソフトのシステム構成参照先

Adobe Creative Cloud：Adobe社 Web サイト（https://www.adobe.com/jp/）

AutoCAD（CADソフト）：AUTODESK社 Webサイト（https://www.autodesk.co.jp/）

SketchUp（3Dモデル作成ソフト）：アルファコックス社 Webサイト（https://www.alphacox.com）

CLIP STUDIO PAINT：CELSYS社 Webサイト（https://www.clipstudio.net/ja/）

Blender：Blender 公式サイト（https://www.blender.org/）

QGIS（地理情報システム）：GNU General Public License Webサイト（https://qgis.org/）

奨学金・
助成金等制度・
学費ローン

奨学金・助成金・
学費ローン等について
説明しています

奨学金・助成金等制度

日本学生支援機構の奨学金の申請手続きは、入学後に行っていただきます。出願時には入学手続金のお支払いが必要となります。入学後、所定の時期に支給（貸与）されます。
申請方法は入学後に学習用Webサイト「airUマイページ」のお知らせ、「airU学習ガイド」で確認してください。

日本学生支援機構給付奨学金（高等教育の修学支援新制度 ※多子世帯の大学無償化） 返還不要

対象学科 全学科

日本学生支援機構の給付奨学金は、経済的理由により修学が困難な学生が、意欲と能力を持って学業を継続できるよう、原則として返還不要な奨学金を支給する制度です。国の高等教育の修学支援新制度の一環として実施されます。
給付奨学金に採用された場合は授業料と入学金（対象者のみ）の減免も適用されます。
支援を受けるには申込資格、家計基準、学力基準などの要件を満たす必要があります。
尚、本奨学金は修業年限（※）を超えて申請することはできません。また、成績不振や採用後の手続き未完了等により「廃止」や「停止」となる場合がありますので、**毎年一定以上の単位修得や成績を維持し、最短卒業を目指せるよう計画的に学習に取り組んでください。**

※修業年限:卒業までに必要な最短学習年数。1年次入学生は「4年」、3年次編入学生は「2年」です。

1．給付型奨学金	年1回支給	最大51,000円
2．授業料減免／入学金減免	年1回還付、入学金減免は採用年度納付者のみ	最大130,000円 ／ 30,000円

・世帯の所得基準により採用（支援）区分が「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ（多子世帯のみ）」「多子世帯」のいずれかになります。奨学金支給額は区分に応じて「満額」「2/3」「1/3」「1/4（多子世帯のみ）」「0円（多子世帯のみ）」となり、授業料と入学金の減免も同様に「満額（多子世帯含む）」「2/3」「1/3」となります。
・区分は10月に見直され、区分変更となった場合は授業料減免額も変更されます。
・授業料と入学金の減免は10月の区分見直し後の還付となります（11月以降）。

日本学生支援機構貸与奨学金 返還必要

対象学科 文化コンテンツ創造学科、芸術学科、美術科、環境デザイン学科

夏期または冬期スクーリング期間中のスクーリング科目の受講（事前動画視聴等オンデマンドが含まれない対面または遠隔によるスクーリング科目に限る）を前提として、年2回（夏期または冬期）の申請機会のうち採用はどちらか1方のみです。また、貸与期間は1年間のため、毎年申請いただく必要があります。
夏期で申請し採用された場合は冬期へは申請できません（不採用の場合は再度申請可能です）。

奨学金種類	貸与額（金額は2026年実績）　※いずれも年額で年1回のみ貸与されます。
第一種（無利子）	88,000円　**※給付奨学金と併用で採用された場合は0円となることがあります**
第二種（有利子）	20,000円から120,000円までの1万円単位の金額から選択

・**第一種は給付奨学金と併用で申請し、採用された場合は、併給調整により年額0円となることがあります。**
・採用後は毎月貸与されるのではなく、年1回のみの貸与です。入学後の貸与となるため、出願時には入学手続金全額をお支払いいただく必要があります。
・入学前に他大学で受けた貸与型奨学金を継続して受けることはできません。改めて申請する場合も、日本学生支援機構奨学金を借りたことのある方は貸与期間短縮や申請不可となることがあります。
・通信教育部在学中は入学前に貸与を受けた日本学生支援機構奨学金の返還猶予が最長で10年間まで適用可能です（在学猶予）。入学前に既に在学猶予を適用していた場合は残りの年数分の猶予となります。

申請方法について

日本学生支援機構奨学金には大きく3つの申請方法があります。申請方法によっては入学時のみ申請可能なものや、通信教育課程では対象外となる申請方法がありますのでご注意ください。ご自身がどの方法に該当されるのかご確認のうえお手続きください。

■ 予約採用

高校在籍時に事前の手続を行い「候補者決定通知」を受け取っている方が対象の申請方法です。本学通信教育課程では「給付奨学金」のみ申請対象となります。「貸与奨学金」の予約採用は扱っておりませんので、「貸与奨学金」を希望される場合は**【在学採用】**にてお申込みください。入学された年度（4月の募集）に限り適用される申請方法です。

■ 在学採用

入学後に手続きを行う方が対象の申請方法です。「貸与奨学金」「給付奨学金」の両方に申請が可能です（申請時期が異なります）。

■ 継続採用

3年次編入学された方のうち前の学校で「給付奨学金」を受けられていた方が対象です。「貸与奨学金」は継続採用の対象外となりますので、「貸与奨学金」を希望される場合は**【在学採用】**にてお申込みください。

京都芸術大学通信教育課程　学習支援奨学金

対象学科　**文化コンテンツ創造学科・芸術学科・美術科・環境デザイン学科**

同一コースにおける学習が通算5年目以上となる場合（休学期間を除く）、授業料の20%を奨学金として減免します。

京都芸術大学通信教育課程　学生創作研究助成金

対象学科　**全学科**

地域社会における芸術文化の活性化をめざす学生（グループも可）の創作、研究およびその成果発表、普及活動に対し、選考のうえ200,000円（2026年度実績）を上限に支援します。

※販売や営利目的として行う活動、所属する企業や団体の活動の直接延長にある企画や、評価を伴う科目に直接関連する活動は対象外です。

勤労学生の所得控除

対象学科　**全学科**

納税者が所得税法上の「勤労学生」に当てはまる場合に受けられる所得控除です。独立した生計者で、給与所得が年間130万円以下であること等が条件です。詳細は所轄の税務署にお問い合わせください。

学割

対象学科　**全学科**

美術館・博物館等の料金が学割対象となる場合があります。その都度各自で確認してください。また、スクーリング等に出席する際、JRの学生割引を利用でき（運賃2割引、片道100km以上）、入学式や新入生ガイダンスも対象となります。いずれもJR学割証の交付を1週間前までに大学へ発行申請し、交付された学割証と学生証をJR等に提出し、乗車券を購入する必要があります。発行申請のためには学生証がお手元に届いている必要があります。出願時期によっては申請できないことがありますのでご了承ください。

教育訓練給付制度

対象　**科目等履修生のみ**

厚生労働省が実施している雇用対策事業の一つです。本学通信教育部では、「科目等履修生（博物館学芸員課程）」が指定講座です。詳細は「2027年度科目等履修 募集要項（PDF）」（2026年12月本学Webサイト内で公開予定）をご確認ください。

※学部生（＝学科・コース在籍者）が履修する「博物館学芸員課程（資格課程）」は適用外です。

学費ローン

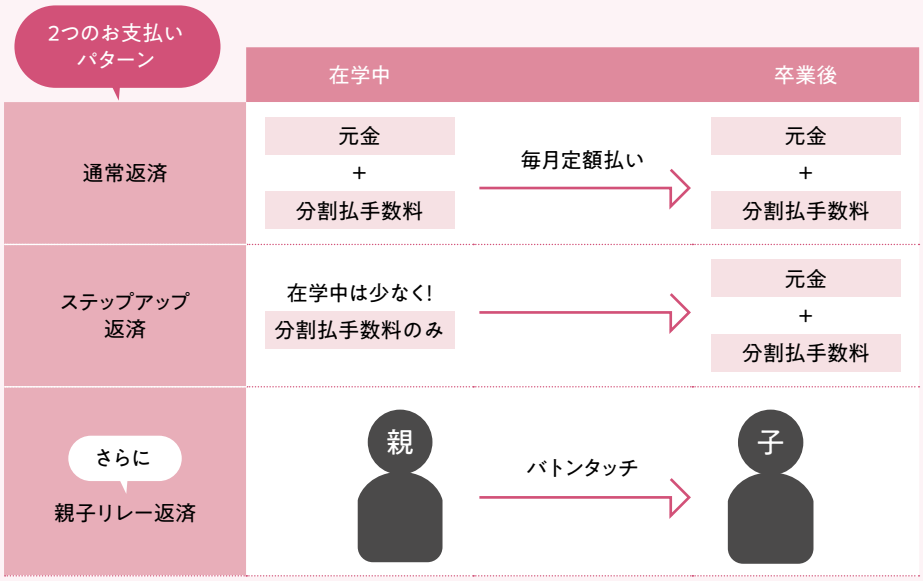
本学通信教育課程では、オリエントコーポレーション（以下オリコ）と提携した「学費サポートプラン」をご利用いただけます。

ポイント

- 出願手続き前にオリコへ申込みください（ローン審査結果を受けた後に本学の出願手続きへお進みください）。
- 入学選考料以外の入学手続金をローン利用できます。
  ローン対象外の入学選考料20,000円は出願手続「学費の支払い」画面で支払方法を選択のうえお支払いください。
- ローン契約は1年ごとです（2年目以降は学籍更新時に手続き）。

概要

分割手数料	3.5%（実質年率・固定）《2026年7月現在》
返済プラン	通常返済、ステップアップ返済、親子リレー返済
毎月の返済金額	6,000円～（ご利用金額に応じて選択）
連帯保証人	原則不要
申込方法	・Web申込 ・電話で申込書を依頼し、提出（0120-517-325）



商品概要の詳細は下記オリコのWebサイト「学費サポートプラン」をご確認ください。

オリコお問い合わせ先・申込先

- **オリコ学費ローンのWeb申込**
  京都芸術大学通信教育部Webサイト［URL］https://www.kyoto-art.ac.jp/t/expenses/scholarship/

※出願期間中は出願画面「出願前の注意事項」からもアクセスできます。
※必ず本学Webサイトまたは出願画面「出願前の注意事項」からアクセスしてください。検索サイト等の別画面から申込を行うと正しく手続きできない場合があります。

- **オリコ学費ローンの郵送申込**
  オリコ学費サポートデスクに電話の上、申込書をご請求ください。
  0120-517-325　受付時間　9：30 ～ 17：30（土日祝休）

ローン対象内容

入学選考料を除く入学手続金の総額がローン対象です。資格課程（博物館学芸員課程）の受講登録をする方は登録料を加えた総額を申し込んでください。入学手続金の一部のみをローンで支払うことはできません。

入学手続金（全員）	
芸術教養コース	200,000円
博物館学実践コース	273,000円
芸術学・歴史遺産・和の伝統文化コース	261,140円
日本画・洋画・陶芸・染織・写真・建築デザイン・ランドスケープデザイン・空間演出デザインコース	357,140円
文芸コース	378,140円
音楽・書画・グラフィックデザイン・イラストレーション・映像・食文化デザインコース	385,140円

該当者のみ	
博物館学芸員課程 受講登録料 （芸術教養コース・芸術学科・美術科・環境デザイン学科）	+250,000円
入学金免除・授業料減免 （芸術教養学科　p.23該当者）	− 80,000円
入学金免除 （文化コンテンツ創造学科・芸術学科・美術科・環境デザイン学科　p.23該当者）	− 30,000円

ローン契約から出願手続まで

オリコの学費サポートプランを申し込み、ローン受付番号（16桁）を取得

申し込み受付開始日：

（全学科）2027年度4月入学：2026年９月１日（火）

科目等履修：「2027年度科目等履修 募集要項（PDF）」
（2026年12月本学Webサイト内で公開予定）をご確認ください。

オリコ申し込み画面での入力内容：

入力欄	（全学科）2027年度4月入学	科目等履修
学納金の納付期日	2027年3月31日（水）	2027年2月15日（月）
在学区分	新入生	
学籍（受験）番号	2027	

オリコからの審査結果通知メールを確認

記入済みの「学費ローン利用届」を準備し、オリコからの確認（電話・メール）を受ける

契約内容確認のための電話またはメールがありますので、「ローン対象金額」欄を記入した「学費ローン利用届」をお手元に準備してください。メール確認の場合は必ず内容承諾の操作をしてください。
電話またはメールでの内容確認を経てローン手続が完了となります。
なお、この際オリコが案内する「納付書等」とは本学の「学費ローン利用届」のことです。

▶ p.41「学費ローン利用届」参照

オリコとのローン手続完了

受付完了メールにある16桁の受付番号がローン受付番号です。

本学の出願手続

出願手続「学費の支払い」画面で「ローンのご利用」を選択し、ローン受付番号を入力。

ローン利用届

書式「学費ローン利用届」

学費ローン利用届

オリコの案内する「納付書等」と同じ扱いです。

本利用届は、学費ローンを申込された方がオリコから確認（電話・メール）を受ける際に必要です。
あらかじめ以下すべてを記入してください。

▶ p.38参照

氏名		
ローン受付番号		
入学年度	□ 2027年度	
出願先 （□に✓／コース名記入）	□ 芸術教養学科	コース
	□ 文化コンテンツ創造学科	コース
	□ 芸術学科	コース
	□ 美術科	コース
	□ 環境デザイン学科	コース
ローン対象金額 （授業料等）※		円

京都芸術大学 通信教育部芸術学部
学費ローン取扱（株）オリエントコーポレーション

※p.39の「ローン対象内容」を確認の上、出願する学科・コースの入学手続金と、減免対象になる場合の金額を把握し、ローン対象金額を右枠に記入してください。

ローン申込に関する注意点

入学選考料

入学選考料はローン対象外です。学費ローンを申し込む方も入学選考料20,000円は、出願手続「学費の支払い」画面で支払い方法を選択し、お支払いください。なお本学卒業（見込）者等、入学選考料が免除となる方はお支払い不要です。

▶ p.66「入学選考料／入学金免除について」参照

博物館学芸員課程受講登録料

3年次編入学で、出願と同時に博物館学芸員課程の受講登録を行う場合、入学金・授業料・学生教育研究災害傷害保険料と博物館学芸員課程受講登録料の合計金額が、学費ローンの対象です。

※博物館学芸員課程受講登録料のみを、ローンではなく一括支払することはできません。

入学（受講）選考の結果「入学（受講）不許可」の場合

選考の結果、「入学（受講）不許可」となった場合や、編入学選考の結果、3年次編入学での入学がかなわず入学を辞退する場合は、ローン契約は不成立となります。

ローン契約成立後の入学辞退や退学

学費ローンは、オリコが本人に代わり、大学に一括で年間の学費を支払う仕組みですので、入学（受講）許可前に入学（受講）辞退をされた場合を除き、ローンの解約はできません。年度途中に退学した場合でもローンの解約はできず返済義務は残ります。

▶ p.68「入学辞退」参照

2年目以降のローン契約

ローンは自動更新ではありません。2年目の学費についてローンを利用される場合、次年度学籍更新手続時にローン申込が必要です。

ローン申請金額に誤りがあった場合

ローン申請金額に誤りがあった場合は、オリコへ連絡してください。審査が通っていても、再度申請し審査を通過する必要が生じることがありますのでご注意ください。

【よくある間違い】

・入学選考料20,000円が含まれている。
（例）芸術教養コース出願　誤　220,000円　→　正　200,000円
・保険料140円が含まれていない
（例）日本画コース出願　誤　357,000円　→　正　357,140円

学び方・履修形態

- 学習方法
- パソコンスキル・インターネット環境
  （全学科・コース共通）
- 課題提出期間および
  単位修得試験期間
- 履修形態（科目の種類と学び方）
- 学習支援体制

学習方法

入学後の学習の始め方

本学通信教育課程では「履修登録」がありません。自分で履修プランを立て、自分のペースで学習をすすめることができます。各コースでの学び始め方や必要な教材・テキスト・機材類については、新入生ガイダンスやコースガイド（下記）でご案内します。

新年度の学習開始日：4月1日

※出願に用いたairUマイページが、4月1日より出願用から学習用にコンテンツが変わります。ただし、第14期合格者の学習開始は4月13日以降となりますので、ご注意ください。

①「airUマイページ」にログイン

本学通信教育課程独自の学習用Webサイト「airUマイページ」を通して、オンライン学習を行います。
学生一人一人の学習をサポートする様々な機能を備えた個人ページです。

学習用Webサイト「airU（エアー・ユー）マイページ」でできること

「airUマイページ」は本学通信教育課程独自の学習用Webサイトです。
学生一人一人の学習をサポートする様々な機能を備えた個人ページです。

テキスト科目
- レポートや作品の提出
- 単位修得試験の受験

Webスクーリング科目
- 動画教材の視聴
- レポートや作品の提出

スクーリング科目
- 申し込み、キャンセル
- 教材の確認や課題の提出（web提出指定の場合）
- 遠隔授業への出席

その他サポート

履修計画サポート（履修プラン）
学習スケジュールの作成や、履修状況、修得単位数を確認できます。

学習サポート
学習の進め方などをわかりやすく説明する「学習ガイド」や、シラバス（科目概要）の確認、本学で提供する電子テキストの閲覧ができます。

大学からの情報閲覧・各種手続
定期的に配信される大学やコースからのお知らせを随時確認できます。
証明書発行申請や学籍更新をはじめとする各種手続きも行うことができます。

学生生活サポート
わからないことはコンシェルジュ（質問フォーム）での問い合わせを随時受け付けています。

コンシェルジュ

（AIによる自動応答 / 質問フォーム）

わからないことがあれば、airUマイページ内の「コンシェルジュ」へ入力。AIによる自動応答なので「スクーリングの申込み方法は？」「何から始めればいい？」など気軽に質問できます。詳細な相談や質問は「質問フォーム」から可能です。

②入学式・新入生ガイダンスに参加

入学式

下記の日程で行います。出席は任意です。第12期（2027年2月26日（金）締切）までに出願し、合格した方に案内を送付します。
入学式・対面ガイダンスは、参加予定者数の把握のため事前申込制にて実施を予定しています。詳細は、学生証と一緒にお送りする「入学式・新入生ガイダンスのご案内」、または3月下旬に公開するairUマイページのお知らせにて内容確認のうえお申込ください。
出願時期により、お申込をお受けできない場合もありますので、出席を希望される場合は早めにご出願ください。

※入学式はLIVE配信を予定していますので、当日参加が難しい方や第13期以降合格者はLIVE配信を視聴してください。

開催日	開催地／会場	学科・コース
4月3日（土）	京都／瓜生山キャンパス	全学科・コース

新入生ガイダンス

学習方法やカリキュラムについて説明を行う「新入生ガイダンス」を下記の日程で行います。いずれも出席は任意ですが、積極的に出席してください。詳しくは学生証に同封の案内資料にてご確認ください。

［2027年度4月入学］

開催日	開催地／会場	学科・コース
4月3日（土）［入学式後に実施］	京都／瓜生山キャンパス	全学科・コース
4月11日（日）	東京／外苑キャンパス	
5月にオンラインでのガイダンスを予定　日程など詳細は入学後の案内資料をご確認ください		

※当日ガイダンスに参加できない方向けに、別途学習用Webサイト「airUマイページ」にガイダンス資料を掲載予定です。必ず閲覧してください。

③履修プランを立てる

各学科・コースの「airU学習ガイド」内のコースガイドを参考にしながら、各科目の「開講期」や「課題提出期間」に従って各自が学習計画を立て、それぞれのペースで学習します。

卒業要件・必修科目の確認
卒業までに修得が必要な科目や単位数を確認しましょう。
- **卒業要件**　p.14 ～ 17
- **履修形態**　p.47 ～ 52

カリキュラム一覧（シラバス）
各科目の到達目標や課題内容、テキスト等の学習に必要な教材・テキストなどが明記されています。

コースガイド
「airU学習ガイド」内には、各コースでの学び方を詳しく案内する「コースガイド」が掲載されています。コース推奨の「履修モデル」を参考に、学習計画を立てましょう。

airU学習ガイド
「airUマイページ」を通した学習の進め方や事務手続の方法など、通信教育部での学び方・学生生活の送り方を案内しています。「airUマイページ」内のボタンから閲覧できます。

④教材・テキスト・機材類を準備し、学習開始

上記②③での案内に加えて、履修予定の科目のシラバスを確認し、学習に必要となる教材・テキストや機材類を準備します。履修プランをもとに、取り組みやすい科目から学びをスタートしましょう！

パソコンスキル・インターネット環境（全学科・コース共通）

学習を進めるには、インターネットへの接続環境が整ったパソコンが必要です。▶ p.6「出願資格」参照
また、所属コースにより、指定の教材・機材が必要です。▶ p.26「③テキスト・教材・機材費」参照

スキルレベル

文字入力や作成したファイルのアップロード、インターネット閲覧、メールの送受信等、基本的なパソコンやWebの操作ができれば問題ありません。 文字のコピー &ペースト、作成した文書や資料をPDFに変換（ファイル形式を指定して保存）、Zoom（オンライン会議システム）でのファイル共有もできると良いですが、学習を進める中で慣れていっていただければ結構です。
入学後、新入生ガイダンス等でも本学学習システム利用に関する基本的な操作方法等について説明する機会を設けます。 その他ご不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

推奨機材

画面の見やすさ（画面サイズ）や文字入力のしやすさ（キーボードの有無）を考慮してご自身に合った端末を選んでください。 カメラ・マイクが使用できるパソコンを推奨します。
※一部コースではパソコン機材の指定あり。▶ p.29～「指定機材・アプリケーションソフト等」参照

システム要件

デバイス	対象OS	ブラウザ
Windows PC	Windows 11以降	Google Chrome（推奨） Microsoft Edge
Mac PC	macOS 13 Ventura 以降	Google Chrome（推奨） Safari
iPhone・iPad	iOS 16 以降	Google Chrome（推奨） Safari
Android端末	Android 13以降	Google Chrome（推奨）

※ブラウザはいずれも最新版を使用してください。
※ブラウザの設定で、Cookieを有効にする必要があります。 Cookieが無効の場合、airUの一部が正常に動作しないことがあります。
※今後のOSやブラウザ、本学システムのバージョンアップに伴い、システム要件も変更となる場合があります。
※セキュリティの観点から、できるだけ最新のOSにアップデートするようにしてください。

アプリケーション

レポート作成にあたってはそれなりの長文を執筆しますので、Microsoft Word等のテキストエディタを使用できると良いでしょう。 遠隔スクーリングではオンライン会議システムの「Zoom」を使用します。 最新のシステム要件については以下ZoomのWebサイトをご確認ください。
なお、コースによっては特殊なアプリケーションを使用するなど、別途要件を指定しています。▶ p.29～34参照

・Zoom サポート（https://support.zoom.com/hc/ja）

インターネット環境

Web利用にあたっては別途通信料がかかります。 定額の高速光回線を推奨します。

システムの言語環境

海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみご利用いただけます。また、ブラウザの設定も日本語に設定していただく必要があります。 タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定していただく必要があります。

履修形態（科目の種類と学び方）

通信教育における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。
本学通信教育課程では自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が7種類あります。

テキスト科目	TR（テキストレポート科目）	自宅学習	レポート課題と単位修得試験がある科目
	TW（テキスト作品科目）		作品課題の科目
	TX（テキスト特別科目）		卒業関連科目、論文研究など特別な科目
スクーリング科目	WS（Webスクーリング科目）		Web上での動画学習と課題提出がある科目
	OS（オンデマンドスクーリング科目）		オンデマンド動画と講評がある科目
	S（スクーリング科目）	対面/遠隔授業	対面／遠隔（ライブまたはオンデマンド）授業のある科目
	GS（藝術学舎科目）		本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目

履修形態（コース専門教育科目）

コース専門教育科目の基本的な学び方は下記の通りです（2026年7月時点）。
別途、学部共通専門教育科目等の必修科目が設けられている場合等がありますので、入学後に卒業要件を改めてご確認ください。

学科	コース	コース専門教育科目の基本的な学び方					
		テキスト科目			スクーリング科目		
		TR（テキストレポート科目）	TW（テキスト作品科目）	TX（テキスト特別科目）	WS（Webスクーリング科目）	OS（オンデマンドスクーリング科目）	S（スクーリング科目）
芸術教養学科	芸術教養コース	●		●	●		
	博物館学実践コース	●			●	●	● 資格取得者※
文化コンテンツ創造学科	音楽コース		●	●	●	●	
	イラストレーションコース		●	●	●	●	
	映像コース	●	●	●	●	●	
	グラフィックデザインコース		●	●	●	●	
	食文化デザインコース		●	●	●	●	
	書画コース	●	●			●	
	文芸コース					●	
芸術学科	芸術学コース	●		●			●
	歴史遺産コース	●		●			●
	和の伝統文化コース	●		●			●
美術科	日本画コース		●	●			●
	洋画コース		●	●			●
	陶芸コース			●			●
	染織コース		●	●			●
	写真コース		●	●			●
環境デザイン学科	建築デザインコース	●	●	●	●		●
	ランドスケープデザインコース	●	●	●			●
	空間演出デザインコース	●	●	●			●

※カリキュラム改編等により変更の可能性があります。
※芸術学科の全科目、環境デザイン学科のTR科目は、学科専門教育科目を含みます。
※文化コンテンツ創造学科各コース専門教育科目のスクーリング科目については、p.49をご参照ください。
※芸術教養学科 博物館学実践コースで博物館学芸員資格を取得される場合は、資格課程登録は不要ですが、所定のスクーリング科目の履修が必要です。

テキスト科目

テキストや補助教材をもとに自宅で学習する科目です。

TR（テキストレポート科目）

テキストや補助教材をもとに自宅で学習します。テキストを読み、あたえられた課題についてレポート（3,200文字程度／2単位科目）を作成。レポートは教員からの添削講評文とともに返却されます。レポート合格後に単位修得試験を受験できます。レポート、単位修得試験に合格すれば単位修得です。

単位修得試験

レポート合格後、単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWebでのみ受験できます。1科目につき、60分間の論述形式（あたえられた課題について自らの考えを述べる形式）の試験が中心です。本人認証（要学生証）を経て学習用Webサイト「airUマイページ」で受験します。

TW（テキスト作品科目）

テキストや補助教材（動画等）をもとに自宅で学習します。テキストを読み、あたえられた課題について作品を作成。添削講評文と、課題によっては作品のコピーやデータに教員のコメントが書き込まれたものとともに返却されます。

TX（テキスト特別科目）

テキストや補助教材をもとに自宅学習、または自分で設定したテーマについて学習します。あたえられた課題についてレポートや作品を作成。レポートや作品は教員からの添削講評文とともに返却されます。科目によって、開講スケジュールや課題の提出期間が異なるなど、取り組み方はさまざまです。卒業関連科目、論文研究などの特別な科目が該当します。

テキスト科目の課題提出の方法

課題の提出方法は科目により、「Webのみ」「Webと郵送等」「郵送等のみ」があります。芸術教養学科、文化コンテンツ創造学科のコース専門教育科目はすべて「Webのみ」です。郵送等は京都瓜生山キャンパスでの窓口提出も含みます。

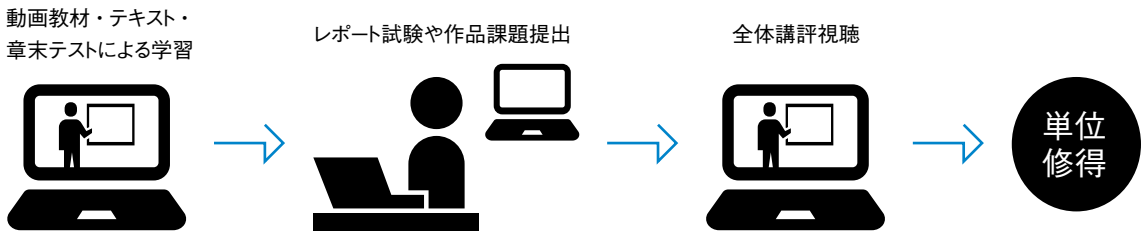
新入生のテキスト科目課題提出時期

テキスト科目の課題提出期間は4月から始まります。出願時期が第14期になると、課題提出までに十分な学習時間がとれなくなる可能性があります。余裕をもった学習の開始や4月度の課題提出を目指す場合は、早めの出願をおすすめします。

スクーリング科目

オンデマンド授業や対面授業を通して学習する科目です。

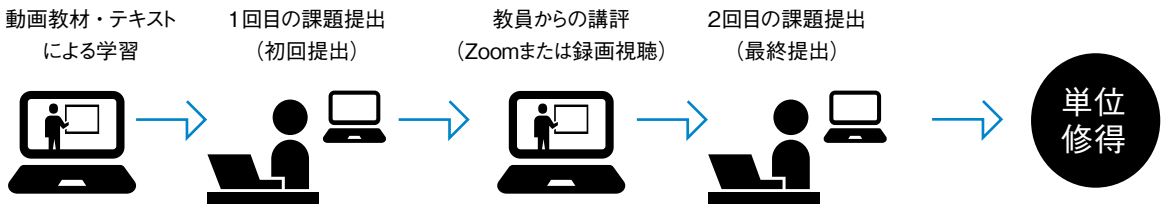
WS（Webスクーリング科目）



動画教材とテキストを組み合わせて学習します。３ヶ月ごとに開講され、科目により原則「春期・秋期」の開講か、「夏期・冬期」の開講に分かれています。
動画教材は全15章で構成されており、各章ごとに設けられた章末テストに解答し、全問正解すると次章に進むことができます。全章を視聴後、レポート形式の試験または作品課題を提出し、「全体講評」動画で視聴することで授業が終了します。レポート試験の場合、レポートのボリュームは科目により異なりますが、800 ～ 1,600字程度です。

OS（オンデマンドスクーリング科目）

総合教育科目のオンデマンドスクーリング科目
博物館学実践コース、文化コンテンツ創造学科　各コース専門教育科目のオンデマンドスクーリング科目



動画教材とZoomなどによる講評を組み合わせて学習します。各科目ごとに開講期が決まっており、開講期中に受講する必要があります。動画教材を視聴し、課題を初回提出、教員からの講評をオンラインで受け、再度課題を最終提出することで授業が終了します。

科目ごとに指定された開講日にZoomでリアルタイムで出席するか、後日録画動画を視聴するかを各自選択します。（総合教育科目は事前にスクーリング受講申込みが必要。） オンデマンドスクーリング科目の一部には事前課題や事前学習がありますので、受講前までに取り組んでください。 また、講義系科目はスクーリング最終日の筆記試験または授業後のレポート提出（原則Web提出）が必要な科目があります。

スクーリングの申込について

1　博物館学実践コース、文化コンテンツ創造学科 各コース専門教育科目のオンデマンドスクーリング科目

文化コンテンツ創造学科の各コース（音楽、イラストレーション、映像、グラフィックデザイン、書画、食文化デザイン、文芸）のコース専門教育科目のOS「オンデマンドスクーリング」科目は、すべて遠隔開講です。 事前申込・受講料は必要ありません。 オンデマンドの動画教材視聴と課題提出をベースに、一部リアルタイムによる講評などが設けられています。 詳細は通信教育部Webサイト内のコースページにてご確認ください。

※文芸コース、書画コース専門教育オンデマンドスクーリング科目の課題提出期間は4月から始まります。 出願時期が第14期になると、課題提出までに十分な学習時間がとれず、夏期（7月）以降に学習開始となる可能性がありますのでご注意ください。

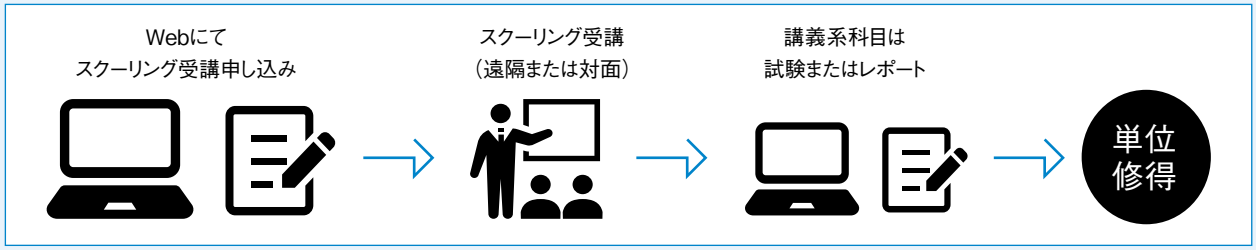
2　総合教育科目の（オンデマンドスクーリング科目）

総合教育科目のOS（オンデマンドスクーリング）科目の受講には、「airUマイページ」からの事前申込が必要です。3ヶ月に1回、年4回の申込期間が あり、それぞれ先行募集・追加募集（春期は追加募集なし）の期間が設けられています。 各期間については、入学後に「airU学習ガイド」にてご確認ください。 また、一部科目において、上記履修形態と異なるものがございます。

※芸術教養学科の方は一部のみ受講できる科目があります。

S（スクーリング科目）

総合教育科目・学部共通専門教育科目のスクーリング科目
芸術学科・美術科・環境デザイン学科 各コース専門教育科目、資格課程科目のスクーリング科目



科目ごとに指定された開講日・開講形態を各自選択するリアルタイム授業です。 事前にスクーリング受講申込みをした上で履修します。開講形態は遠隔もしくは対面（京都、東京）のいずれかを科目ごとに選択して受講します。スクーリング科目の一部には事前課題や事前学習がありますので、受講前までに取り組んでください。 また、講義系科目はスクーリング最終日の筆記試験または授業後のレポート提出（原則Web提出）が必要な科目があります。

スクーリング開講形態／会場

選択した日時・開講形態によるリアルタイム授業です。 遠隔（オンラインリアルタイム）、京都、東京のいずれかをメインに会場と日程を選択します。 1科目あたり土日2日間セットの受講になります。

遠 隔※	Zoom（オンライン会議システム）等を利用したリアルタイムでの受講
京 都	「瓜生山キャンパス」等、京都市内の本学施設を中心に開講。
東 京	「東京外苑キャンパス」　※他会場で開講する場合もあります。

※遠隔授業の場合も対面授業と同じく申し込みが必要です。
※受講許可者は、スクーリング開講日にairUマイページ上から入室して受講します。

対面スクーリング時の宿泊施設

京都については、各自で手配をお願いします。東京については、本学学生用の特別宿泊料金を設定している東京外苑キャンパス周辺のホテル等は、入学後に「airU学習ガイド」にてご確認ください。京都や東京以外の一部の地方スクーリングでは、事務局が直接宿泊施設の斡旋を行う場合もあります。なお、大学には宿泊施設はありません。

スクーリングの日数

1科目あたり基本土日2日間セットの受講です。講義系スクーリングは1単位7.5講時（スクーリングにより+0.5講時の授業後試験あり）、演習系スクーリングは1単位10講時を基準にしています。
以下を基本のパターンとしています。

- 講義系スクーリング（１単位）＝３講時（Ⅲ～Ⅴ講時）＋５講時（Ⅰ～Ⅴ講時）＝２日間※1
- 演習系スクーリング（１単位）＝５講時（Ⅰ～Ⅴ講時）＋５講時（Ⅰ～Ⅴ講時）＝２日間※2

※1：講義系スクーリングでは事後にレポートに取り組む科目があります。
※2：スクーリングの受講前または事後に5講時相当の事前または事後課題などに取り組む必要があります。

科目により開講の形態が違いますので、「2027年度スクーリング日程表（PDF）」（2026年12月下旬本学Webサイト内で公開予定）で確認してください。

スクーリング開講時間

講時	開講時間
Ⅰ講時	9：30 ～ 10：50
Ⅱ講時	11：00 ～ 12：20
Ⅲ講時	13：20 ～ 14：40
Ⅳ講時	14：50 ～ 16：10
Ⅴ講時	16：20 ～ 17：40

スクーリングの申込について

スクーリング科目の受講には、「airUマイページ」からの事前申込が必要です。３ヶ月に1回、年4回の申込期間があり、それぞれ先行募集・追加募集（先行募集の結果、定員に空きがある科目のみ）の期間が設けられています。各期間については、入学後に「airU学習ガイド」にてご確認ください。

※先行募集で定員を超える申し込みがあった場合、申込者全員を対象に抽選を行い、後日申込結果を公開します（先着順ではありません）
※申込者が少ない場合、日程変更をお願いする場合や開講を取りやめることがあります。
※スクーリングの申込方法、その他詳細は「学生証」に同封する書類にてお知らせします。

新入生のスクーリング申込・受講開始について

新入生のスクーリング受講は5月からです（1年次入学・3年次編入学ともに）。また春期のスクーリングの先行募集申込は第13期までに合格された方が対象です。新入生対象の専門教育科目スクーリングは、出願時期にかかわらず追加募集にて受講申込できるよう、スクーリング日程を設定しています。ただし第14期に出願の方は、一部の選択科目において、スクーリング申込期間との関係で、5月開講の科目を申し込みできない可能性があるため、早めの出願をおすすめします。

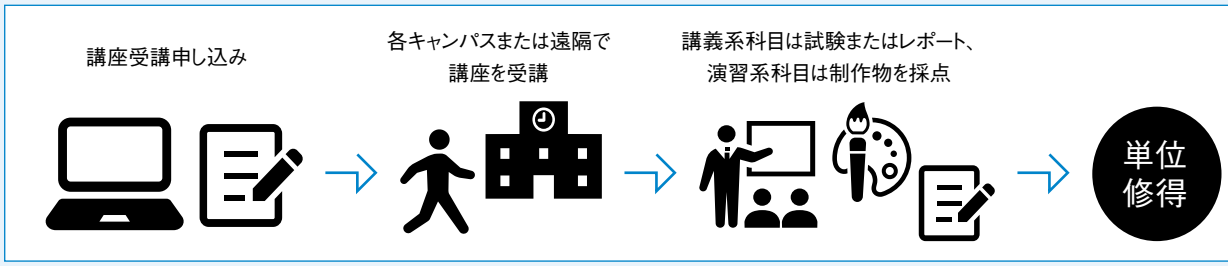
スクーリングのキャンセル料

申し込みをしたスクーリングを受講許可後にキャンセルする場合、キャンセル料（スクーリング受講料の10～100%）が発生します。なお、キャンセル時期によってはスクーリング受講料を一旦引落後に、後日キャンセル料を差し引いた金額を返金する場合があります（振込手数料本人負担）。

スクーリングの成績

講義系スクーリングの場合、成績評価のため、スクーリング終了後に筆記試験やレポート提出を求めることがあります。演習系スクーリングでは、スクーリング中に制作した成果物の提出や、プレゼンテーションが求められます。スクーリングの成績は、受講態度や課題、試験、提出物、プレゼンテーションの総合評価です。

GS（藝術学舎科目）



藝術学舎は本学が開講している一般公開講座です。隔週（全5回）または2日間集中の開講を基本として、講義やデッサン、美術・デザイン系の制作演習など、年間300講座以上の多彩なプログラムを開講しています。
藝術学舎の講座は本学通信教育部のスクーリング科目として開講しており、これらの講座に合格することで単位を修得できます（単位の認定には上限があり、一部、単位認定の対象外となる講座もあります。詳細は、『藝術学舎講座案内』をご確認ください）。
なお、本学通信教育部の在学生は講座料が10%割引ですので、単位修得の場として有効に活用してください。

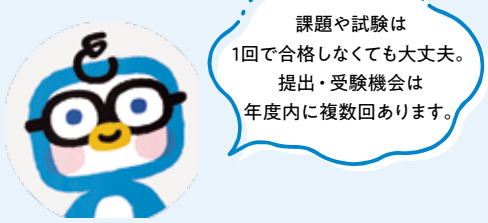
藝術学舎窓口
月～土 10:00 ～ 16:00（日・祝・学内行事日・年末年始は除く）
URL：https://air-u.kyoto-art.ac.jp/gakusha/　　E-mail：gakusha@office.kyoto-art.ac.jp

課題提出期間および単位修得試験期間

科目はそれぞれ春夏秋冬3ヶ月ごとに提出期間が設定されています。期間中はいつでも提出可能です。

		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキスト レポート 科目	レポート		試験	レポート		試験	レポート		試験	レポート		試験
		4/21 ～ 4/30		6/1 ～ 6/8	7/21 ～ 7/30		9/1 ～ 9/8	10/21 ～ 10/30		12/1 ～ 12/8	1/21 ～ 1/30		3/1 ～ 3/8
TW	テキスト 作品科目	作品	作品		作品	作品		作品	作品		作品	作品	
		4/11 ～ 4/20	5/11 ～ 5/20		7/11 ～ 7/20	8/11 ～ 8/20		10/11 ～ 10/20	11/11 ～ 11/20		1/11 ～ 1/20	2/11 ～ 2/20	
WS	Web スクーリング 科目		レポート または 作品	全体 講評		レポート または 作品	全体 講評		レポート または 作品	全体 講評		レポート または 作品	全体 講評
			5/21 ～ 5/28	6/13 ～ 6/20		8/21 ～ 8/28	9/13 ～ 9/20		11/21 ～ 11/28	12/13 ～ 12/20		2/21 ～ 2/28	3/13 ～ 3/20

TX、OS、Sの課題の提出期間は科目により設定されます。各科目のシラバスにてご確認ください。
※基本日程を記載しています。暦の関係等で一部前後する場合があります。
※単位修得試験は、Web受験のみです。
※WS科目は、原則、「春期・秋期」または「夏期・冬期」の開講です。（一部例外あり）



学習支援体制

学習相談会・オフィスアワー

Zoomをつかったオンラインや対面（京都・東京キャンパス）などで学習計画の立て方 や、学習の進め方、科目の履修についてなどの質問や相談に教職員が直接応える場として、ガイダンスや学習相談会などのほかに「オフィスアワー※」を定期的に開催しています（参加自由）。学生同士の交流なども兼ねて実施することもあり、実施形態や頻度はコースによって異なります。

※コースによっては「オープンゼミ」等、名称が異なることがあります。

airUコミュニティ（通信教育課程専用SNSアプリ）

本学通信教育課程の在学生、卒業生、教職員専用のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）です。事務局や学科・コースからのお知らせやイベント情報の確認ができ、コース内のコミュニティで教員や在学生と意見交換をしたり、学生同士や卒業生と自由にコミュニティを立ち上げ情報交換や交流ができます。スマートフォンにアプリをダウンロードしPUSH通知を有効にすると、必要な情報が通知されます。

※airUコミュニティにおける交流は実名です。あらかじめご了承ください。
※4月1日より利用可能となります。ただし、第14期合格者は、4月13日以降となります。

『雲母（きらら）』（airUに掲載）

定期的に発行される補助教材です。各研究室教員からのメッセージやアドバイスをお届けします。

学習会のサポート

テキスト課題に一緒に取り組んだり、デッサン会やグループ展を催したり等、学生が集まって自主的に行う勉強や発表の機会、「学習会」が全国各地で盛んに行われています。また、学習会の会場として、京都・東京の両キャンパスの教室の一部を無料で貸し出しています（要申込）。

芸術文化情報センター（大学図書館）

図書貸出は10冊を上限に2週間まで行っています。相互利用サービスとして、他大学の図書館や研究機関、国立国会図書館等の蔵書を利用できるサービスもあります。さらに、国内外の論文検索、商用データベース、レファレンスサービスも利用できます。また、東京外苑キャンパス内で本学所蔵の図書資料（一部）を閲覧・複写することも可能です。

進路サポート

手続きを行えば通学部と同様、キャリアデザインセンターが利用できます。（京都・瓜生山キャンパス／平日のみ）

※再就職や転職の相談・あっせんは行っておりません。
※利用対象は新卒に相当する方（卒業見込み時に27歳までで勤務経験がない方）です。

キャリアカウンセリング

有資格者のキャリアカウンセラーとの相談で、一人ひとりの進路を個別にサポートします。（オンラインまたは対面、事前予約制）

内定者ポートフォリオの閲覧

芸大生の就職活動で最大の武器となるポートフォリオ。内定を勝ち取った300冊以上を閲覧可能。（一部をオンラインでも閲覧可。フォームより要申請）

求人票閲覧や履歴書ダウンロード

オンラインでの求人票閲覧や、在学生専用の履歴書を無料で配布しています。

出願手続

- 出願にあたっての確認事項
- 出願手続の流れ
  1. 提出書類の準備
  2. Web出願手続き
  3. 口座振替登録／入学手続金の支払い
- 入学選考料／入学金免除について
- 合否通知・学生証等の送付時期
- その他諸注意
- 書式

出願にあたっての確認事項

出願に際しては、以下の事項を必ずご確認いただき、内容を承諾のうえで手続きを進めてください。

(1) プライバシーポリシーへの同意

本学通信教育課程の「プライバシーポリシー」を事前に確認し、個人情報の取り扱いに関する各事項に同意します。　[URL:https://www.kyoto-art.ac.jp/t/privacy-policy/]

(2) 学修および学生生活について

☐ 本学の学則および諸規則を遵守し、学生の本分に反しないことを誓約します。

☐ 入学は自らの意志によるものであり、入学後は主体的に学修に取り組む意思があります。

☐ 大学教職員の指導に従い、誠実に学業に励みます。

☐ 各種届出および諸手続きは、大学が指定する期日を厳守して行います。

☐ 上記各項目に著しく違反した場合は、除籍を含む処分を受けても異存ありません。

(3) 大学からの連絡について

☐ airUマイページ（LMS）のお知らせ、メール、電話等による大学からの連絡を速やかに確認します。

☐ 大学に登録している電話番号・メールアドレス・住所等の連絡先に変更が生じた場合は、直ちに所定の変更手続きを行います。

(4) 学籍更新・学費について

学籍および学費に関わる以下の運用・手続きについて、内容を十分に確認・理解しました。

☐ **氏名の取り扱い**：適切な修学管理および授業運営のため、airUマイページ（LMS）、airUコミュニティ（学内交流SNS）、遠隔科目・スクーリング等、すべての学修環境においては、大学登録の氏名（戸籍名）を使用します。 ニックネーム等の表示には対応しておりません。

☐ **学籍更新と費用**：在学中は、毎年「学籍更新」の手続きが必要です。 次年度の在籍（継続・休学）を確定させる手続きであり、所定の費用（授業料または休学料）の納入をもって許可されます。 例年1月に受付を行い、年度末での退学を希望する場合もこの期間に申請が必要です。

☐ **次年度費用の引落**: 学籍更新期間中に申請（退学・休学等）がない場合は、次年度も継続して学修するものとみなし、2月下旬に次年度授業料の口座引落を行います。 年度末退学や次年度休学を希望される方は、申請期限に十分注意してください。

☐ **休学制度**: 休学は在籍年限内に通算4年間まで可能です（ただし、入学初年度の休学はできません）。 休学期間は修業年限には算入されませんが、在籍年限には含まれます。

☐ **休学に関わる費用**：休学期間中は授業料に代わり、休学料（20,000円・前年度実績）の納入が必要です。

☐ **休学の単位**: 休学は年度単位（4月～翌3月）となります。 年度途中からの休学や、年度途中での復学（学修再開）は認められません。

☐ **諸費用の引落**: スクーリング受講料や教材費等の諸費用は、大学が指定するスケジュールに基づき、出願時に登録された金融機関口座より引き落とされます。

☐ **未納時の措置**: 本学が指定する期限までに学費（授業料・休学料・諸費用）の納入がない場合、または学籍更新手続きが完了しない場合は、除籍措置となることがあります。

出願手続

出願手続きの流れ

1. 提出書類の準備

Web出願手続のほか、出願書類を提出していただく必要があります。
※入学手続金の支払いにローンを希望する場合は事前に手続きが必要。▶ p.38「学費ローン」参照
（詳細は次ページ以降を確認してください）

2. Web出願手続き

基本情報の登録、口座振替登録、入学手続金の支払いなどは出願サイトから手続きしていただきます。 最終締切日を過ぎますと、それ以降はいかなる理由でも手続きができませんのでご注意ください。

第14期出願の最終締切 ： 2027年3月31日（水）17：00

基本情報の登録 Web

出願者の基本情報の登録や、学生証に使用する顔写真データのアップロードなどを行います。

出願受付メール

出願番号とairUマイページのログインIDをお知らせいたします。

志望動機の入力 Web

アドミッション・ポリシーに基づき、熱意や意欲などの志望理由を入力ください（300字以上600字未満）。

3. 口座振替登録・入学手続金の支払い

口座振替登録 Web

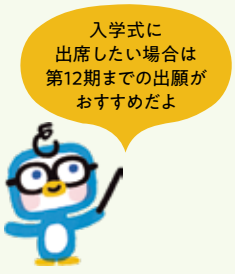
入学後に必要な費用（スクーリング受講料や2年目以降の学費など）の引落口座を事前に登録いただきます。
※入学手続金は引き落としではありません。 次のステップでお支払いいただく必要があります。
※口座の名義は、志願者本人または学費支弁者に限ります。（会社名義は不可）

入学手続金の支払い Web

最終締切 ： 2027年3月31日（水）17：00
※出願された期の受付期間内にお支払いください。▶ p.5「募集概要」参照
入学前に必要な費用（入学選考料、入学金、1年目の学費など）をお支払いいただきます。
（支払方法は、クレジットカード／ネットバンキング／コンビニ／ペイジー／ローンから選択）▶ p.22「入学手続金」参照

入学手続金支払い完了メール Web

お支払い完了からメール送信までに数日を要する場合があります。



4. 出願時に必要な書類の提出

提出書類の送付

最終締切 ： 2027年4月2日（金）必着
※第1期から第14期までのそれぞれの期間内に不備なく提出書類を提出された方が審査対象です。
4月1日から学習を始めるには、第13期の出願締切日（3月12日）までに不備・不足のない状態で到着するように送付してください。▶ p.59 ～61「1.提出書類の準備」参照

出 願 完 了

受付メールが届かない場合や、受付通知受領後の出願手続中に問題が発生した場合は、重複して出願を行わずに、アドミッション・オフィスまでお問合せください。

出願後の流れ

書類審査

↓

合否通知 Web https://www.kyoto-art.ac.jp/t/

▶ 合否通知の日程はp.5参照

※合否通知の約2週間後に学生証などを郵送いたします。
ただし、第1期～第8期に出願された方は、2027年2月以降に学生証を郵送いたします。

合格発表は大学ホームページで

↓

入学許可通知メール

学籍番号、入学学科・コースなどをお知らせいたします。

↓

学 習 開 始

第13 期までの合格者は4 月 1 日より、第14期合格者は入学許可通知後より随時学習開始となります。

1. 提出書類の準備

証明書等の準備（発行元への手続き）には時間がかかることが予想されますので、余裕をもって準備をしてください。

※書類の到着に関するお問い合わせには応じられませんので、ご自身で追跡可能な方法（**簡易書留や特定記録郵便など**）で郵送してください。

A. 入学資格証明書【全員】

出願者の入学資格に応じて提出いただく証明書が異なります。 次ページを確認し、**原則発行6ヶ月以内の正本**を提出してください。（コピー不可、厳封不要）

B. 編入学基礎資格証明書【該当者のみ】

専修学校専門課程（専門学校）や高等学校専攻科を修了または修了見込で、3年次編入を希望される場合に提出いただく証明書です。▶ 本学所定様式p.73「様式1」またはp.74「様式2」 ▶ p.71・72 「発行について」参照

出身校に本証明書の発行を依頼してください。 出身校において、本証明書が発行できない場合は、理由の如何にかかわらず編入学資格がないものと判断いたします。

C. 戸籍抄本等【該当者のみ】

現在の戸籍上の氏名と、A. 入学資格証明書に記載されている氏名が異なる場合に提出いただくものです。
それぞれの氏名が同一人物であることが確認できる公的な書類（戸籍抄本、年金手帳の氏名変更記載ページ、在留カードの両面など）を提出してください。 コピーで構いませんが、発行6ヶ月以内のものに限ります。

D. パスポートのコピー等【該当者のみ】

外国籍の方に提出いただくものです。
パスポートの写真のあるページのコピーを提出してください。 パスポートがない場合は、国籍を確認できる公的な書類のコピーを提出してください。
また、日本在住の場合、在留資格を証明する資料（在留カード、特別永住者証明書など）のコピーを提出してください。

A. 入学資格証明書【必須（全員）】

出願者ご本人の入学資格を確認いただき、**原則発行6ヶ月以内の証明書の正本（コピー不可、厳封は不要）**を提出してください。

入学形態	入学資格	必要な証明書（すべて提出）	
1年次入学	高等学校・中等教育学校	● 卒業証明書	● 卒業見込の場合、調査書で可ですが、卒業確定後に卒業証明書を提出してください。▶ p.68へ
	大学入学資格が付与される専修学校高等課程	● 修了証明書	● 卒業・修了見込で出願の場合、卒業・修了見込証明書で可ですが、卒業・修了確定後に確定した証明書を提出してください。▶ p.68へ ● 看護学校等で、その教育機関の卒業証明書では「高等学校卒業」が確認できない場合は、高等学校の卒業証明書を提出してください。
	高等専門学校3年次修了	● 3年次修了の証明書	
	大学・短期大学退学	● 在籍期間証明書（または退学証明書）	● 退学見込で出願の場合、在籍期間（見込）証明書※5で可ですが退学確定後に在籍期間証明書（または退学証明書）を提出してください。※4
	海外において学校教育における12年の課程を修了	● 成績証明書 ● 修了証明書 ● 国際バカロレア資格証明書のコピー ● 国際バカロレア最終試験6科目の成績評価書	● 日本文または英文に限ります。 それ以外の場合、①翻訳文、②大使館等公的機関で、翻訳が正しいことの証明を受けた書類（公正証書）の両方を添付してください。 ※別途資料の提出を求める場合があります。 ※審査に時間を要する場合があります。
	高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）	● 合格証明書	● 合格見込で出願の場合、合格見込証明書で可ですが、合格後に合格証明書を提出してください。
	大学編入学要件を満たさない、専修学校専門課程（専門学校）・高等学校の専攻科	● 高等学校の卒業証明書	● 看護学校等で、その教育機関の卒業証明書では「高等学校卒業」 が確認できない場合は、高等学校の卒業証明書を提出してください。
3年次編入学	大学・短期大学・高等専門学校	● 成績証明書※2 ● 卒業証明書	● 成績証明書に入学年月、卒業・修了年月の記載があれば、卒業・修了証明書は不要です。 ● 大学院修了は出願資格とはなりません。大学（学部）の成績証明書と卒業証明書を提出してください。 ● 卒業・修了見込で出願の場合、単位修得見込証明書と卒業・修了見込証明書で可ですが、卒業・修了確定後に確定した証明書を提出してください。▶ p.68へ
	大学編入学要件を満たす、専修学校専門課程（専門学校）・高等学校の専攻科	● 成績証明書※2 ● 修了証明書 ● 編入学基礎資格証明書※3「様式1」または「様式2」	
	大学退学（短期大学退学は不可）	● 成績証明書※1※2 ● 在籍期間証明書（または退学証明書）	● 成績証明書に入学年月、退学年月の記載があれば、在籍期間証明書（または退学証明書）は不要です。 ● 退学見込で出願の場合、単位修得見込証明書と在籍期間（見込）証明書※5で可ですが退学確定後に成績証明書と在籍期間証明書（または退学証明書）を提出してください。
	海外において学校教育における14年の課程を修了	● 成績証明書※2 ● 学位が確認できる証明書（卒業証明書または学位取得証明書）	● 学士（Bachelor）もしくは短期大学士（Associate degree）の学位取得を確認できる証明書を提出してください。 ● 日本文または英文に限ります。 それ以外の場合、①翻訳文、②大使館等公的機関で、翻訳が正しいことの証明を受けた書類（公正証書）、の両方を添付してください。 ※別途資料の提出を求める場合があります。 ※審査に時間を要する場合があります。
	各省庁設置の大学校卒業で、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与	● 出身大学校の成績証明書※2 ● 出身大学校の卒業証明書 ● 学位授与証明書	● 学位授与見込で出願の場合、学位授与申請受理証明書で可ですが、授与後に学位授与証明書を提出してください。

※1：通信制大学退学の場合、修得科目の区分（テキスト科目かスクーリング科目か）と単位数が記載された資料を添付してください（成績証明書に記載されている場合は不要）。
※2：3年次編入学での出願には成績証明書の提出が必須です。
※3：編入学基礎資格証明書の入学時の最終学歴欄で大学入学資格が確認できない場合は別途入学資格証明書の提出を求めます。
※4：退学見込で出願の方で、在籍期間（見込）証明書が発行できない場合は、退学日の入った退学見込証明書でも可。
※5：在籍期間（見込）証明書はp.75の「様式3」を使用し、在籍している教育機関にて発行してください。

●提出書類の送付

第1期から第14期までのそれぞれの出願期間内に不備なく提出書類を提出された方が、その期の審査対象となります。（例えば、第2期締切の9月25日までに本学に到着した書類に不備がなければ第2期に審査を行います。）
不備・不足がないように十分に確認したうえで提出してください。
例年、不備・不足が多数見受けられますので、期日には余裕をもって準備されることをおすすめします。

第14期出願の最終締切：2027年4月2日（金）必着

提出先
〒606-8271　京都市左京区北白川瓜生山2-116　京都芸術大学通信教育課程 アドミッション・オフィス
窓口受付期間：月～土／ 9:00 ～ 17:00　※日祝休

提出用封筒
資料請求された方へ出願専用の提出用封筒を同封してお送りしております。
提出用封筒（青色の定形サイズ封筒）に必要事項を記入し、郵送または窓口に持参してください。
※出願専用封筒がお手元にない場合は、任意の封筒に「封筒貼付用宛名シート」（p.70）を貼り付けて提出してください。

書類準備に関する留意点

●各種証明書は、2026年9月1日を起点として原則発行6ヶ月以内の正本（コピー不可）

卒業証書や合格証書、またそれらのコピーも不可です。 発行日が2026年3月1日以降の証明書をご準備ください。

●証明書発行元（出身校等）が閉校している場合
運営していた法人または証明書の発行業務を引き継いでいる機関（各都道府県の私学振興課、合併先の法人等）にお問い合わせください。

●経過年数により証明書が発行できない場合
出身校等が作成した発行不可証明書（理由書）を提出してください。 文面は任意です。

●電子証明書を提出する場合
電子証明書として発行されたものを印字して提出する場合、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるURL等の記載があるものを提出してください。
また、発行元が確認できる電子証明書であれば、直接データを提出いただいても構いません。「出願番号」「住所」「電話番号」「氏名」「発行元機関名」を明記のうえ下記メールアドレスまで送付してください。
通信教育課程 アドミッション・オフィス　E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

●出身校等が証明書の再発行を受け付けていない場合
下記のいずれかの方法をとってください。
①公証役場で公証した証明書を提出する
②証明書の発行機関で原本のコピーをとり、コピーに発行機関の公印を押印したものを提出する
※出身校等の事情により上記の方法が不可能な場合は、事前に通信教育課程 アドミッション・オフィス（tsushin@office.kyoto-art.ac.jp）に相談してください。

●証明書が日本語・英語以外の場合
大使館などの公的機関や日本語学校等による証明を受けた翻訳文を添付してください（公正証書）。
原本も提出が必要です。 翻訳文のみの提出や、翻訳サービス会社が作成した翻訳文は不可とします。

●卒業・修了見込または退学見込で出願する場合
出願時は、見込証明書（卒業見込証明書や単位修得見込証明書など）で書類審査が可能ですが、
卒業・修了・退学が確定したあとに「入学資格証明書」を提出する必要があります。
確定後の「入学資格証明書」が提出されない場合は、入学許可が出たあとであっても、入学日に遡って入学許可を取り消すことになりますので、ご注意ください。 その場合、入学手続金の返金はできません。

2. Web出願手続き

手続詳細については、本学通信教育部Webサイト掲載の
「Web出願マニュアル」（2026年8月公開予定）を参照ください。

出願時の登録情報について

① 氏名の通称

氏名は戸籍上のものに限ります。通称は認めません。在留資格「永住」の方はこの限りではありませんが、通称と入学資格証明書記載の氏名、出願時の氏名とが一致する公的な証明書を提出してください。

- 障がい等の理由で通称名使用を希望する場合は、必ず出願前に通信教育課程 アドミッション・オフィス（tsushin@office.kyoto-art.ac.jp）へご相談ください。

② 緊急連絡先の指定

万一に備え出願時に緊急連絡先を指定いただきます。緊急連絡先を入力・記入する際は、下記4点に留意してください。

- 緊急連絡先（日本国内に限る）は、必ず志願者本人以外の方を指定してください。緊急連絡先へは、大学から学生本人への緊急連絡が必要な際に連絡がつかない場合や、スクーリング受講中の事故等、就学上支障をきたすと判断される状況において、ご連絡を差し上げることがあります。
- 緊急連絡の必要性から、緊急連絡先として指定する方が携帯電話をお持ちであれば、必ず携帯電話の番号を入力・記入してください。
- 緊急連絡先となる方に、あらかじめ上記2点について説明し、了解を得ておいてください。
- 志願者が18歳未満の場合は保証人を兼ねます。

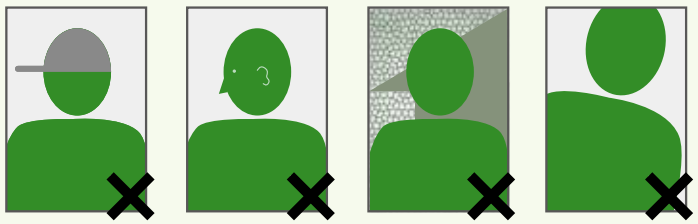
③ 旧字体等

お名前、ご住所に旧字体等が含まれている場合は、常用漢字の代替文字にて対応させていただきますので、あらかじめご了承ください。また、使用する文字フォントのバージョンは『JIS2004（JIS X 0213:2004）』に統一しています。これにより、一部字体が変更される場合があります。

顔写真データ

学生証および学籍原簿に使用する写真になりますので、証明書に相応しい写真データを登録してください。
※脱帽、正面、背景なし、3ヶ月以内に撮影されたもの　※加工したものは不可
5MB以下の証明写真画像ファイル　縦460px × 横368px 推奨

再提出（無効）となる写真



帽子を着用している　横顔で撮影している　背景に柄がある　顔が見切れている

- 顎にマスクをしている
- 手・髪・ヘッドアクセで顔の一部が隠れている
- プリクラや写真アプリで大きく加工されている
- エンボス印や文字の記載がある
- 変顔など、真顔とは大きく異なる表情
- ピースなどをしている
- サングラス（色付レンズ）やメガネの反射によって瞳が判別できない

出願内容の変更について

住所等の変更

出願後に、住所や電話番号等に変更が生じた場合は、すみやかに以下へ出願番号、氏名、生年月日、変更内容（変更時期）を明記して連絡してください。また、住所変更の場合は郵便局へ転居届を提出してください。大学からの重要な送付物（学生証等）が届かなくなります。

京都芸術大学 通信教育課程 アドミッション・オフィス　E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

出願内容の変更

出願後にコース・入学形態は変更できません。

Web出願受付通知（メール）について

出願後、Web出願を受け付けた旨のメール（件名：Web出願を受け付けました[airU]）を送信します。
Web出願登録後、1日経過してもメールが届かない場合は、以下へ氏名、生年月日、住所を明記し、メールが届かない旨を連絡してください。

京都芸術大学 通信教育課程 アドミッション・オフィス　E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

3. 口座振替登録 ・ 入学手続金の支払い

口座振替登録

入学後の各種諸費用（スクーリング受講料・教材費等）や2年目以降の授業料は口座引落にてお支払いいただきます。口座登録をしていただく銀行口座については、現在利用されている志願者及び学費支弁者名義（会社名義は不可）の金融機関の口座をご登録ください。
登録時に以下の各事項が必要になることがあります。

- 当該金融機関のキャッシュカードを持っていること
- 当該金融機関のネットバンキングを契約していること
- Web手続き画面での預金残高の入力
- Web手続き画面での各種暗証番号の入力

条件は金融機関によって異なりますので、登録時にエラーとなる場合は各金融機関窓口にお問い合わせください。

※各種暗証番号や預金残高はご利用の金融機関が求めるものであり、大学に情報が開示されることはありません。
　不明な点がある場合は、ご利用の金融機関にお問い合わせください。
※本学通信教育部では、Webによる口座振替登録サービス（三井住友カード（株））を利用します。
　ご登録口座が三井住友銀行（SMBC）の口座である必要はございません。

海外在住で日本国内の口座をお持ちでない場合

通信教育課程 アドミッション・オフィスにメールでご連絡ください。

口座振替登録の登録時にエラーになる場合

口座名義や生年月日、電話番号等、通帳および金融機関の登録情報通りに入力してください。また口座名義はすべて半角カナ入力です。全角カナになっていないかをご確認ください。ご利用の金融機関に問い合わせてもエラーが解消しない場合は、通信教育課程 アドミッション・オフィスにメールでご連絡ください。

入学手続金の支払い

決済代行会社（株式会社ペイジェント）から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に「入学手続金支払完了」メールを送信します。 お支払い完了後、本学からのメール送信に数日を要する場合があります。

支払い方法の変更を希望される場合

クレジットカード選択後にエラーになるなど、支払い方法を変更したい場合は、通信教育課程 アドミッション・オフィスにメールでご連絡ください。

支払方法

出願時
・クレジットカード決済 ・ネットバンキング（銀行ネット）決済 ・ペイジー決済 ・コンビニ決済 ・ローン利用

Web出願手続「学費の支払い」の画面にて、以下から支払方法を選択し、支払操作を行います。

クレジットカード決済

志願者本人、もしくは家族、会社等でご契約されているクレジットカードでお支払いください。 VISA/MASTER/JCB/AMEX（2026年7月現在。JCB/AMEXは一回払いのみ）。

ネットバンキング（銀行ネット）決済

志願者本人、もしくは家族でご契約されているネットバンキングでお支払いください。
https://www.pay-easy.jp/ （みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行など1,400行以上。）

【重要】決済の操作期限（クレジットカード決済、ネットバンキング決済）
決済サイトの画面には、支払操作のできる画面有効期限（10日間）が設定されていますので、期限内に支払操作を完了してください。なお、画面有効期限を越えた場合はエラーとなり、支払操作ができなくなります。その場合は、通信教育課程 アドミッション・オフィスにメールでご連絡ください。
京都芸術大学 通信教育課程 アドミッション・オフィス E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

ペイジー決済

ペイジー対応のATMで「収納機関番号・お客様番号・確認番号」を入力してお支払いください。 番号を忘れた場合はペイジー決済サービスから届くメールをご確認ください。

ペイジーの使い方
https://www.pay-easy.jp/howto/

対応金融機関
ゆうちょ銀行、三菱 UFJ 銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、千葉銀行、広島銀行、福岡銀行、横浜銀行、熊本銀行、京葉銀行、群馬銀行、足利銀行、南都銀行、七十七銀行、関西みらい銀行、十八親和銀行、東和銀行

コンビニ決済

「お支払い番号」を以下のコンビニの端末・レジで入力してお支払いください。
ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、デイリーヤマザキ、ミニストップ（2026年7月現在）。番号を忘れた場合はコンビニ決済サービスから届くメールをご確認ください。

【重要】
支払期限（10日間）が出願期間を超える場合でも、必ず出願期間内（最終期限2027年3月31日17:00まで）にコンビニの端末・レジでの支払いを完了してください。出願期間後に入金されても受け付けられません。なお、総額30万円を超える場合、コンビニ決済は利用できません。

ローン利用

あらかじめローン審査を受け、審査結果が「許可」となってから出願してください。Web出願手続「学費の支払い」の画面で「ローン利用」を選択し、次の画面でローン受付番号と、ローン対象外の入学選考料（20,000円）の支払い方法を入力します。なお、ローン対象外の入学選考料はクレジットカード決済、ネットバンキング決済、コンビニ決済またはペイジー決済でのお支払いです。▶ p.38「学費ローン」参照　なお、入学選考料の支払い方法を選択すると、決済代行会社の決済サイト画面に自動遷移します。

納付証明書の発行について

入学手続金については、ご入学後（4月1日以降）に納付証明書の発行が可能です。領収書の発行はしておりません。申請方法は、ご入学後にairUマイページ「学習ガイド」でご確認ください。

【お問い合わせ先】通信教育課程 アドミッション・オフィス

全学科2027年度4月入学に関するお問い合わせ
受付時間　月～土／10:00 ～ 16:00〈日祝休〉（土曜対応は2026年9月5日より）
E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

※休止期間：2026年8月9日（日）～ 8月16日（日）／ 2026年12月26日（土）～ 2027年1月6日（水）
※メールの場合、件名に「お問い合わせ内容」、本文に「出願番号」「氏名」「出願コース」「生年月日」「住所」を明記してください。

出願前　0120-20-9141

出願後　Tel. 075-791-9988（2026年9月1日～ 2027年4月25日）

入学後　**通信教育課程　E-mail：question@air-u.kyoto-art.ac.jp**
※入学後のお問い合わせは、学習用Webサイト「airUマイページ」内の「コンシェルジュ」または上記へご連絡ください。

入学選考料／入学金免除について【該当者のみ】

下記のいずれかに該当する方は入学手続金の一部が免除されます。▶ 免除金額はp.23参照
「学費の支払い」画面に免除金額が表示されていることを確認のうえ、支払い操作をしてください。

免除対象※1		提出書類・手続き
京都芸術大学通信教育課程（学部・大学院） 京都芸術大学通学課程（学部・大学院） 京都芸術短期大学 京都芸術デザイン専門学校 （旧校名：京都国際文化専門学校） 京都芸術大学附属高等学校 藤川学園	卒業・修了生 （卒業・修了見込含む）	本学園以外の学歴を出願資格とされる場合は、入学資格証明書に加えて「本学園の卒業・修了（見込）証明書」※2を提出してください。 また、Web出願画面「出願資格の入力」にある本学・併設校学歴の項目に必要事項を入力※3してください。「学費の支払画面」に免除金額が表示されていることを確認してください。
京都芸術大学通信教育課程（学部・大学院） 京都芸術大学通学課程（学部・大学院） 京都芸術短期大学 京都芸術デザイン専門学校 （旧校名：京都国際文化専門学校） 京都芸術大学附属高等学校 藤川学園	卒業・修了生 （卒業・修了見込含む） の子女	「本学園の卒業・修了（見込）証明書」※2および卒業・修了（見込）者と志願者の関係が確認できる公的書類を提出する必要があります。 出願前にまず下記内容をメール※4でお送りください。 折り返し手続方法をお伝えします。 ---------- 件名：入学手続金の一部免除（子女）について 本文：志願者の氏名・住所・電話番号・出願希望コース／卒業・修了（見込）者の氏名・卒業学科・コース・在籍時学籍番号を記載
京都芸術大学通学課程（学部・大学院） 京都芸術デザイン専門学校 京都芸術大学附属高等学校 認可保育園こども芸術大学	在学生の保護者 または学費支弁者	「本学園の在学証明書」（または2027年度入学許可証のコピー）※2を提出する必要があります。 出願前にまず下記内容をメール※4でお送りください。 折り返し手続方法をお伝えします。 ---------- 件名：入学手続金の一部免除（保護者）について 本文：志願者の氏名・住所・電話番号・出願希望コース／在学生の氏名・在籍学科・コース・学年・学籍番号を記載
京都造形芸術大学通学部 芸術学部デザイン科環境デザインコース 1991年4月～1999年4月入学生	通信教育部芸術学部 環境デザイン学科 建築デザインコース へ入学	出願前に下記内容をメール※4でお送りください。 折り返し手続方法をお伝えします。 ---------- 件名:入学手続金の一部免除（建築デザイン）について 本文：環境デザインコース入学年度・氏名・在籍時の学籍番号を記載

※1：学費ローンを利用する場合は、ローン対象外の入学選考料の支払いが必要ですが、免除の内容により係る支払いがない場合があります。「学費の支払い」画面に免除金額が表示されていることを確認のうえ、支払い操作をしてください。
※2：入学許可証のコピーは2027年度入学予定の学生の場合のみ可、在学証明書が入手できない場合は免除対象外となります。
※3：本学園退学者は免除対象外です。該当者以外の方が免除を選択して出願手続きをされた場合、修正は本学事務局にて実施することになり、入学許可が遅れますので、ご注意ください。
※4：【メール送信先】通信教育課程 アドミッション・オフィス　E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

合否通知・学生証等の送付時期

新年度の学習開始日は4月1日です。
ただし、第14期合格者の学習開始は4月13日以降となりますので、ご注意ください。
※第14期合格者は、入学式・新入生ガイダンスに参加できません。また春期のスクーリングの先行募集申込対象外となります。▶ p.44「入学後の学習の始め方」、p.49「S（スクーリング科目）」参照
※学習に必要なテキスト・教材・機材類は別途購入する必要があります。▶ p.26～34「テキスト・教材・機材費」参照
※学生証の提示を必要とする学割制度を利用される場合は、学生証の発送時期にご注意ください。
※すべての学科・コースでテキストの配本はありません。

▼2027年4月入学

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
第1期	9/25（金）合否通知					2月上旬 学生証発送		
第2期		10/8（木）合否通知				2月上旬 学生証発送		
第3期		10/22（木）合否通知				2月上旬 学生証発送		
第4期			11/6（金）合否通知			2月上旬 学生証発送		
第5期			11/19（木）合否通知			2月上旬 学生証発送		
第6期				12/3（木）合否通知		2月上旬 学生証発送		
第7期				12/17（木）合否通知		2月上旬 学生証発送		
第8期					1/8（金）合否通知	2月上旬 学生証発送		
第9期					1/28（木）合否通知	2月中旬 学生証発送		
第10期						2/10（水）合否通知	3月上旬 学生証発送	
第11期						2/25（木）合否通知	3月中旬 学生証発送	
第12期	入学式の参加については第12期までの合格者にご案内します。						3/11（木）合否通知 / 3月下旬 学生証発送	
第13期							3/25（木）合否通知	4月上旬 学生証発送
第14期								4/13（火）合否通知 / 4月下旬 学生証発送

その他諸注意

入学選考に関する問い合わせ

選考結果についての問い合わせには回答できません。

書類到着に関するお問い合わせ

書類到着確認のお問い合わせは原則として受け付けできません。ご自身で追跡番号等により確認してください。

提出書類の返却

出願時の提出書類は、理由の如何にかかわらず返却しません。

確定書類の提出について

卒業・修了見込みまたは退学見込で出願された方は、必ず手続確定書類を提出する必要があります。

〈 見込証明書と確定後の入学資格証明書の例 〉

見込証明書	確定後の入学資格証明書
調査書	卒業証明書
卒業見込証明書、修了見込証明書	卒業証明書、修了証明書
単位取得見込証明書	成績証明書
退学見込証明書	退学証明書
在籍期間（見込）証明書	在籍期間証明書

※退学許可証・退学通知書は入学資格証明書として認められません。

確定書類送付先

〒606-8271
京都市左京区北白川瓜生山 2-116
京都芸術大学 通信教育課程 アドミッション・オフィス 願書受付担当
入学資格確定書類在中

※出願時の青封筒は
使用しないでください。

入学辞退

諸事情により、出願後に辞退する場合（合格となった方は入学許可通知メールの送信日から10日以内）、通信教育課程 アドミッション・オフィスに連絡してください。 入学辞退の手続方法をご案内し入学選考料を除く入学手続金を返還します。 返還のための振込手数料は、ご本人負担です。

【重要】合格となった場合、入学許可メールの送信日から10日を過ぎた場合や、期間内であってもすでに受講を開始している場合の入学辞退のお申し出は受け付けられません。 この場合、理由の如何にかかわらず入学手続金は返還できません。

【重要】出願後とは　出願を受け付けた旨のメール送信時とします。

京都芸術大学 通信教育課程 アドミッション・オフィス　E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

入学不許可について

記入または入力不備・書類不備

出願時に入力・記入間違いや漏れ、あるいは提出書類に未提出や発行日が古い等の不備がある場合は、書類審査を開始できず、入学許可が遅くなるだけでなく、入学不許可になることがあります。
不備がある場合は、不備が補完された日が出願書類の受理日となり、書類審査開始となります。

志望する入学形態での入学が不許可になった場合

入学選考の結果、志望した入学形態とは異なる入学形態と判定された場合（例.3年次編入学で出願したが、1年次入学と判定）は、判定結果を通知します。 判定結果の入学形態で入学するか、入学辞退するかを改めて選択してください。 入学を辞退する場合は、入学選考料を除く入学手続金を返還します。 返還のための振込手数料は、ご本人負担となります。

入学が不許可になった場合

入学選考の結果、不許可となった場合（例.入学資格を満たさなかった場合や、提出書類・出願書類の不備・不足が補完されなかった場合等）は、入学選考料を除く入学手続金を返還します。 返還のための振込手数料は、ご本人負担です。

書　式

この書式をコピーしてお使いください。

出願用封筒（貼付け用宛名シート）

提出書類について長3サイズ封筒（任意のもので可）に
以下「封筒貼付け用宛名シート」をコピーしてご使用いただけます。

（表面）

郵送の場合
切手貼付

6 0 6 8 2 7 1

京都市左京区北白川瓜生山二―一一六

京都芸術大学

通信教育課程　アドミッション・オフィス 行

簡易書留（提出書類在中）

宛名は上記見本を参考に
以下に簡易書留で郵送ください。

606-8271
京都市左京区北白川瓜生山2-116
京都芸術大学 通信教育課程
アドミッション・オフィス 行

到着に関する個別の問い合わせには
お答えできません。
ご自身で配達記録をご確認ください。

（裏面）

**Web出願手続きおよび入学手続き金の支払いを終えてから、
提出書類を送付してください。**

①提出する書類にチェック☑してください。

	チェック	
必須		入学資格証明書（調査書・卒業証明書・成績証明書等）
該当者のみ		戸籍抄本等
		編入学基礎資格証明書
		パスポートのコピーと在留資格証明書

②出願番号や氏名、住所等を記入してください。

出願番号	
フリガナ	
氏名	
住所	〒□□□-□□□□
電話番号	―　　―

志願学科・コースを必ずご記入ください。

学科

コース

入学時期
（全学科）2027年度入学

入学形態のいずれか一つにチェック☑してください。

チェック	入学形態
	1年次入学
	3年次編入学

証明書発行ご担当者様へ

「編入学基礎資格証明書」の発行について

本証明書は、志願者が文部科学省の定める大学編入学のための基準を満たしていることを証明する資料となります。

貴校卒業生（または在学生）より本証明書の発行依頼がありましたら発行手続きをお願いいたします。 なお、記載にあたっては、すべて専門学校または高等学校においてご記入ください。

基準を満たしていない場合は、依頼者に説明のうえ、証明書は発行しないでください。

専修学校専門課程（専門学校）修了者の場合

次のすべての基準を満たす場合に編入学が認められます。

（1）当該学生の在籍期間中、専修学校認可を受けていること

本学通信教育部では、専修学校専門課程（専門学校）からの編入学出願資格を、専修学校設置基準施行1976（昭和51） 年1月以降の入学者としております。 したがって、当該学生の修了時に専修学校認可を受けている場合でも、専修学校設置基準施行以前の入学者については、編入学出願を認めておりません。

（2）文部科学省が定める大学編入学のための基準を満たすこと

専修学校の専門課程 （修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。） を修了した者 （第56条に規定する者に限る。） は、文部科学大臣の定めるところにより、大学に編入学することができる。〔学校教育法第132条〕

<参考>

○学校教育法第132条に規定する文部科学大臣の定める基準は次のとおり。

・修業年限が2年以上であること

・総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であること

（3）大学入学資格を有すること

大学に入学することのできる者は、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。〔学校教育法第90条〕

高等学校卒業者、高等学校卒業程度認定試験（旧大検）合格者はこの要件を満たします。

高等学校専攻科修了者の場合

次のすべての基準を満たす場合に編入学が認められます。

（1）文部科学省が定める大学編入学のための基準を満たすこと

高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第90条第1項に規定する者に限る。）は、文部科学大臣の定めるところにより、大学に編入学することができる。〔学校教育法第58条の2〕

<参考>

○学校教育法第58条の2に規定する文部科学大臣の定める基準は次のとおり。

・修業年限が2年以上であること

・課程の修了に必要な総単位数その他の事項が、別に定める基準を満たすものであること

○全日制の課程又は定時制の課程の場合、全課程の修了要件は、当該課程に修業年限の年数以上在学し、62単位以上を修得するものであること。 通信制の課程の場合、当該課程に修業年限の年数以上在学し、62単位以上を修得することと、120単位時間（1単位時間の標準は50分）に修業年限の年数に相当する数を乗じて得た授業時数以上の面接指導による授業を履修することのいずれにも該当することを要件とすること。〔平成28年文部科学省告示第35号〕

（2）大学入学資格を有すること

大学に入学することのできる者は、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。〔学校教育法第90条〕

お気づきの点がございましたら、下記までお問い合わせください。

京都芸術大学 通信教育課程 アドミッション・オフィス

0120 - 20 - 9141

「編入学基礎資格証明書」の記入例

京都芸術大学通信教育部　　（様式1）

編入学基礎資格証明書

（専修学校専門課程 <専門学校> 修了者　編入学用）

下記の者は、本校において修業年限が2年以上の専門課程を修了した者である。

フリガナ		性別	生年月日
氏名		男 ・ 女	（西暦）　年　月　日
学校名（修了当時の名称）			
専門課程名（修了当時の名称）		学科・コース名（修了当時の名称）	
入学・修了年月日	（西暦）　年　月　日 入学 ～ （西暦）　年　月　日 修了 ・ 修了見込（いずれかに〇をつけてください）		

※黒のボールペンで記入してください。また、熱でインクが消えるペンは使用しないでください。

貴校専門課程入学時の最終学歴（下記1・2・3のいずれか該当する欄にご記入ください）　※大学入学資格を確認する欄となります

1 高等学校卒業　＿＿＿＿＿＿＿＿ 高等学校 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 科　卒業

2 専修学校卒業　＿＿＿＿＿＿＿＿ 専修学校（専門学校） ＿＿＿＿＿＿＿＿ 高等課程　修了

3 その他　＿＿＿＿＿＿＿＿（高等学校卒業程度認定試験合格など）

※入学時の最終学歴が不明の場合には右欄の□に✓印を記入してください。　□ 不明

専門士の称号の付与について（下記1・2のいずれか該当する方に〇印をつけてください）

1 1994年6月21日文部省告示第84号により、専門士の称号が付与された者である

2 専門士の称号は付与されていないが、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上修得した者である

専修学校設置認可年月日	（西暦）　年　月　日
上記学生が終了した課程・学科（当時）の専修学校専門課程設置認可年月日	（西暦）　年　月　日
備考（校名変更・廃校等）	

京都芸術大学長　殿　　西暦　年　月　日

上記の者は、本校において法令（学校教育法第132条）に定める大学編入学資格を有する者であることを証明する。

学校所在地
学校名
学校長名　　公印
発行担当者
（電話番号）

ご記入・捺印をお願いします

証明書発行ご担当者様へ

本証明書は、専修学校専門課程を修了された方が、本学へ編入学するために必要な書類です。すべて貴校にて記入し、依頼者にお渡しください。
なお、未記入項目があった場合、再発行いただくことになります。ご記入前に必ずp.69をご確認ください。

貴校在籍時の氏名をご記入ください

該当する方に〇印をつけてください

年月日はすべて
西暦・アラビア数字でご記入ください

学校名・学科・コース名は
修了時の名称をご記入ください

大学入学資格の有無を確認しますので、
貴校専門課程入学時の最終学歴
（入学基礎資格）を該当欄にご記入ください
・高等学校卒業の場合 …… 1
・専修学校高等課程修了の場合 … 2
・その他の場合 …… 3

該当する方に〇印をつけてください

貴校が専修学校専門課程として
認可された年月日をご記入ください
（専修学校設置基準施行1976
（昭和51）年1月以降が対象となります）

修了時の課程・学科が専門課程として
認可された年月日をご記入ください
上記「専修学校専門課程設置認可年月日」
と同じか、それ以降の年月日になります

学校名・学科・コース名に変更等が
ある場合はご記入ください
また、廃校・休校により証明書発行業務が
事務移管されている場合は、
廃校・休校となった年月日を必ず
ご記入ください

出願者の方へ

最終学歴が不明となっている場合は、別途高等学校の卒業証明書をご提出ください。

編入学基礎資格証明書

（専修学校専門課程 <専門学校> 修了者　編入学用）

下記の者は、本校において修業年限が2年以上の専門課程を修了した者である。

フリガナ		性別	生年月日
氏名		男・女	（西暦）　年　月　日
学校名（修了当時の名称）			
専門課程名（修了当時の名称）		学科・コース名（修了当時の名称）	
入学・修了年月日	（西暦）　年　月　日 入学 ～ （西暦）　年　月　日 修了・修了見込（いずれかに○をつけてください）		

※黒のボールペンで記入してください。また、熱でインクが消えるペンは使用しないでください。

貴校専門課程入学時の最終学歴（下記1・2・3のいずれか該当する欄にご記入ください）　※大学入学資格を確認する欄となります

1 高等学校卒業

＿＿＿＿＿＿＿＿ 高等学校 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 科　卒業

2 専修学校卒業

＿＿＿＿＿＿＿＿ 専修学校（専門学校） ＿＿＿＿＿＿＿＿ 高等課程　修了

3 その他

＿＿＿＿＿＿＿＿

〈高等学校卒業程度認定試験合格など〉

※入学時の最終学歴が不明の場合には右欄の□に✓印を記入してください。　□ 不明

専門士の称号の付与について（下記1・2のいずれか該当する方に○印をつけてください）

1 1994年6月21日文部省告示第84号により、専門士の称号が付与された者である

2 専門士の称号は付与されていないが、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上修得した者である

専修学校設置認可年月日	（西暦）　年　月　日
上記学生が終了した課程・学科（当時）の専修学校専門課程設置認可年月日	（西暦）　年　月　日
備考（校名変更・廃校等）	

京都芸術大学長　殿　　西暦　年　月　日

上記の者は、本校において法令（学校教育法第132条）に定める大学編入学資格を有する者であることを証明する。

学校所在地

学校名

学校長名　　公印

発行担当者
（電話番号）

証明書発行ご担当者様へ

本証明書は、専修学校専門課程を修了された方が、本学へ編入学するために必要な書類です。すべて貴校にて記入し、依頼者にお渡しください。
なお、未記入項目があった場合、再発行いただくことになります。ご記入前に必ずp.71をご確認ください。

編入学基礎資格証明書

（高等学校 専攻科 修了者　編入学用）

下記の者は、本校において修業年限が2年以上の専門課程を修了した者である。

フリガナ		性別	生年月日
氏名		男・女	（西暦）　年　月　日

学校名 （修了当時の名称）	高等学校　科　専攻科
現在の学校名 （校名変更があった場合）	高等学校　科　専攻科
入学・修了年月日	（西暦）　年　月　日 入学 ～ （西暦）　年　月　日 修了・修了見込 （いずれかに○をつけてください）

貴校専攻科入学時の最終学歴（下記1・2・3のいずれか該当する欄にご記入ください）

1 高等学校卒業

＿＿＿＿＿＿＿＿ 高等学校 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 科 卒業

2 専修学校卒業

＿＿＿＿＿＿＿＿ 専修学校（専門学校） ＿＿＿＿＿＿＿＿ 高等課程 修了

3 その他

＿＿＿＿＿＿＿＿

〈高等学校卒業程度認定試験合格など〉

※入学時の最終学歴が不明の場合には右欄の□に✓印を記入してください。

□ 不明

備考 （校名変更・廃校等）	

※黒のボールペンで記入してください。また、熱でインクが消えるペンは使用しないでください。

京都芸術大学長　殿

西暦　年　月　日

上記の者は、本校において法令（学校教育法第132条）に定める大学編入学資格を有する者であることを証明する。

学校所在地

学校名

学校長名　　公印

発行担当者
（電話番号）

証明書発行ご担当者様へ

本証明書は、高等学校専攻科を修了された方が、本学へ編入学するために必要な書類です。すべて貴校にて記入し、依頼者にお渡しください。
なお、未記入項目があった場合、再発行いただくことになります。ご記入前に必ずp.71をご確認ください。

在籍期間（見込）証明書

※この書類は出願者本人が作成するものではありません。出身校に作成を依頼し、証明を得た上で提出してください。

フリガナ		性別	生年月日
氏名		男・女	（西暦）　年　月　日
学校名（在学時名称）			
学部・学科名			
在籍期間 ※休学期間を含む場合は下記に休学期間を記入してください。	自（西暦）　年　月　日　入学・編入学（　年次編入学） （いずれかに〇をつけてください）		
	至（西暦）　年　月　日　退学・退学見込・除籍 （いずれかに〇をつけてください）		
	※上記期間について特記すべきことがあれば記入してください。		
休学期間 ※休学期間がない場合は右欄の□に✓印を記入してください。	自（西暦）　年　月　日		
	至（西暦）　年　月　日		
	※上記期間について特記すべきことがあれば記入してください。		□ 休学期間なし

※黒のボールペンで記入してください。また、熱でインクが消えるペンは使用しないでください。

京都芸術大学長　殿　　西暦　年　月　日

上記の記載事項に誤りのないことを証明します。

学校所在地

学校名

学校長名　　公印

証明書発行ご担当者様へ

本証明書は、大学を退学または退学予定の方で、本学に入学を希望する場合の所定用紙であり、入学資格要件となる在学年数（在籍期間内で休学期間がある場合は、その期間を除いた年数）を確認するうえで必要なものです。

なお、本学は二重学籍を認めておりませんので、退学日が2027年4月1日以降となる場合は入学を認められません。

※本学記入欄

在籍年数	休学年数	在学年数

◇本証明書発行に関する問い合わせ先

京都芸術大学 通信教育課程 アドミッション・オフィス　0120-20-9141

博物館学芸員課程

- 学科・コースに所属しながら学ぶ

「資格課程」

入学せずに1年間で資格取得を
目指せる「科目等履修」の出願については
12月に通信教育部Webサイトで公開する
「募集要項 2027
博物館学芸員課程（科目等履修）」
をご確認ください。

博物館学芸員課程

本学通信教育部で博物館学芸員の資格取得をめざす場合、学科・コースに所属しながら併修できる「資格課程」と、学科・コースには所属せずに学べる「科目等履修」があります。
ここでは「資格課程」についてご案内します。なお、「資格課程」の場合、以下のとおり所属する学科・コースにより受講料や実習先が異なります。
※文化コンテンツ創造学科は受講登録できません。
※芸術教養学科 博物館学実践コースでは、コース内で博物館学芸員資格取得ができる為、受講登録は不要です。

● 学科・コースに所属せず1年間で資格取得する「科目等履修」については、12月に通信教育部HPで公開する「募集要項2027 博物館学芸員課程（科目等履修）」（2026年12月本学Webサイト内で公開予定）で詳細をご確認ください。

博物館学芸員課程の各特徴

項目	資格課程		科目等履修
	芸術学科・美術科・環境デザイン学科	芸術教養コース	
受講料	課程登録時　250,000円 ※在籍期間中有効 ※スクーリング受講料を含む ▶ p.23参照		出願時一括納入 460,480円 ※スクーリング受講料を含む
定員	なし		100名
受講期間	最短2年間（標準3年以上） ※詳しくは「受講登録にあたって」（p.80）を参照		1年間
受講（出願）資格	・2年次以上の方 ・インターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力		・日本の大学または大学院を卒業・修了した方および2027年3月卒業・修了見込の方 ・文部科学省の所管である大学改革支援・学位授与機構から学士、修士、博士いずれかの学位を授与された方および2027年3月までに授与見込の方 ・インターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力
在籍年限	1年次：9年間　　3年次：7年間　※ただし、課程登録は2年次より可能		1年間　　※休学は不可
受講申込（出願）時期	1年次入学の場合は2年次以上になる時の学籍更新時、3年次編入学の場合は出願時もしくはその後の学籍更新時。 ※最短で2年かかるカリキュラムのため卒業年次では登録不可。		2027年1月15日（金）～2月15日（月）必着
資格取得に必要な履修単位数	合計　29単位以上 詳細はp.79、p.80		合計 19 ～ 27単位
「博物館実習2」の実習先 ▶ p.82参照	学内施設開講のスクーリング または学外の博物館・美術館	学内施設開講のスクーリング	学内施設開講のスクーリング
テキスト代	約16,000円～ 24,000円 ※履修する科目、電子版または印刷製本版いずれを選択するかにより価格が異なります。 なお、一部の科目のテキストは印刷製本版のみの提供です。		印刷製本版：合計11,770円（Amazon） 電子版：合計7,832円（Kindle） ※必修科目のみの場合
その他	教育訓練給付制度：指定なし 学割：利用可		教育訓練給付制度：指定あり 学割：利用不可

資格課程

取得できる資格

● 学芸員

本学通信教育部では、博物館法第5条第1項第1号の規定に基づき、学芸員の資格を取得できます。文化コンテンツ創造学科以外が対象です（ただし、課程登録は2年次以上）。

資格取得に必要な履修単位数

履修科目	単位数	
	必修	選択必修
1. 博物館法施行規則に定める科目（全コース共通）	19単位	0単位
2. 関連科目（全コース共通）	0単位	10単位
履修科目単位数合計	29単位	

※博物館学芸員課程で修得した「博物館法施行規則に定める科目」の単位は、卒業要件の「自由選択」の単位に含めることができます。
※関連科目の単位修得は、本学における博物館学芸員課程の修了要件です。

資格取得に必要な履修科目

博物館法施行規則に定める科目[※1]　（必修）

博物館法施行規則に定める科目	本学開講授業科目名	科目区分	履修形態[※2]	単位数	必修区分
博物館概論	博物館概論	博物館学芸員科目	TR	2	すべて必修
博物館経営論	博物館経営論		TR	2	
博物館資料論	博物館資料論		TR	2	
博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論		TR	2	
生涯学習概論	博物館生涯学習概論		TR	2	
博物館教育論	博物館教育論		TR	2	
博物館資料保存論	博物館資料保存論		TR	2	
博物館展示論	博物館展示論		TR	2	
博物館実習	博物館実習1（事前指導）		S	1	
	博物館実習2（館園実習）		S	1	
	博物館実習3（事後指導）		S	1	
必要単位数合計				19	

※1：配当年次（履修可能な最低年次）は、「博物館実習2〜3」のみ3年次〜、その他の科目は2年次〜です。
※2：TR＝テキストレポート科目／ S＝スクーリング科目

関連科目[※1]　（選択必修）

分野	本学開講授業科目名	科目区分	履修形態[※2]	単位数	必修区分
文化史	文化研究２	総合教育科目	TR	2	必修
考古学	列島考古学	総合教育科目	TR	2	必修
民俗学	文化研究１	総合教育科目	TR	2	必修
美術史	芸術史講義（日本）1	学部共通専門教育科目	WS	2	いずれか2科目必修
	芸術史講義（日本）2		WS	2	
	芸術史講義（ヨーロッパ）1		WS	2	
	芸術史講義（ヨーロッパ）2		WS	2	
	芸術史講義（アジア）1		WS	2	
	芸術史講義（アジア）2		WS	2	
	芸術史講義（近現代）1		WS	2	
	芸術史講義（近現代）2		WS	2	
必要単位数合計				10	

※1：2026年度時点の本学開講授業科目です。2027年度以降、変更となる可能性があります。
※2：WS＝Webスクーリング科目／ TR＝テキストレポート科目

受講登録にあたって

資格課程の学習を完了するためには最短2年間が必要で、標準で3年以上かかります。よって、最短でも2年間が必要です。編入学で最短の在籍年数で卒業をめざす場合は、出願と同時に博物館学芸員課程の受講登録手続きを行う必要があります。ただし、編入学でも卒業と同時に資格取得するまでに3年以上かかる場合が十分にありえますのでご留意ください。1年次入学の方は2年次以上になる時の学籍更新時に受講登録ができます。
なお、本課程では、学習用Webサイト「airUマイページ」を利用しますので、インターネット接続環境が整ったパソコンの所有が必要です。▶ p.46「システム要件」参照

ご注意ください！

所属学科・コースの卒業要件を満たすと、資格課程の履修が完了していなくても卒業となります。卒業までに資格課程の履修が完了するように計画を立ててください。第14期に入学手続きを行った3年次編入学の方が最短卒業と同時に資格取得を目指す場合、非常に厳しく、かつタイトな履修スケジュールとなります。

※資格課程の履修を完了せずに卒業した場合、「資格課程」で修得した単位のうち、「博物館法施行規則に定める科目」を既修得単位として認定した上で、後年「科目等履修」を受講して資格取得を目指すことは可能です。

芸術教養学科 注意事項

・「博物館実習1 ～ 3」はスクーリング科目であり、のべ11日間の対面授業です。受講にあたっては、京都瓜生山キャンパスまたは東京外苑キャンパス、本学附属康耀堂美術館（長野県茅野市）に赴く必要があります。
・「博物館実習2～3」を受講するためには履修の前提条件を満たすことが必須です。

履修モデル

全学科

3年間の履修モデル（2027年度時点）

※2年次に履修開始し、3年間での卒業と資格取得を想定したケース

2年間の履修モデル（2027年度時点）

※3年次に履修開始し、2年間での卒業と資格取得を想定したケース

各コースの履修プランと共に検討を

上記「資格課程」の履修プランと共に、入学後にご案内する各コースのコースガイドにて、履修モデルをご確認ください。1年次入学の場合、3年次編入学の場合と、詳細な履修モデルが紹介されています。これらを参考に無理なく効率のよい履修計画を立ててください。

▶ p.15「1年次入学1年目の履修単位数」参照
▶ p.17「3年次編入学1年目の履修単位数」参照

また、「airU 学習ガイド」に「履修プラン機能」を用いた年間計画の設定方法が紹介されていますので、合わせて参考にしてください。

博物館実習

本学の博物館実習は人文系博物館、とくに美術館での実務経験を中心にカリキュラムが構成されています。日程の一部で遠隔授業の実施を予定しています。▶ p.50～51参照「博物館実習1・3」では学外館見学を行います。受講地に関わらず近隣の都府県にて実施する可能性があります。
なお、本課程では「博物館実習2～3」を受講するためには、履修の前提条件を定めています。次の条件を満たさない場合、「博物館実習2～3」を履修できません。

科目名	「博物館実習」を受講するための履修の前提条件	開講地
博物館実習1 （事前指導）	なし	京都瓜生山キャンパスまたは東京外苑キャンパス（3日間） ※1日目は遠隔での授業になります。
博物館実習2 （館園実習）	「博物館実習2」履修前年度までに下記条件を満たすこと。 ・「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報・メディア論」「博物館生涯学習概論」「博物館教育論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」を合格済み ・「博物館実習1（事前指導）」合格済み	次の①～④のいずれか ① 京都瓜生山キャンパス「芸術館」（5日間） ② 東京外苑キャンパス（2日間）＋長野・康耀堂美術館（3日間） ③ 東京外苑キャンパス（2日間）＋京都瓜生山キャンパス「芸術館」（3日間） ④ 学外館 ※1日目は遠隔での授業になります。 ※学外館での受講を希望する場合は、各自で開拓・交渉・申込する必要があります（一部、大学より申込）。 ※芸術教養学科の方は学外の博物館・美術館で実習を行うことはできません。
博物館実習3 （事後指導）	・「博物館実習2（館園実習）」合格済み	京都瓜生山キャンパスまたは東京外苑キャンパス（3日間）

既修得単位の認定

本課程は相互に関連する科目群からカリキュラムが構成されているため、本課程の科目をすべて修得する必要があります。そのため、他大学や高等専門学校、専修学校専門課程（専門学校）で修得された単位を本課程で修得した科目として既修得単位認定することはできません。
一方、以前に本学（通信教育部・通学部・科目等履修）で修得した単位のうち、「博物館法施行規則に定める科目」については既修得単位として認定の対象となります。既修得単位認定を希望する場合は入学後に申請できます。ただし、この認定は資格取得のための単位認定として履修を免除するものであり、卒業に必要な単位数を減免するものではありません。また、「関連科目」は既修得単位認定の対象外です。なお、年限退学時再入学制度を利用して出願される場合の手続きは不要です。

※京都芸術短期大学で修得した「博物館法施行規則に定める科目」の単位は、既修得単位認定の対象外です。

履修についての注意事項

学芸員は「博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる（博物館法第4条4項）」専門的職員です。博物館等の運営には学芸員の設置が義務付けられています。学芸員の仕事は、さまざまな雑事に追われることも多々あり、夢のような研究職ではないことを心していただきたいと思います。昨今、学芸員としての就職は大変厳しく、求人があっても高度な専門的知識を有するものに限定するなどの条件が提示されることが多いです。資格取得が職業に直結するものではないことを認識しておいてください。なお、本学博物館学芸員課程は実地で仕事ができる能力を培うことを目標としているため、履修すれば簡単に資格取得できるわけではありません。しかしこの課程の学びは、博物館に職を求める以外に制作活動発表の際の技術、地域文化振興の知識といった発展的な利用ができます。厳しさはありますが、課程修了後には単なる資格取得にとどまらない実りをお約束します。

〈海外在住者対象〉
本課程は日本の博物館に勤務する専門職としての学芸員資格の取得を目指すカリキュラムとなっています。そのためTR科目のレポート課題では、原則として日本の博物館を調査対象としてください。

Q&A

よくあるご質問を
まとめました！

Q&A　～よくある質問～

入学全般

1 通信教育部は正規の大学ですか?

本学の通信教育部は文部科学省に認可された正規の4年制大学です。卒業すれば学士（芸術）の学位が授与されます。通学部とは学習形態が異なるだけで、教育水準や取得資格は同じです。▶ p.6「授与される学位」参照

2 入学の時期はいつですか?

2027年度4月入学募集で第13期までに出願し、入学が決定した方は、4月1日から学習をスタートすることができます。第14期に出願された場合は、入学が決定後、学習スタートが4月下旬になることがあります。

3 年齢制限はありますか?

2027年3月31日までに満18歳に達する方で大学入学資格があれば入学できます。18歳未満の方の場合、文部科学省の定める大学入学資格があれば入学できます。▶ p.6「出願資格」参照

4 高校を卒業していませんが、入学できますか?

本学通信教育部独自の特修生制度により入学の門戸を開いています。ただし、2027年3月31日までに満30歳に達する方を対象とします。▶ p.9「特修生制度」参照

5 他の学校等に通っていますが、入学できますか?

【出願できない方】
2027年4月1日以降に正科生として大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科に在籍中の方、本学通信教育部科目等履修生の方。

【出願できる方】
専修学校専門課程（専門学校）、大学校、各種学校等に在籍中の方、他大学等の科目等履修生の方。
▶ p.9「二重学籍」参照

6 卒業（学士取得）を目指しているわけではありませんが、入学できますか?

自分のペースや目的にあわせて学習できますので、入学できます。ただし、せっかく入学するのですから、卒業も視野に入れながらがんばってください。

7 最長で何年間在籍できますか?

1年次入学は9年間、3年次編入学は7年間です。ただし、休学した場合は休学期間も在籍年限に含みますのでご注意ください。▶ p.12「休学」参照

8 芸術分野の経験がないのですが、やっていけるでしょうか?

未経験の方を前提としたカリキュラムですので、心配いりません。実際に毎年多くの未経験の方が入学されています。芸術が好きで、学びたいという気持ちが何よりも大切です。

9 志望コースとは異なる分野の大学の出身ですが、1年次入学した方がよいのでしょうか?

編入学資格をお持ちであれば、3年次編入学でご出願ください。3年次編入学の場合も、1年次入学と同様にコースの専門科目はすべて必修で、1年次配当科目から学習を進めていきます。専門科目以外の卒業に必要な総単位数は軽減されるので、編入学の方が専門分野の学習にじっくり取り組めます。▶ p.89「学習方法」3、4参照

10 いつ出願すればいいのですか?

出願期間内であればいつでも構いませんが、早く出願すれば4月1日から余裕をもって学習を始められます。最短年数での卒業を目指す場合は、第13期までに出願することをおすすめします。 ▶ p.67「合否通知・学生証等の送付時期」参照

11 入学式はありますか? また、いつまでに出願すれば出席できますか?

4月3日(土)に京都瓜生山キャンパスにて開催予定です。出席は任意ですが、第12期までに出願し、合格した方にご案内を送付します。新入生ガイダンスも合わせて行います。※ ▶ p.45参照

※入学式・対面ガイダンスは、参加予定者数の把握のため事前申込制にて実施を予定しています。詳細は、学生証と一緒にお送りする「ご案内」、またはairUマイページのお知らせにて内容確認のうえお申込ください(airUマイページのお知らせには3月下旬頃掲載予定)。出願時期により、お申込をお受けできない場合もありますので、出席を希望される場合はお早めにご出願ください。

12 入学後、コースを変更することはできますか?

学習の目的や志向が変わった場合は、2年目以降にコース変更を認めています(在籍年限内に1回のみ)。 ▶ p.12参照

13 事情により学習を続けることが難しくなった場合、休学できますか? ▶ p.12参照

1年ごと(4月1日～翌年3月31日)の休学制度があります。年度途中の休学や復学(学習の再開)はできません。

14 通学部に移ることはできますか?

一定の条件を満たしたうえで試験に合格すれば、本学通学課程へ異動できる「転籍」の制度があります。 ▶ p.12参照

15 自分の興味に従った科目を学習できる制度はありますか?

藝術学舎(一般公開講座)は、1講座から受講できます。なお、大学入学資格を持つ方が、本学入学前に藝術学舎の講座を受講し合格した単位は、入学後に単位認定を受けることができます。
藝術学舎　https://air-u.kyoto-art.ac.jp/gakusha/ ▶ p.52参照

16 これまでに大学等で取った単位はどれくらい認定されますか?

【1年次入学】
入学後に単位認定を希望すれば、大学、短期大学、高等専門学校(専攻科)で修得した単位を、30単位を上限に本学の「総合教育科目」の単位として一括認定します。本学の単位認定は、他大学等での既修得科目と本学の科目とをひとつひとつ照合する個別認定ではありませんので、既修得科目と同じ名称の科目を本学で再度学習することもできます。 ▶ p.15参照

【3年次編入学】
3年次編入学の卒業要件は62単位以上(建築デザインは72単位以上)で、1年次入学の卒業要件124単位からそれぞれの卒業要件の単位を差し引いた単位数が免除されています。 ▶ p.16参照

17 海外で学習をすることはできますか?

可能です。ただし、本学からのすべての送付物(郵便・宅配物)の宛先は日本国内に限定しています。海外への送付を希望する場合は各自で日本国内の中継先(連絡先)を確保し、出願時に本人現住所として記載してください。なお、スクーリング(Web受講を除く)は日本国内で受けなければなりません。 ▶ p.8参照

学費

1 費用は1年間でどれくらいかかりますか?

学科・コースごとに異なります。該当ページをご覧ください。

▶ p.20～21「学費早見表」、p.24～29「入学後(2年目以降)に必要な費用」参照

2 学費はどのように支払うのですか?

入学後の諸費用(スクーリング受講料、教材費等)は、出願時に登録していただく金融機関の口座から引き落しです。

引き落しにあたっては事前に引落明細をお知らせします。
ただし、2年目以降の授業料は、引き落し以外にクレジット決済・ネットバンキング決済・ペイジー決済・コンビニ決済・オリコ学費ローンを選択できます。▶ p.24参照

3 学費の分納はできますか?

分納はできませんが、オリエントコーポレーションの学費ローンを利用できます。▶ p.38「学費ローン」参照

4 奨学金制度はありますか?

入学後に申請できる奨学金制度があります。 ただし、毎月決められた金額の奨学金が貸与される奨学金制度はありません。▶ p.36参照

5 卒業が延びてしまう場合、授業料はどうなりますか?

学習を継続する場合は授業料(年間学費)、休学する場合は休学料が必要です。▶ p.12参照

6 学割は使えますか?

スクーリング等に参加する場合や、入学式への出席もJRの学生割引が利用できます。
その他、学生証の掲示等により美術館・博物館等の料金が学割対象となる場合があります。 その都度各自で確認してください。 なお、科目等履修で博物館学芸員課程を履修される方は学割の対象外です。▶ p.37「学割」参照

学生生活

1 大学の施設は使えるのですか?

京都瓜生山キャンパスでは、スクーリングの時はもちろん、スクーリングがない時でも、図書館、学生食堂、ラウンジが利用できます。 また東京外苑キャンパスでは、開館時間内であればいつでも、参考図書等を閲覧できるライブラリーコーナーを利用できます。

※通学課程の入学試験日は入構不可となります。
※特殊な設備がある実習室は原則として貸出を行っていません。 講義室は学習会単位で貸出を行います(要申込)。 個人への教室貸出は行っていません。

2 就職の相談はできますか?

手続を行えば通学部生と同様、キャリアデザインセンターが利用できます (京都瓜生山キャンパス/平日のみ)。
ただし、利用対象は新卒に相応する方(卒業見込み時に年齢が27歳までで、就業経験がない方)となります。
個別相談(オンライン/対面)は予約制です。 また、大学専用履歴書のダウンロードや求人票の閲覧、OB/OGの作成したポートフォリオの閲覧などが可能です。 なお、再就職や転職の相談・あっせんは行っておりません。

出願

1 Web出願での手続きは、すべてWebで完了できますか?

出身学校の各種証明書は原本を郵送または持参いただく必要があります。 その他の手続きはすべてWebで完了できます。▶ p.58参照

2 出願登録しても、大学からのメールが届きません。

ご使用の端末機器やご利用の通信会社の設定にて迷惑メールと認識された可能性があります。
「@air-u.kyoto-art.ac.jp」が受信できるように設定変更のうえ、通信教育課程 アドミッション・オフィス(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)にメールでご連絡ください。▶ p.63参照
※端末機器により初期設定されている場合や、ご利用の通信会社にて予め設定されている場合があります。 ご不明な場合は端末機器の購入店またはご契約の通信会社へご確認ください。

3 出願時に提出する証明写真はスマホで撮影したものでもよいですか?

スマホでの写真も登録可能ですが、5MB以下の画像のみアップロード可能です。写真は、証明写真に準じ、上半身脱帽、正面、背景なしで3ヶ月以内に撮影したものをアップロードしてください。本人確認に支障をきたす加工が施された写真は不可です。▶ p.62参照

4 口座振替登録をWebで行う場合、利用条件や事前に用意するものはありますか?

金融機関によって利用条件や必要なものは異なりますが、例えば以下の点が登録時の必要条件となることがあります。

・当該金融機関のキャッシュカードを持っていること
・当該金融機関のネットバンキングを契約していること
・Web手続き画面での預金残高の入力
・Web手続き画面での各種暗証番号の入力

条件は金融機関によって異なりますので、金融機関窓口にお問い合わせください。窓口での口座振替登録は行っていても、三井住友カード株式会社（SMBC）のWebによる口座振替登録サービスが利用できない金融機関もあります。各種暗証番号や預金残高はご利用の金融機関が求めるものであり、大学に情報が開示されることはありません。▶ p.63「3.口座振替登録・入学手続金の支払い」参照

5 Webによる口座振替登録を入力してもエラーと表示され、手続を完了できません。

口座名義や生年月日、電話番号等、通帳および金融機関の登録情報通りに入力してください。また口座名義はすべて半角カナ入力です。全角カナになっていないかをご確認ください。ご利用の金融機関に問い合わせてもエラーが解消しない場合は、通信教育課程 アドミッション・オフィスにメールでご連絡ください。▶ p.63参照

6 Webによる口座振替登録で希望する金融機関名が表示されません。いつも口座振替で使用している金融機関ですがなぜ表示されないのですか?

口座振替手続きは店舗受付のみで、SMBCのWebによる口座振替登録サービスが利用できない金融機関もあります。その場合は振替口座を指定される金融機関を変更するか、通信教育課程 アドミッション・オフィス（tsushin@office.kyoto-art.ac.jp）にメールでご連絡ください。▶ p.63参照

7 卒業証明書や成績証明書に記載されている氏名と、現在の氏名が異なります。どうすればいいですか?

戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）等、氏名変更が確認できる公的な書類を1通提出してください。卒業証明書や成績証明書の多くは卒業時点での氏名が記載されています。その後、氏名が変わった場合は、戸籍抄本等で証明書記載の氏名と出願時に入力された現在の氏名とを照合し、同一人物であることを確認します。戸籍抄本は基本的に居住地ではなく本籍地の役所でのみの発行です(※)。遠隔地の場合、郵送等での発行申請となれば、書類が届くまでに時間を要するため、早めの手続きが必要です。なお、戸籍抄本は6 ヶ月以内の発行であればコピーによる提出も可能です。▶ p.59参照

※市区町村によってはコンビニ交付が可能となっていますので、ご自身の本籍地が対応しているかご確認ください。
※氏名自体は同一であっても表記に差異がある場合は、戸籍上の表記が確認できる証明書を提出してください。

8 出願後に出願内容を変更することはできますか。

出願後に学科やコース、入学形態（1年次入学または3年次編入学）は変更できません。
コースを迷っている場合は、早めに入学説明会等に参加し、カリキュラムや修得できる内容をよくご確認のうえ、ご自身の学習の志向とあわせて、じっくりと検討いただくことをおすすめします。

9 1年次入学で出願しましたが、既修得単位認定の申請はどうすればいいでしょうか。

入学後に一定期間を設けて申請を受け付けています。詳細は、学習方法や各種申請手続き等をお知らせしているWeb上の「airU学習ガイド」でご確認ください。▶ p.67「合否通知・学生証等の送付時期」参照

10 学生証や教材はいつ届きますか。

学生証の発送時期は出願期によって異なりますのでp.67をご確認ください。
【教材の発送】芸術教養学科・文化コンテンツ創造学科・芸術学科については教材の一斉送付はありません（Webから各自入手。一部の科目は本学に請求）。その他のコースは提出書類の本学到着時期により教材の送付時期が異なります。
なお、提出書類に不備等があった場合は不備が解消された時点が基準日となります。各種書類や教材の送付時期も遅れてしまいますのでご注意ください。

教材・機材等

1 入学手続金以外にテキスト（教科書）代等の教材費はかかりますか?

テキスト・教材費は別途かかります。コースにより一括で購入する教材や、科目により必要な参考文献、画材・用具等も各自購入です。テキスト代は科目により異なります。総合教育科目、学部共通専門教育科目（必修科目除く）、資格関連科目（博物館学芸員課程）のテキストは有料（1冊数百円から5,800円程度）です。総合教育科目のテキストは電子テキストもありますが、書籍として市販されているものがほとんどです。書店で購入したり、図書館等で借りて学習することも可能です。専門教育科目のテキスト代は学科・コース、また購入形態（電子書籍またはオンデマンドブック）により異なります。▶ p.26～29「テキスト・教材・機材費」参照

【購入方法】
必修科目（コース専門教育科目、学科専門教育科目）の指定テキストは、各自購入です。一部科目では大学へ請求（有料）するものがありますが、基本的に電子版の場合はAmazonが運営している電子書籍ストア「Kindleストア」等で、印刷製本版の場合はオンデマンドブック（POD）をWebで各自購入します。電子書籍やオンデマンドブック（POD）はインターネット上のみで購入可能です。
※イラストレーションコースのコース専門教育科目は、購入が必要なテキストはありませんが、総合教育科目、学部共通専門教育科目のテキストは大学へ請求（有料）、または各自購入となります。

2 教材はどのように手元に届きますか?

【芸術教養学科・文化コンテンツ創造学科・芸術学科】
教材の一斉送付はありません。学科専門教育科目の指定テキストは、各自購入です。
▶ p.26～29「テキスト・教材・機材費」参照
※一部の科目は本学に請求するものがあります。

【美術科・環境デザイン学科】
初年度に、専門教育科目で課題提出に必要なダンボールや封筒等を、「一斉送付教材」としてセットで無料送付します。
必修科目（コース専門教育科目）の指定テキストは、各自購入です。▶ p.26～29「テキスト・教材・機材費」参照
また、一部科目のテキスト・教材は学習用Webサイト「airUマイページ」より年間を通じて大学へ請求できます（有料）。▶ p.44参照
※ダンボールや封筒等の送付がないコースもあります。
※学習ガイド・シラバスはWeb版のみです。

3 パソコンを用意する必要がありますか?

すべての学科・コース・課程で学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習しますので、インターネット接続環境が整ったパソコンが必要です。アプリケーションを使用するなど別途要件を指定しているコースもあります。▶ p.29～34、46参照

4 パソコン、画材や用具などはいつまでに準備すればよいでしょうか?

パソコンは4月中をめどにご準備いただければ結構です。心配でしたら、4月の新入生ガイダンスに参加してから購入しても問題ありません。ただし、入学時より学習用Webサイト「airUマイページ」で様々な情報を提供しますのでWeb閲覧ができる環境はできるだけ早めにご準備ください。また、画材や用具などは入学後、シラバスや新入生ガイダンスを通じて詳細を説明しますので、入学前にそろえておく必要はありません。▶ p.26～34、46参照

5 パソコンについて、どの程度の操作能力が必要ですか?

文字入力やファイルのアップロード、インターネット閲覧、メールの送受信等、基本的な操作が必要になります。 最初のうちはWeb出願をご自身で行っていただける程度の操作ができれば問題ありません。 入学後、新入生ガイダンス等でも本学学習用Webサイト「airUマイページ」の利用に関する基本的な操作方法を説明する機会を設けます。 ただし、パソコン操作を習得するような支援はありません。

学習方法

1 いつから学習を始められますか?

2027年度春入学募集で第13期までに出願し、入学が決定した方は、4月1日から学習をスタートすることができます。 第14期に出願された場合は、入学が決定後、学習スタートが4月下旬になることがあります。

2 どのように学習を進めていくのですか?

学習の流れは大きく以下の通りです。

① 「airU学習ガイド」「シラバス」「コースガイド」で卒業までに必要な単位数や必修科目、各科目の開講日程や提出締切を確認する。
② 1年目の開講計画を立てる。
③ 取り組む科目のシラバスをよく読み、学習を始める。 ▶ p.47 ~ 52参照

3 カリキュラムはどのような仕組みになっていますか?

カリキュラムは「総合教育科目」(一般教養)と「専門教育科目」からなります。

【1年次入学】

「専門教育科目」と「自由選択(一般教養など)」が約半分ずつで卒業までに合計124単位以上。

専門教育科目60単位※1以上	自由選択(一般教養など) 64単位※2以上

【3年次編入学】

「専門教育科目」を60単位以上※1と自由選択2単位以上で卒業までに合計62単位※3以上。

専門教育科目60単位以上と自由選択(一般教養など)2単位以上※4※5	一般教養の単位が免除されるため、専門教育科目に集中!

※1:建築デザインコースは70単位。 ※2:建築デザインコースは54単位(うち総合教育科目「情報」は必修)。 ※3:建築デザインコースは72単位。
※4:美術科は専門教育科目52単位と自由選択10単位以上。 ※5:建築デザインコースは専門教育科目70単位と自由選択2単位以上(自由選択のうち総合教育科目「情報」は必修)。

▶ p.14 ~ 17「卒業要件」参照

4 3年次編入学では、1・2年次の科目を省いて学習するのですか? 学科・コース専門科目の学習は1年次から学習できますか?

3年次編入学の場合も専門教育科目は1年次の基礎にあたる科目からすべて取り組み、学習します。 ただし、配当年次が決められている科目はその年次に達しないと履修できません。(詳しくは2026年12月本学Webサイトで公開予定の「科目概要」(授業一覧)を参照してください)

5 卒業するまでにどれくらいのペースで学習すればよいのですか?

「卒業研究」「卒業制作」に着手するために、着手の前年度終了時点(芸術教養学科、文化コンテンツ創造学科は、着手の前の期終了時点)で修得しておくべき単位数等の条件が決められています。 1年次入学で4年間での卒業をめざすには、3年間でこの条件を満たす必要があり、1年間につき30単位~ 40単位が目安です。 最短年数での卒業をめざす場合は、一定のペースで持続的に学習しなければなりません。 もちろん、在籍年限内に自分のペースでゆっくりと学習することもできます。

参考：専門教育科目学習ペースのイメージ

入学形態	1年目	2年目	3年目	4年目
1年次入学	1年次専門教育科目	2年次専門教育科目	3年次専門教育科目	条件あり：4年次専門教育科目 卒業研究　卒業制作
3年次編入学 芸術教養学科、文化コンテンツ創造学科（文芸コースを除く）	1~3年次専門教育科目		条件あり：4年次専門教育科目 卒業研究 卒業制作	
3年次編入学 芸術学科	1~3年次専門教育科目		条件あり：4年次専門教育科目 卒業研究	
3年次編入学 美術科、環境デザイン学科 文化コンテンツ創造学科の文芸コース	1年次専門教育科目	2年次専門教育科目	条件あり：3年次専門教育科目	4年次専門教育科目 卒業制作

※4年次の「卒業研究」「卒業制作」に着手するためには、1～3年次の専門教育科目を修了しなければなりません。
※この図では総合教育科目については、記載していません。

6 最短年数で卒業する人の割合はどのくらいですか？

入学者のおよそ1割から2割です。 通学課程とは異なり、通信教育部生は仕事や家庭を持つ社会人が中心ですので、自分のペースでゆっくりと時間をかけて学習を続けている方が多いのが実情です。 計画的に履修すれば最短で卒業できるようにカリキュラムを編成していますが、すべての方が最短年数での卒業を目指しているわけではありません。 それぞれ自身のペースで学べるのは通信教育の特長ともいえます。

7 ふだんの学習量はどれくらい必要ですか？

学習方法や学習計画は人それぞれです。 最短年数での卒業を目指すのであれば、テキストを常に携帯して通勤電車の中で読んだり、就寝前1時間は必ず学習時間にあてたりするなど、学習時間を生活の一部にしてしまうことが大切です。 なお、本学では1単位あたりの学習時間を45時間としています。 ここから単純に計算すると、1年次入学生が最短の4年間で卒業する場合、1日の平均学習時間は約3.8時間となります。

8 入学後、学習方法に関する説明会はありますか？

4月と5月に教員による新入生ガイダンスを開催します。 ガイダンスに出席してから学習をはじめても構いませんが、最短年数での卒業を目指す場合は、ガイダンスを待たず、自宅学習（テキスト科目、Webスクーリング科目）をはじめることをおすすめします。

9 分からないことがある時はどうしたらよいのですか？

質問は学習用Webサイト「airUマイページ」に設置しているコンシェルジュ（AIによる自動応答/質問フォーム）で受け付けています。 分からないことがあるのは当然のことですので、積極的に質問してください。▶ p.44参照
学科・コースによっては学習相談会を開催したり、「オフィスアワー※」という教員と学生が気軽に質問をしたり語り合ったりできる場が設定されていたり、SNS上で意見交換をしたりしています。▶ p.53参照
※コースによっては「オープンゼミ」等、名称が異なることがあります。

10 一度大学を卒業していますが、総合教育科目（一般教養）をまた勉強しなければいけませんか？

総合教育科目から何単位必要、という指定はありませんので、全体で卒業要件を満たすように自由にとり入れてください（ただし、建築デザインコースは総合教育科目「情報」必修）。 総合教育科目では、デッサンを基礎から学ぶ科目や、文楽、茶の湯、煎茶等を学習する「伝統芸術基礎」等、本学独自の科目を設けていますので積極的に受講してください。 改めて見直してみると、以前は興味がなかった内容でもいまだからこそやってみたいと学習意欲がわいてくる科目がきっと見つかるでしょう。▶ p.14～17「卒業要件」参照

11 レポートを書く自信がありません。

まずは総合教育科目のテキストレポート科目（TR）「論述基礎」のテキストを読んでください。レポートの書き方が基礎から解説されています。「論述基礎」はレポートを書くこと自体が課題になっていますので、はじめにこの科目に取り組むことをおすすめします。

12 ひとりで学習を続けられるかどうか不安です。

「入学式」や「新入生ガイダンス」に出席することをおすすめします。教員や事務局職員が学習方法について説明を行う場であるだけでなく、仲間を見つける、仲間が見つかる場でもあるからです。同じコースや同じ地域の仲間ができることで刺激にもなり、学習を進めていくうえでも張り合いが出るでしょう。毎年、「入学式」や「新入生ガイダンス」終了後に、メールアドレスや電話番号を交換し合う姿が見られます。もちろん、スクーリング受講時に周りの人たちと会話を交わしていくうちに、自然と知り合いができるでしょう。また、各コースでオンラインによる学習相談会等のイベントも行っています。▶ p.53参照

13 課題や単位修得試験が不合格となることもあるのでしょうか？

課題に的確に解答していなかったり、内容に不備のある場合は、不合格判定が出されます。その場合は再提出・再受験が必要です。不合格となった際は、年度内の提出・受験期間に再提出・再受験できます。また、所定の締め切りまでに課題等を提出できなかった場合は採点を受けられませんので、しっかりとした履修計画を立てて学習をすすめてください。▶ p.53参照

単位修得試験

1 単位修得試験とは何ですか？

テキストレポート科目（TR）は、レポートと試験の両方に合格することではじめて単位を修得できます。この試験を単位修得試験といいます。▶ p.48参照

2 試験はどのような内容ですか？

暗記ではなく、自らの考えを述べ、自分なりの結論を導き出していく論述形式の試験が中心です。基本的な事柄を身につけておくことは当然求められますが、テキストやレポート等の教材・資料を参照して解答できます。

3 試験がない科目はありますか？

自宅で作品を制作するテキスト作品科目（TW）は、課題に合格することで単位修得となりますので、試験はありません。スクーリング科目（S）は授業中課題や授業後の試験・レポートなどが科目によって課されますので、それらに合格する必要があります。

4 TRの単位修得試験はどのように受験するのですか？

レポートに合格すれば、所定の期間に学習用Webサイト「airUマイページ」上で受験できます。受験には本人認証（要学生証）が必要です。▶ p.48参照

S（スクーリング科目）（芸術学科・美術科・環境デザイン学科 各コース専門教育科目・共通科目）

1 S（スクーリング科目）は1年間にどれくらい受講しなければいけませんか？

最短で卒業する場合、以下の日数となります。 卒業までの年数を長くすると1年間のスクーリング日数は少なくなります。 文化コンテンツ創造学科のコースについては必修のスクーリング科目はありませんが、希望する場合は履修できます。▶ p.51参照

【1年次入学】

4年間でS（スクーリング科目）を30単位以上修得する必要があります※。1年間では7〜8単位です。1回のスクーリングが1単位（＝2日間）ですので、1年間につき14 〜 16日間程度です。

【3年次編入学】

2年間でS（スクーリング科目）を24単位以上修得する必要があります※。4年次の科目（卒業研究・卒業制作）を最短の卒業年度である2年目に受講するためには、1年目、2年目ともに24日間（12単位分）です。

※動画教材で学習を進めるWebスクーリング科目もスクーリング科目の単位数に算入できます。ただし、卒業に必要なコース専門教育科目スクーリングは対面または遠隔授業です。

▶ p.14 〜 17「卒業要件」参照

2 S（スクーリング科目）はいつごろ開講されますか？

4月〜翌年1月末までほぼ通年開講しています。 基本的に1科目あたり土日2日間をセットで受講します。 科目ごとに開催日を設定しています。

3 S（スクーリング科目）は京都以外でも開講されますか？

スクーリングは遠隔（オンライン）、対面（京都・東京）を中心に行います。 コース専門教育科目については「2027年度スクーリング日程」（2026年12月下旬公開）にて開講場所や日程を確認してください。

4 遠隔（オンライン）で卒業までのすべてのS（スクーリング科目）を受けることができますか？

芸術学科・美術科・環境デザイン学科の各コースは、卒業に必要な全単位のスクーリングを京都または東京か、遠隔で開講しています。 ただし、京都または東京でしか開講されない科目もありますので、科目の選択によってはこの限りではありません。 また、受講希望が集中した場合は抽選となることもあります。 陶芸コースは、専用の施設・設備が必要ですので、京都での受講が必要です。▶ p.50参照

5 1回のS（スクーリング科目）は何日間ですか？

ほとんどのS（スクーリング科目）は2日間連続（1単位）です。 美術科は4日間（2単位）の科目がありますが週末2日間を2回開講します。 一部の総合教育科目や資格関連科目については3日間連続等のパターンがあります。 1日の授業時間は、9：30 〜 17：40です（授業により異なるものがあります）。▶ p.51参照

6 S（スクーリング科目）を遅刻・早退・欠席するとどうなるのですか？

遅刻・早退・欠席は、原則として認められません（単位は認定されません）。

7 S（スクーリング科目）はどのようにして受講するのですか？

年度始めにWeb上の「airU学習ガイド」や「コースガイド」でスクーリングの開講日程を確認し、年間の受講計画を立てます。 S（スクーリング科目） の先行申込期間がおよそ3ヶ月に1回のペースでありますので、受講を希望する科目を「airUマイページ」から申し込みます。 受講申込結果公開日になりましたら、受講可否が学習用Webサイト「airUマイページ」で確認できます。

当日は受講票を出力のうえ受講してください。 先行申込期間後は、定員に空きのある科目を開講日のおおよそ40〜5日前まで追加募集します。 詳細はスクーリング申込画面にてご確認ください。 先行申込と異なり、申込結果は「airUマイページ」に即時公開されます。▶ p.50 〜 51参照

8 希望するS（スクーリング科目）は必ず受講できますか?

同一日程の同一科目に受講希望が集中した場合は抽選となり、希望に沿えないことがあります。ただし、受講定員を増やしたり、同一科目を追加開講したりする等の調整を行う場合もあります。

9 大学（短期大学等）を卒業していますが、総合教育科目（一般教養）のS（スクーリング科目）を受講しなければなりませんか?

1年次入学でS（スクーリング科目）6単位を認定された方 ▶ p.15「既修得単位の認定（1年次入学の方のみ対象）」参照 、および3年次編入学の方は、必須ではありません。 ▶ p.17参照

10 仕事の関係でS（スクーリング科目）に行けるかどうか心配です。

定員に空きのある S（スクーリング科目）は、開講日のおおよそ40 ～5日前まで随時申し込みを受け付けています。仕事の都合等により出席が可能となった場合は、こうした制度もご利用ください。実は、スクーリングの単位数は卒業要件全体の約1/4で、残りの約3/4は自宅で取り組むテキスト科目です（1年次入学生の場合）。最短年数で卒業を目指す場合は、自宅学習にこそしっかりと目を向けて学習するように心がけてください。スクーリングだけが進み、テキスト科目がたくさん残って卒業が延びてしまうことのないようにしてください。

11 年間で受講できるS（スクーリング科目）の単位上限はありますか?

CAP制（履修できる単位数の制限制度）により、S（スクーリング科目）の年間の履修上限単位は24単位とします（資格関連科目除く）。

12 S（スクーリング科目）を申し込んだ後、キャンセルできますか?

S（スクーリング科目）開講日前日までなら、キャンセルができます。ただし、受講許可後にキャンセルする場合は、キャンセル申し出日に応じてキャンセル料（スクーリング受講料の10 ～ 100%）がかかります。 ▶ p.51参照

13 S（スクーリング科目）での宿泊先は斡旋してもらえるのでしょうか?

京都については各自で手配をお願いします。東京については[airU学習ガイド]で東京外苑キャンパス周辺のホテル等を紹介しています。慣れてくると、学生同士で宿の情報を交換し合ったり、自分で常宿を見つけて個人で手配する方も多いです。なお、大学に宿泊施設はありません。 ▶ p.51「対面スクーリング時の宿泊施設」参照

14 車やバイクで通学できますか?

京都瓜生山キャンパスには駐車場がありませんので、車やバイクでの通学はできません。公共交通機関や自転車をご利用ください。また、東京外苑キャンパスには、駐車場・駐輪場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。 ▶ p.96参照

資格課程（博物館学芸員課程）

1 学芸員の資格は、どのコースで取得できますか?

文化コンテンツ創造学科以外の全学科・コースで取得できます。 ▶ p.78参照

2 博物館学芸員課程はいつから受講できますか?

1年次入学生は、2年次から受講できます。編入学生は、入学年度から受講できます。 ▶ p.78参照

3 博物館学芸員課程を受講すると、どれくらいの単位が追加で必要となりますか?

本学の学芸員課程修了要件では、29単位の修得が必要です。ただし、これらの修得単位は「自由選択」「総合教育科目」「学部共通専門教育科目」等に含めることができます。 ▶ p.79 ～80参照

4 何年間で学芸員資格を取得することができますか?

卒業と同時に資格を取得するためには、標準的な場合でも3年間以上です。3年次編入学の場合、最短2年間での資格取得が可能ですが、1年目で卒業研究・卒業制作の着手要件(3年次修了相当)と並行して、学芸員資格取得に必要なほとんどの単位の修得が必要です。そのため、編入学でも卒業と同時に資格取得するまでに3年間以上かかる場合が十分にありえます。▶ p.81「履修モデル」参照

5 以前、他大学で学芸員資格に関する科目を修得しました。単位を認定してもらえますか?

他大学で修得された単位は、既修得単位認定の対象とはなりません。ただし、以前に本学(通信教育部・通学部・科目等履修※短期大学を除く)で修得した単位のうち、「博物館法施行規則に定める科目」については、入学後所定の手続きが必要ですが、既修得単位として認定の対象となります。▶ p.82参照

6 「博物館実習」の期間はどれくらいですか?

博物館の実習は、事前指導にあたる「博物館実習1」と、博物館や美術館で実習する「博物館実習2」、事後指導にあたる「博物館実習3」からなります。「博物館実習1(事前指導)」および「博物館実習3(事後指導)」は本学で各3日間受講します。「博物館実習2(館園実習)」は本学の「芸術館」(博物館指定施設)、または東京外苑キャンパスおよび本学附属康耀堂美術館であれば5日間です。学外の博物館や美術館であれば館により異なりますが、1週間程度で実施されるところが多いようです。▶ p.82参照

7 「博物館実習2(館園実習)」はどこで行うのですか?

京都府認可の博物館指定施設である京都瓜生山キャンパス内「芸術館」、または東京外苑キャンパスおよび本学附属康耀堂美術館(長野)、ならびに各自が希望する学外の博物館や美術館で行います。ただし、芸術教養学科の方は「芸術館」または東京外苑キャンパス・康耀堂美術館で受講します。学外の博物館や美術館で行うことはできません。▶ p.82参照

8 学芸員資格を取得すれば、学芸員として博物館や美術館で働くことができますか?

実際に博物館や美術館で働くためには、各館の採用試験に合格しなければなりません。求人が非常に少ないため、資格を取得すれば、学芸員として勤務できるというわけではありません。一方で、地域の美術館や資料館等でボランティアスタッフとして活動するなど、この資格を活かして幅広く活動している方もいらっしゃいます。▶ p.82参照

9 入学せずに、博物館学芸員課程の科目だけを受講できますか?

日本の学士、修士、博士いずれかの学位を有する方(見込含む)を対象とした「科目等履修」制度があります。詳しくは「募集要項2027 博物館学芸員課程(科目等履修)」(2026年12月本学Webサイト内で公開予定)をご確認ください。

10 パソコンの所有が必須とありますが、どの程度の操作能力が必要ですか?

本課程では、学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習しますので、テキスト入力や作成したファイルのアップロード等基本的な操作ができれば問題ありません。また、p.46「パソコンスキル・インターネット環境」もご確認ください。▶ p.46参照

アクセス

京都瓜生山（うりゅうやま）キャンパス

〒606-8271　京都市左京区北白川瓜生山2-116

JR「京都駅」より

市バス5系統／岩倉行「上終町（かみはてちょう）・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車（所要時間50分）

地下鉄「北大路駅」（北大路駅バスターミナル）より

市バス204系統循環 銀閣寺方面「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車（所要時間約15分）
（※地下鉄北大路駅へはJR京都駅より約15分）

京阪「出町柳駅」より

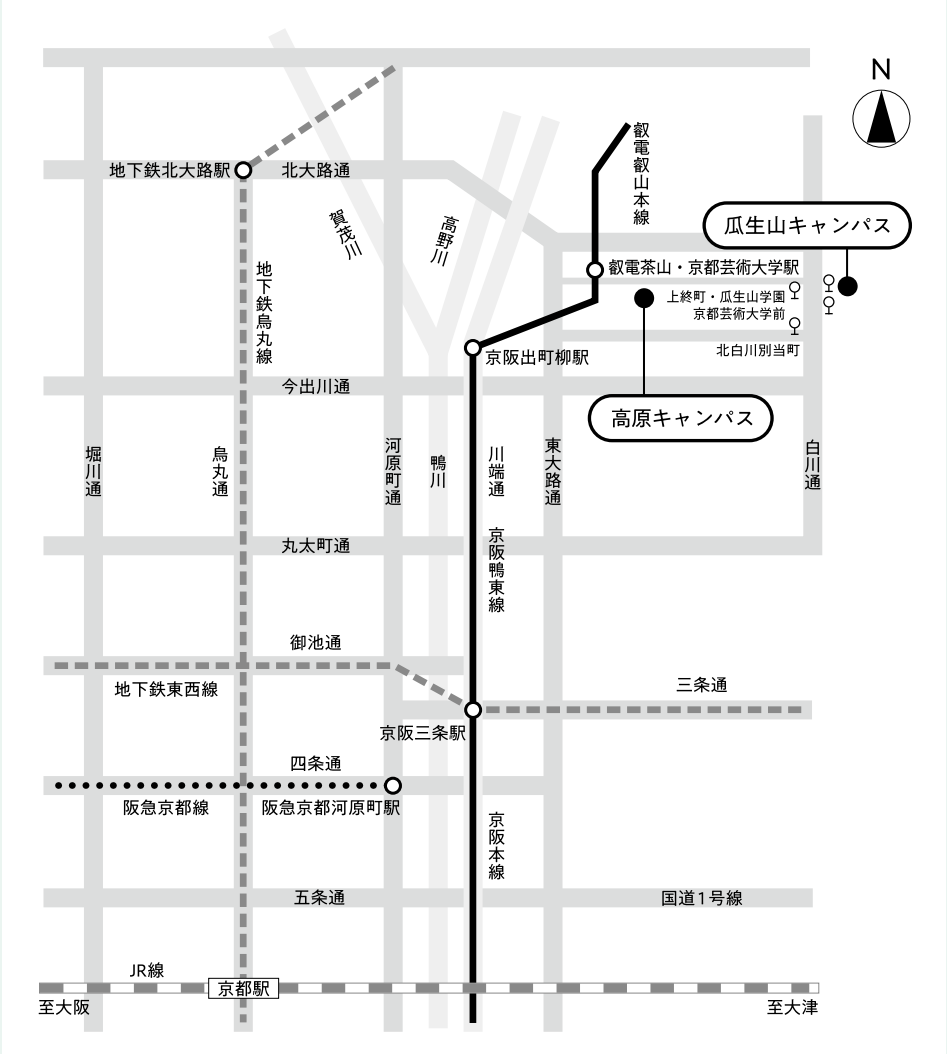
市バス上終町3系統／上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前行
「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車（所要時間約15分）
叡山電車（京阪出町柳駅乗りかえ）茶山・京都芸術大学駅下車、徒歩約10分

阪急「京都河原町駅」より

市バス5系統／岩倉行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車（所要時間約30分）
市バス上終町3系統／上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前行
「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車（所要時間約30分）

※所要時間は標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。
※京都瓜生山キャンパスには駐車場がありません。自動車、バイクでの来学はご遠慮ください。

◀ 詳細はこちら



※2026年7月現在の交通機関、駅、停留所です。
※所要時間は標準時間です。天候や交通事情により変わりますので、ご注意ください。
※京都瓜生山キャンパスには駐車場がありません。自動車、バイクでの来学はご遠慮ください。

学校法人 瓜生山学園
京都芸術大学 通信教育部 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116